目次

１．基本方針

１-１．基本方針	01
１-２．設計コンセプト	02
１-３．敷地・計画建物の概要	03～06

２．建築計画

２-１．配置計画	A-01
２-２．平面計画	A-02～06
２-３．断面計画	A-07
２-４．立面計画	A-08～09
２-５．内外装計画	A-10
２-６．環境配慮計画	A-11
２-７．防災計画	A-12
２-８．ユニバーサルデザイン・バリアフリー計画	A-13～14
２-９．セキュリティ計画	A-15
２-10．避難計画	A-16
２-11．外構計画	A-17～18

３．構造計画

３-１．基本方針	S-01
３-２．上部構造計画概要	S-02
３-３．荷重及び外力	S-03
３-４．基礎計画概要	S-03～04
３-５．残存地下構造物について	S-04～05
３-６．略伏図・略軸組図	S-06

４．電気設備計画

４-１．電気設備基本方針	E-01
４-２．電気設備計画概要	E-01～02
４-３．電気設備諸元表	E-03～04

５．機械設備計画

５-１．機械設備基本方針	M-01
５-２．給排水衛生設備計画	M-02
５-３．空気調和設備計画	M-03
５-４．機械設備耐震計画	M-03
５-５．災害時設備計画	M-03
５-６．給排水衛生設備フロー図	M-04
５-７．機械設備諸元表	M-05～06

６．工事費概算　C-01

７．全体事業スケジュール　C-01

８．工事工程表（案）　C-01

９．基本設計図

９-１．配置図兼屋根伏図	D-01
９-２．各階平面図	D-02～05
９-３．立面図	D-06
９-４．断面図	D-07
９-５．インフラルート図	D-08

1．基本方針

1－1．基本方針

基本理念（基本構想）

人々が集い、暮らし、交流する「にぎわいのある香取市のまちづくり拠点」を整備

- ①市民の生活サービス機能の充実
- ②老朽化した公共施設の建て替え
- ③観光情報発信機能の強化
- ④多機能複合化による集客拠点性の強化
- ⑤市民ニーズへの対応
- ⑥複合施設利用者の利便性の向上

整備方針（基本計画）

基本計画では、人びとが集い、暮らし、交流する、賑わいのあるまちづくりの拠点の実現のため、以下の５つの整備方針を定めています。

①交流の拠点
子ども、学生、お年寄りなど幅広い世代、様々な立場の人が集い、交流し、それぞれの時間を過ごすことのできる場

②集客の拠点
香取市の顔として、市内外へ情報発信するとともに、市内外から人を集め、市内各地域への起点となり、回遊させる場

③魅力創造の拠点
香取市の新たな魅力や価値観を創造するとともに、中心市街地の賑わい創出をリードする場

④生活支援の拠点
子育て世代や高齢者など、まちなかで生活する多様な人々に役立ち、商工業者の営みやコミュニティ活動をサポートする場

⑤学び・育成の拠点
香取市の文化、歴史を学ぶことができ、人が成長する豊かな地域資源を活用し、地場産業を育成する場

基本方針（基本設計）

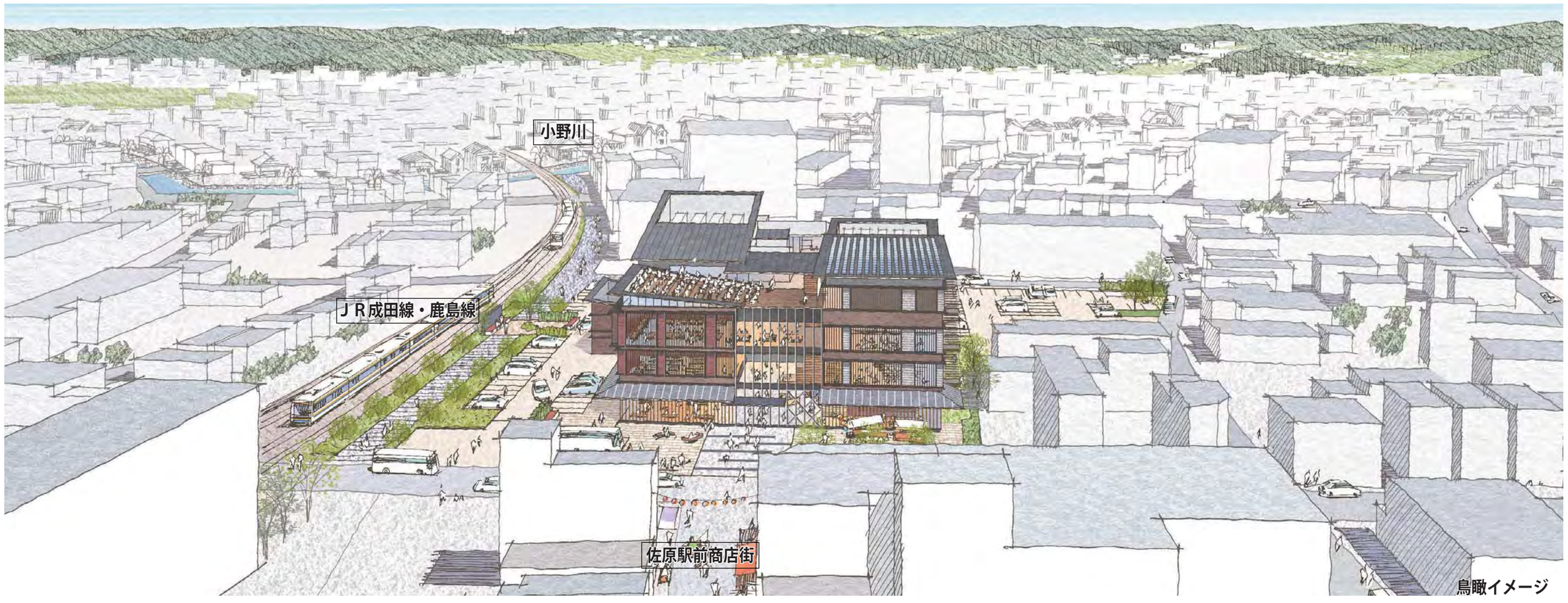
基本理念・整備方針を基に、以下を基本設計における基本方針と定めます。

■香取市の新たな魅力創出

最新の複合公共施設に、 香取市独自の歴史と文化に培われた“ **粋** ”な雰囲気を再現し、まちの新たな魅力を創出します。

佐原の町並み①

佐原の町並み②



鳥瞰イメージ

人と人が交わり、歴史と文化が薫る、「粋」な場づくり～粋なかとり～

佐原の町並みをイメージさせる佇まいに、人々の多様な活動が生まれる、最新の機能を内包した香取市ならではの「粋」な場づくりを目指します。

北西側外観イメージ

～粋なかとり～を具現化する３つの設計コンセプト

■複合化のメリットを最大限活かした場づくり

～交流の拠点

・明快な施設構成と、誰もが気軽に訪れ、新たな活動に参加できる、使いやすく開かれた環境を整備し、交流を促します。
・諸室の“見える化”と隣接する共用空間の充実によって、フレキシブルな諸室利用がもたらす多様な市民活動の創出を図ります。
・各施設が必要とする機能の共用化により、コンパクトで合理的な施設計画とします。

■新たな賑わいと魅力を発信する場づくり

～集客・魅力創造の拠点

・駅から商店街、そして佐原の町並みへの動線上に、観光情報発信の場や多様なイベント活動の場を整備し、賑わいと魅力を発信します。
・香取市の魅力に触れられる環境として、物販スペース等を設けた観光情報発信施設と、歴史と文化の情報を得られる図書館を低層階に配置します。
・観光の玄関口として、佐原の大祭等のイベントにも対応できるスペースづくりとし、周辺と調和した都市景観を形成します。

■コミュニティ活動・多世代交流の促進を図る場づくり

～生活支援・学び・育成の拠点

・多様なイベント活動の場や図書館に加え、子育て世代支援施設も低層階に配置します。親子連れから学生･高齢者まで､多世代のコミュニティ活動・交流が生まれる場をつくります。
・施設毎にフリースペースを整備することにより、複合公共施設の諸室機能を補完し、コミュニティ活動を促す新たな公共空間をつくります。
・公民館機能・社会福祉関連施設・市民活動支援センターの事務室を一体的に配置することで、コミュニティ活動等に対して連携した支援が可能となります。

３つの設計コンセプトを支える最新の技術

・明快な架構形式とし、安心安全な構造計画とします。
・わかりやすい避難・誘導計画に加え、十分な地震対策を施し、災害に強い施設づくりを行います。

・環境負荷低減や再生可能エネルギーの利用、最新の環境技術による一次エネルギー消費の削減等、環境に配慮した計画とします。

・小規模自主避難場所として、48 時間稼働の自家発電設備等、十分な防災機能を備えた施設計画とします。

・ユニバーサルデザイン・バリアフリー計画に基づき、すべての人々に配慮した施設計画とします。

1－3．敷地・計画建物の概要

（1）立地条件

・計画敷地は、香取市中心市街地の「佐原駅周辺地区」に位置しており、地区内にはＪＲ佐原駅や佐原駅前商店街が立地しています。一方、中心市街地の南側に位置する「佐原重要伝統的建造物群保存地区」には歴史的町並みや各種観光施設が立地しており、香取市を代表する観光地として賑わいを見せています。

・計画敷地は、旧清見屋（百貨店）の跡地であり、平成 16 年の閉店以降、佐原駅周辺地区で最大規模の未利用地となっています。また、駅周辺に立地する佐原駅前商店街の活性化が課題となっています。

・計画敷地は、ハザードマップによると 2 ～ 5mの浸水区域となっています。利根川氾濫時はこれらの浸水が想定されていますが、現在では治水対策が行われ、昭和 25 年以降は大きな洪水被害はありません。また、計画敷地周辺は地盤が悪く、東日本大震災では液状化に見舞われていることから、地盤調査を行い、適切な基礎工法の選定や液状化対策の必要性を検討します。

（2）敷地条件

①地名地番：　千葉県香取市佐原字竹之下イ 134 番３ほか

②敷地面積：　9, 657. 72 ㎡（市道 1142 号線の一部を含む）

③用途地域：　商業地域

④建蔽率・容積率：80%・400%

⑤防火地域：　準防火地域

⑥地域地区：　なし

⑦日影規制：　なし

⑧接道：北側：なし

南側：市道 1010 号線（幅員 :5m）

東側：市道 1021 号線（幅員 :3. 8m）

西側：県道 36 号線（幅員 :8. 5m）・市道 1142 号線（幅員 :8. 2m）

（3）計画建物の概要

①用途（建築基準法）

・特殊建築物（別表第 1 (3)　図書館）：図書館

・その他：観光情報発信施設・公民館機能・子育て世代支援施設・社会福祉関連施設・市民活動支援センター

②構造規模：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 4 階建て

③建物高さ：22. 90m

④建築面積：2, 261 ㎡

⑤延床面積：6, 574 ㎡

⑥用途別床面積

・観光情報発信施設：178 ㎡

・公民館機能：1, 843 ㎡

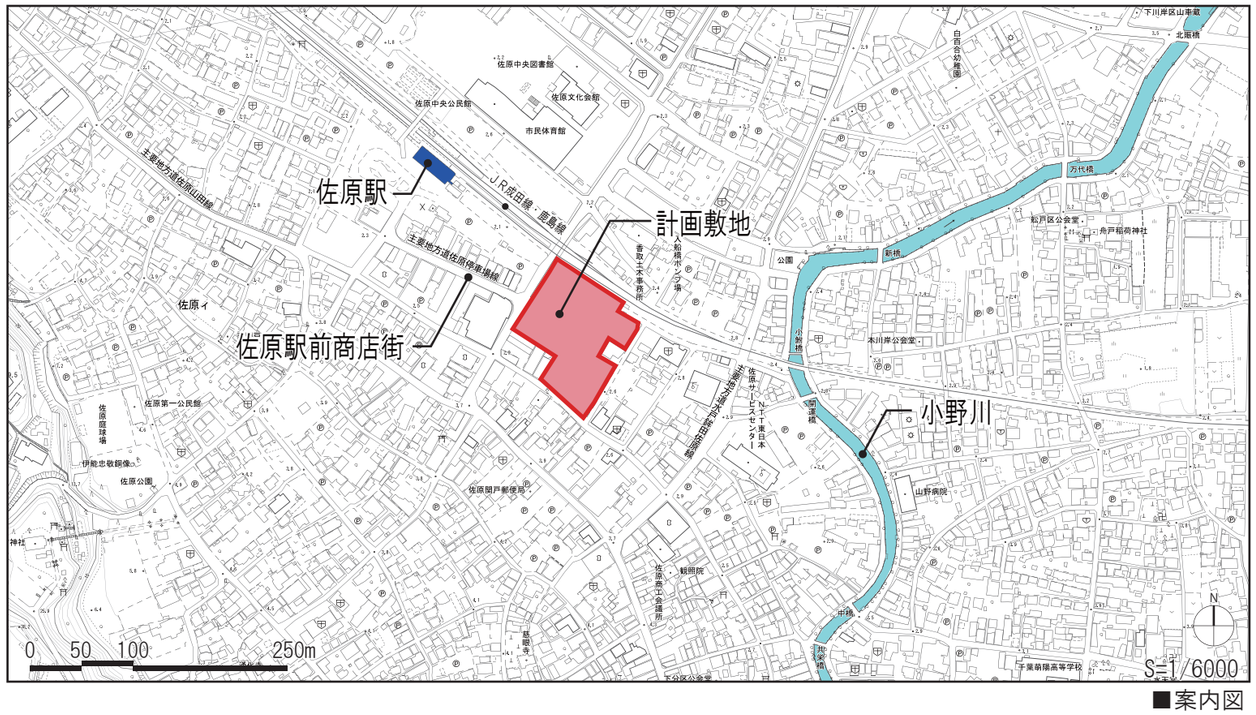
・子育て世代支援施設：689 ㎡

・図書館：1, 472 ㎡

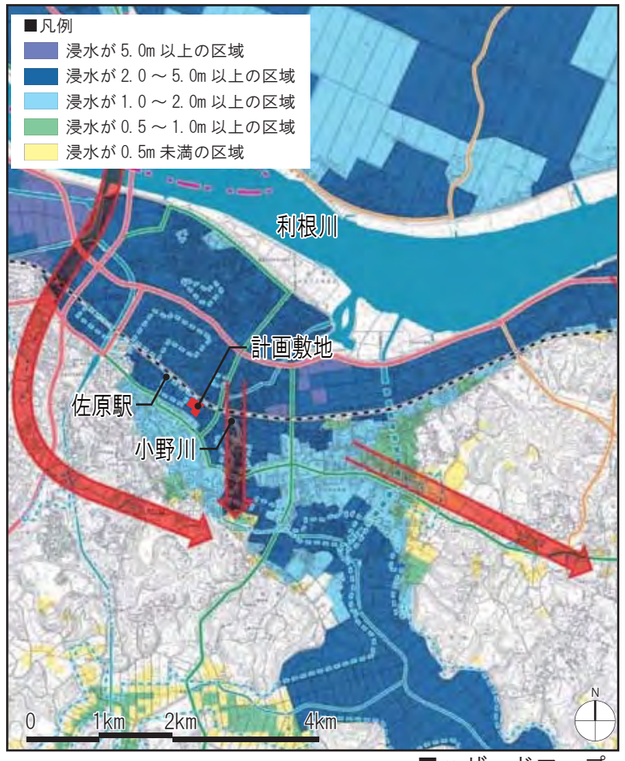
・社会福祉関連施設：263 ㎡

・市民活動支援センター：67 ㎡

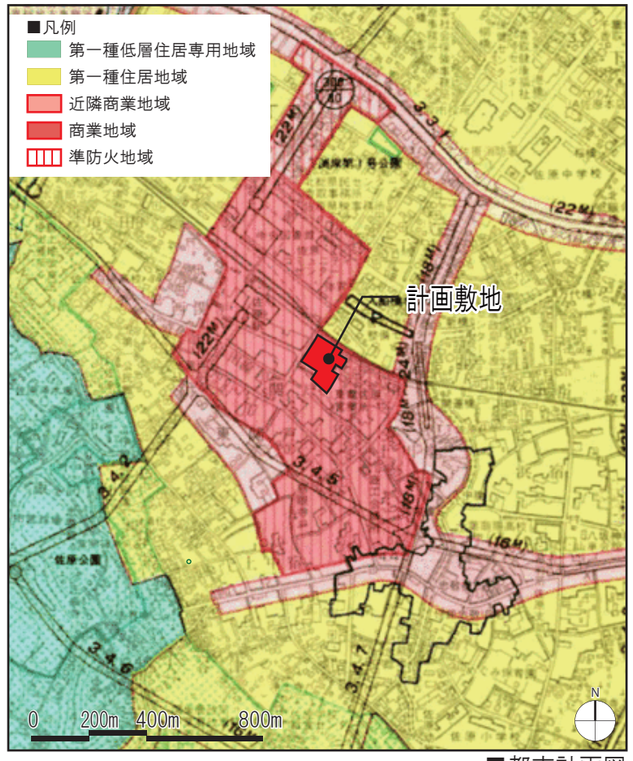
・その他共用部：2, 062 ㎡



■案内図



■ハザードマップ

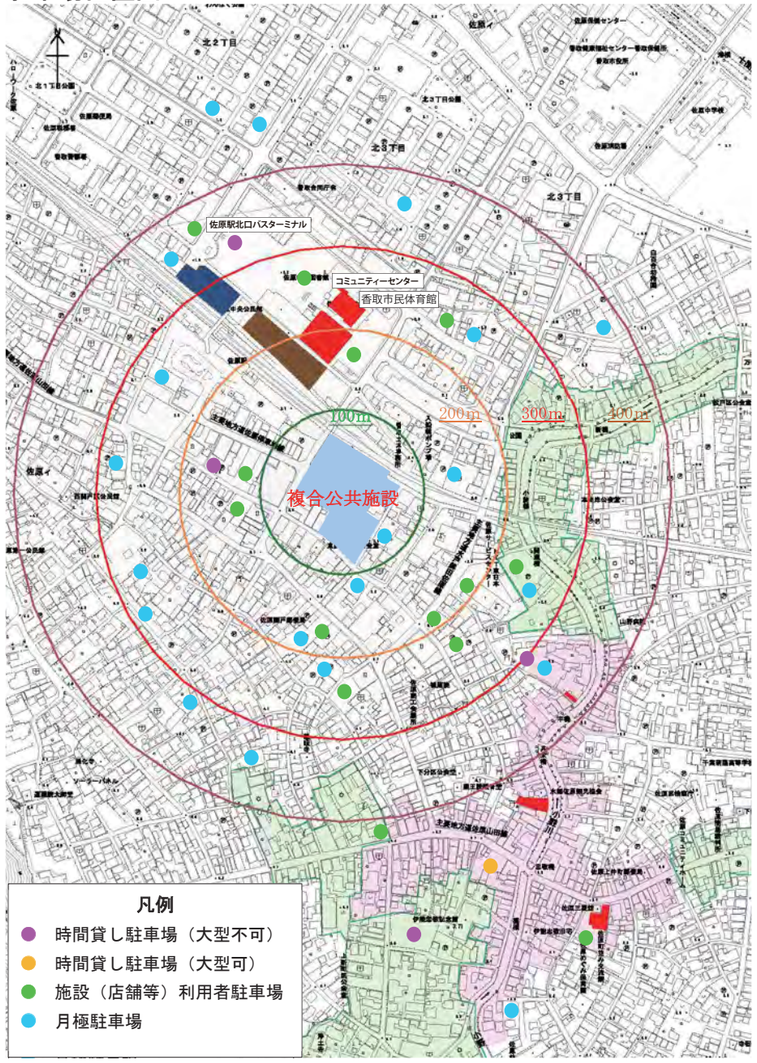


■都市計画図

（4）周辺施設の整理

・計画敷地周辺施設の整理を行うことで、複合公共施設に求められる機能を整理します。

駐車場位置図



【考察】

・周辺に所在する駐車場の大多数が、月極駐車場及び施設（店舗）利用者専用駐車場となっています。

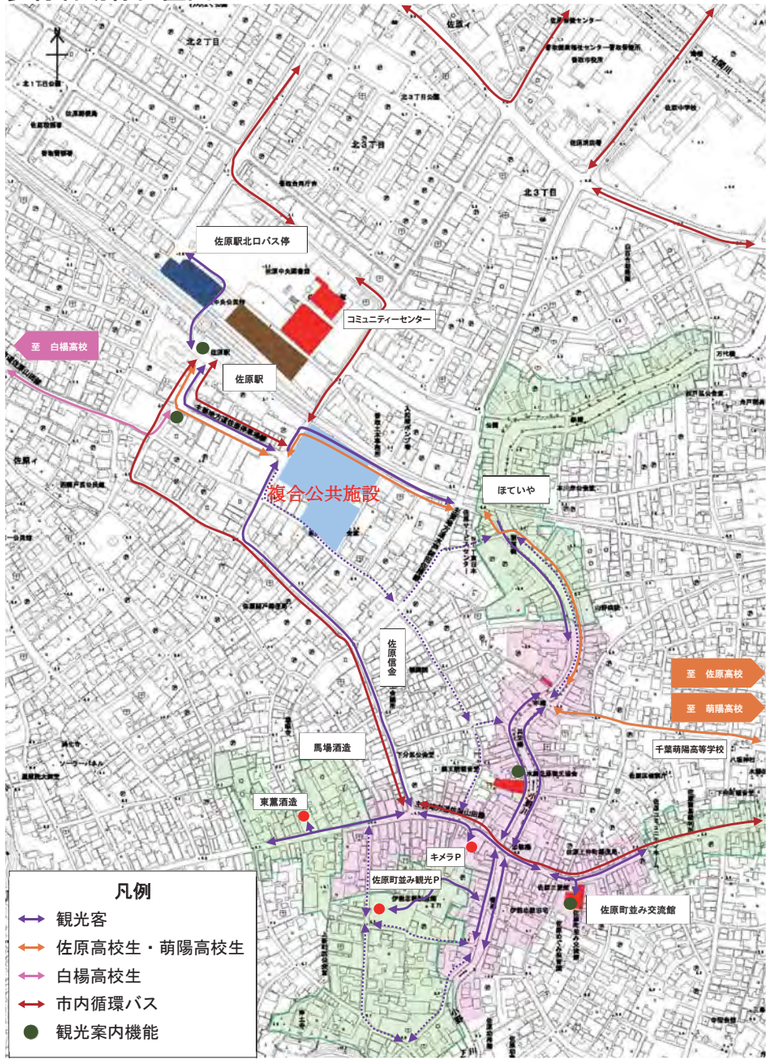
・コミュニティーセンターの敷地は、施設利用競合時（文化会館・体育館の同時利用）に駐車台数が不足している状況です。

・時間貸し駐車場は敷地周辺にあるものの稼働率が高い状況です。

【複合公共施設整備後の概要】

・現公民館・図書館の移転に伴い、コミュニティーセンターの敷地における収容台数は向上しますが、佐原駅北口バスターミナルの稼働に伴い、パーク＆ライド利用者（駐車場台数）が増加することが想定されます。

歩行者動線位置図



【考察】

○観光客

・主な動線の起･終点は、町並み（キメラP･町並み観光P･東薫酒造＝起･終点①）と佐原駅周辺（起･終点②）です。

・起･終点①からの動線は、町並み中心部の回遊に留まっています。

・起･終点②からの動線は、ほていや→小野川沿い→横宿通りルートが顕著に見られます。

・動線上には４つの観光案内所が所在しています。

○高校生

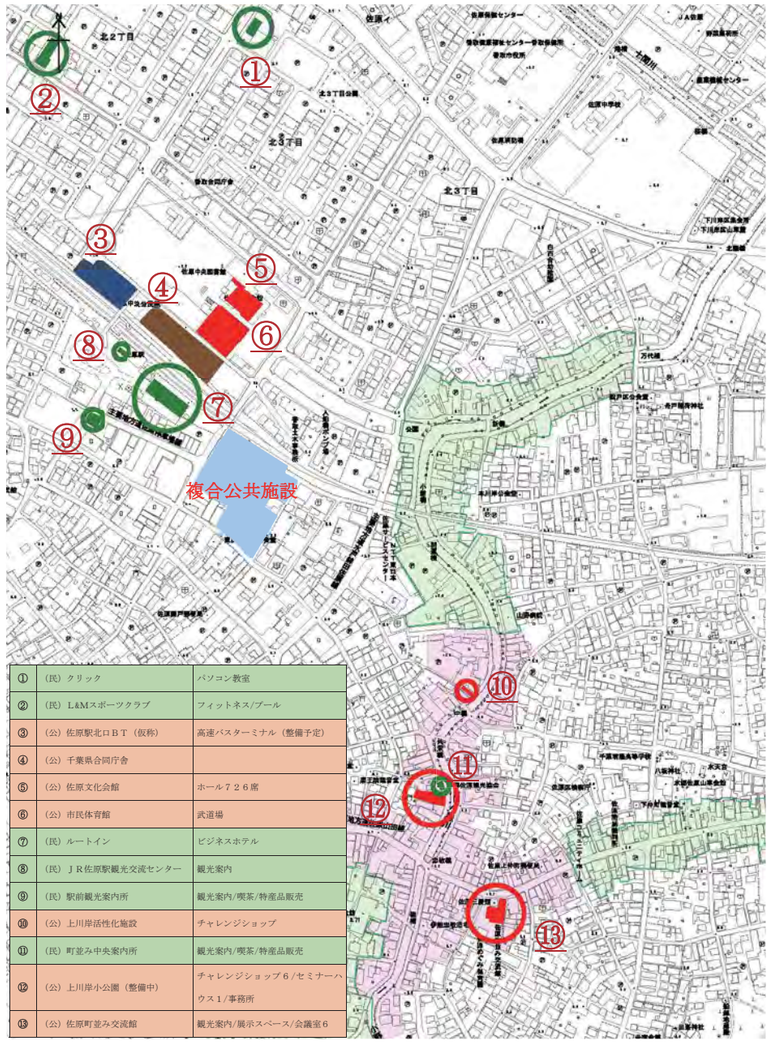
・佐原高校・千葉萌陽高校とも、佐原駅→ほていや→小野川右岸→各高校の往復ルートが顕著に見られます。

・佐原白楊高校は佐原駅→高校の往復ルートが顕著に見られます。

○市内循環バス

・コミュニティセンター→佐原駅→忠敬橋ほかの循環ルートです。

公共・民間関連機能位置図



①	（民）クリック	パソコン教室
②	（民）L&Mスポーツクラブ	フィットネス/プール
③	（公）佐原駅北口ＢＴ（仮称）	高速バスターミナル（整備予定）
④	（公）千葉県合同庁舎	
⑤	（公）佐原文化会館	ホール７２６席
⑥	（公）市民体育館	武道場
⑦	（民）ルートイン	ビジネスホテル
⑧	（民）ＪＲ佐原駅観光交流センター	観光案内
⑨	（民）駅前観光案内所	観光案内/喫茶/特産品販売
⑩	（公）上川岸活性化施設	チャレンジショップ
⑪	（民）町並み中央案内所	観光案内/喫茶/特産品販売
⑫	（公）上川岸小公園（整備中）	チャレンジショップ６/セミナーハウス１/事務所
⑬	（公）佐原町並み交流館	観光案内/展示スペース/会議室６

【考察】

○施設の一部機能が重複するもの

（ホール）⑤文化会館、（研修室・会議室）⑫上川岸小公園・⑬町並み交流館

（観光情報発信）⑧佐原駅観光交流センター・⑨駅前観光案内所・⑬町並み交流館

○民業を圧迫する恐れのあるもの

①パソコン教室（ICTルーム）・②フィットネスクラブ（運動施設）

○施設の機能を補完するもの

⑥体育館（アリーナ・武道場）

○施設の利便性を向上させるもの

③北口バスターミナル（交通）・⑦ホテル（宿泊・レストラン）

（5）敷地求積図

地番 ① イ132-8

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SHP110	-11616.950	59780.564	-1130749.368060	16.440
29C1	-11623.767	59795.525	-618883.683750	8.188
29C2	-11627.300	59802.912	-413357.727744	7.652
29C3	-11630.679	59809.778	-561853.054532	12.910
29C4	-11636.694	59821.202	-892293.049032	16.921
SP10-1	-11645.595	59835.593	-102498.370809	8.393
29C6	-11638.407	59839.927	1060602.866148	20.172
29C5	-11627.871	59822.725	1269737.338125	19.779
JR-R60	-11617.182	59806.083	1292768.290128	20.163
JR-R59	-11606.255	59789.137	1392249.844182	22.345
JR-R58	-11593.896	59770.520	587843.064200	3.124
JR-R57	-11596.420	59768.679	-83795.687958	1.846
J60	-11595.298	59767.212	164897.737908	2.694
JR-R56	-11593.661	59765.072	-427021.439440	10.111
27C62	-11602.443	59760.060	-602739.965160	1.500
FK.101	-11603.747	59759.317	-143960.194653	2.091
FHP106	-11604.852	59761.093	-789025.710879	22.923
		倍面積	1920.888674	
		面積	960.4443370	
		地積	960.44 ㎡	

地番 ① イ134-3

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
FP37	-11635.489	59739.896	-71986.574680	37.296
SP38	-11654.279	59772.114	-1253899.407492	2.495
SP44	-11656.467	59770.913	-762377.995315	11.377
SP43	-11667.034	59766.696	-549076.636152	3.803
SP42	-11665.654	59763.152	288596.261008	7.791
SP41	-11662.205	59756.165	-395167.519145	12.033
SP40	-11672.267	59749.564	-765212.666148	3.070
SCK66	-11675.012	59748.189	732333.552573	27.151
FPL54	-11660.010	59725.559	1310259.313342	8.072
FPL53	-11653.074	59729.689	1464631.703969	20.332
		倍面積	-1899.968040	
		面積	949.9840200	
		地積	949.98 ㎡	

地番 ① イ134-5

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
FHP101	-11630.361	59744.866	-2325270.184720	27.354
SHP105	-11643.772	59768.707	-1039557.120851	8.109
SHP107	-11647.754	59775.772	1223311.173980	28.802
SHP108	-11623.307	59791.002	1514446.289658	1.780
SHP109	-11622.425	59789.455	380081.565435	10.441
SHP110	-11616.950	59780.564	1050523.851172	22.923
FHP106	-11604.852	59761.093	-801456.018223	30.232
		倍面積	2079.556451	
		面積	1039.7782255	
		地積	1039.77 ㎡	

地番 ① イ134-6

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
FHP103	-11631.077	59742.495	-589180.485690	29.090
SHP104	-11645.351	59767.843	-1087416.135542	8.049
SP39	-11649.271	59774.874	-533670.075072	5.718
SP38	-11654.279	59772.114	823779.275148	37.296
FP37	-11635.489	59739.896	1386085.066992	5.120
		倍面積	-402.354164	
		面積	201.1770820	
		地積	201.17 ㎡	

地番 ① イ134-11

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SHP105	-11643.772	59768.707	143624.202921	1.799
SHP104	-11645.351	59767.843	-328663.368657	8.049
SP39	-11649.271	59774.874	-143639.022222	1.762
SHP107	-11647.754	59775.772	328706.970228	8.109
		倍面積	28.782270	
		面積	14.3911350	
		地積	14.39 ㎡	

地番 ① イ134-12

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
FHP106	-11604.852	59761.093	1590481.729102	2.091
FK.101	-11603.747	59759.317	-1476234.407851	30.304
FHP102	-11629.555	59743.433	-1590011.725862	1.644
FHP101	-11630.361	59744.866	1475877.424798	30.232
		倍面積	113.020187	
		面積	56.5100935	
		地積	56.51 ㎡	

地番 ① イ134-13

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
FHP102	-11629.555	59743.433	-42776.298028	1.787
FHP103	-11631.077	59742.495	-943692.451020	29.090
SHP104	-11645.351	59767.843	-758752.766885	1.799
SHP105	-11643.772	59768.707	895932.917930	27.354
FHP101	-11630.361	59744.866	849392.759922	1.644
		倍面積	104.161919	
		面積	52.0809595	
		地積	52.08 ㎡	

地番 ① イ136-2

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SP41	-11662.205	59756.165	395167.519145	7.791
SP42	-11665.654	59763.152	-288596.261008	3.803
SP43	-11667.034	59766.696	-560432.308392	8.781
SP45	-11675.031	59763.067	-895908.137397	8.107
SPL67	-11682.025	59758.966	1135.420354	12.857
SCK66	-11675.012	59748.189	583022.828262	3.070
SP40	-11672.267	59749.564	765212.666148	12.033
		倍面積	-398.272888	
		面積	199.1364440	
		地積	199.13 ㎡	

地番 ① イ139-1

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SP110	-11698.628	59783.148	-1500437.448504	28.203
SP109	-11723.083	59769.099	-1386344.251305	2.074
SM501	-11721.823	59767.451	143920.022008	1.551
SP115	-11720.675	59766.407	1476409.552121	27.376
SP116	-11697.120	59780.359	1356416.345710	1.842
SP113	-11697.985	59781.986	-90151.234888	1.328
		倍面積	-187.014858	
		面積	93.5074290	
		地積	93.50 ㎡	

地番 ① イ139-2

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SPL65	-11685.475	59789.428	-783301.296228	6.203
SP112	-11690.799	59786.243	-747925.899930	8.352
SP113	-11697.985	59781.986	-377881.933506	1.842
SP116	-11697.120	59780.359	-1356416.345710	27.376
SP115	-11720.675	59766.407	-867927.762454	16.472
SG47	-11711.642	59752.632	927002.332848	8.328
K76	-11705.161	59757.863	496707.357256	2.306
K77	-11703.330	59759.265	130394.716230	0.420
K57	-11702.979	59759.497	871532.504248	16.146
SPL51	-11688.746	59767.121	803509.174724	1.662
SPL50	-11689.535	59768.584	63235.161872	2.102
SP49	-11687.688	59769.589	707492.624993	11.372
SP6	-11677.698	59775.023	132282.125899	16.370
		倍面積	-1297.239758	
		面積	648.6198790	
		地積	648.61 ㎡	

地番 ① イ139-3

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SPL68	-11683.508	59757.948	113181.553512	1.798
SPL67	-11682.025	59758.966	506576.754782	8.107
SP45	-11675.031	59763.067	895908.137397	8.781
SP43	-11667.034	59766.696	1109508.944544	11.377
SP44	-11656.467	59770.913	560770.705766	2.468
SP47	-11657.652	59773.079	-1640890.564708	29.960
SP46	-11683.919	59758.669	-1545120.145664	0.829
		倍面積	-64.614371	
		面積	32.3071855	
		地積	32.30 ㎡	

地番 ① イ139-6

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SP47	-11657.652	59773.079	1210105.984355	12.540
SP50	-11663.674	59784.079	-1198431.647634	16.693
SP6	-11677.698	59775.023	-1435437.402322	11.372
SP49	-11687.688	59769.589	-561595.058244	1.661
SP48	-11687.094	59768.037	-63234.583146	1.888
SPL51	-11688.746	59767.121	189760.609175	9.733
SP46	-11683.919	59758.669	1858136.053886	29.960
		倍面積	-696.043930	
		面積	348.0219650	
		地積	348.02 ㎡	

地番 ① イ139-7

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SP49	-11687.688	59769.589	145897.566749	1.661
SP48	-11687.094	59768.037	-63234.583146	1.888
SPL51	-11688.746	59767.121	-145891.542361	1.662
SPL50	-11689.535	59768.584	63235.161872	2.102
		倍面積	6.603114	
		面積	3.3015570	
		地積	3.30 ㎡	

地番 ① イ139-8

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SP110	-11698.628	59783.148	-715006.450080	1.328
SP113	-11697.985	59781.986	468033.168394	8.352
SP112	-11690.799	59786.243	747925.899930	6.203
SPL65	-11685.475	59789.428	285434.729272	1.145
SPL63	-11686.025	59790.433	-786423.565249	14.557
		倍面積	-36.217733	
		面積	18.1088665	
		地積	18.10 ㎡	

地番 ① イ139-9

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SP51	-11672.437	59797.792	827182.856736	1.472
SP52	-11671.642	59796.552	523997.185176	14.800
SP50	-11663.674	59784.079	-362052.382424	16.693
SP6	-11677.698	59775.023	-1303155.276423	16.370
SPL65	-11685.475	59789.428	314552.180708	15.490
		倍面積	524.563773	
		面積	262.2818865	
		地積	262.28 ㎡	

地番 ① イ140-1

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SP53	-11637.073	59816.094	1776717.440082	3.450
SPL29	-11638.716	59819.128	-405932.602608	11.216
SPL30	-11643.859	59829.096	-500051.584368	6.483
SPL33	-11647.074	59834.726	-721487.126108	10.324
SPL61	-11655.917	59829.398	-1432914.082100	17.627
SCK44	-11671.024	59820.315	-1117802.406090	4.135
SPL49	-11674.603	59818.244	217319.680452	14.321
SPL48	-11667.391	59805.871	-809412.658114	23.771
SCK45	-11688.137	59794.266	-1168080.986310	2.513
SPL64	-11686.926	59792.064	126280.839168	1.863
SPL63	-11686.025	59790.433	86755.918283	1.145
SPL65	-11685.475	59789.428	812418.747664	15.490
SP51	-11672.437	59797.792	827182.856736	1.472
SP52	-11671.642	59796.552	523997.185176	14.800
SP50	-11663.674	59784.079	591025.404994	2.244
SP55	-11661.756	59785.244	-283680.982780	12.716
SP54	-11668.419	59796.075	1475946.519225	37.193
		倍面積	-1717.836698	
		面積	858.9183490	
		地積	858.91 ㎡	

地番 ① イ140-5

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SP56	-11624.508	59793.146	1723417.847158	3.844
SPL28	-11626.441	59796.469	-751342.632985	22.319
SP53	-11637.073	59816.094	-2510959.993932	37.193
SP54	-11668.419	59796.075	-1475946.519225	12.716
SP55	-11661.756	59785.244	786474.884820	12.918
SP57	-11655.264	59774.075	2226464.745600	36.188
		倍面積	-1891.668564	
		面積	945.8342820	
		地積	945.83 ㎡	

地番 ① イ140-6

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SHP108	-11623.307	59791.002	1389901.632492	2.457
SP56	-11624.508	59793.146	-1910809.566722	36.188
SP57	-11655.264	59774.075	-1779533.986825	2.194
SP38	-11654.279	59772.114	358214.279202	5.718
SP39	-11649.271	59774.874	390031.052850	1.762
SHP107	-11647.754	59775.772	1552018.144208	28.802
		倍面積	-178.444795	
		面積	89.2223975	
		地積	89.22 ㎡	

地番 ① イ140-9

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SP38	-11654.279	59772.114	71905.853142	2.194
SP57	-11655.264	59774.075	-446930.758775	12.918
SP55	-11661.756	59785.244	-502793.902040	2.244
SP50	-11663.674	59784.079	245353.860216	12.540
SP47	-11657.652	59773.079	430784.580353	2.468
SP44	-11656.467	59770.913	201607.289549	2.495
		倍面積	-73.077555	
		面積	36.5387775	
		地積	36.53 ㎡	

地番 ① イ140-10

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SPL33	-11647.074	59834.726	479156.485808	1.707
SP23	-11647.909	59836.215	-403954.287465	7.099
SP24	-11653.825	59832.290	-1383023.383350	20.957
SCK44	-11671.024	59820.315	-125144.098980	17.627
SPL61	-11655.917	59829.398	1432914.082100	10.324
		倍面積	-51.201887	
		面積	25.6009435	
		地積	25.60 ㎡	

地番 ① イ140-11

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SCK45	-11688.137	59794.266	1676930.189970	23.771
SPL48	-11667.391	59805.871	809412.658114	14.321
SPL49	-11674.603	59818.244	-1274607.143152	16.236
SP104	-11688.699	59810.187	-1246025.625771	7.733
SP105	-11695.436	59806.390	33611.191180	14.151
		倍面積	-678.729659	
		面積	339.3648295	
		地積	339.36 ㎡	

地番 ① イ142-1

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SP107	-11704.790	59781.530	-1603818.886840	17.082
SP106	-11713.754	59796.072	-966603.503880	8.268
SP103	-11720.955	59792.008	-569040.540136	2.658
SG170	-11723.271	59790.702	229536.504978	10.463
SG167	-11717.116	59782.240	-258916.881440	14.199
SG37	-11727.602	59772.666	-356663.498022	5.757
SP109	-11723.083	59769.099	1731749.874426	28.203
SP110	-11698.628	59783.148	2215443.898584	14.557
SPL63	-11686.025	59790.433	699667.646966	1.863
SPL64	-11686.926	59792.064	-1121998.080960	20.738
		倍面積	-643.466324	
		面積	321.7331620	
		地積	321.73 ㎡	

地番 ① イ142-6

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SCK45	-11688.137	59794.266	-508849.203660	14.151
SP105	-11695.436	59806.390	-1532060.292630	21.024
SP106	-11713.754	59796.072	-559332.457488	17.082
SP107	-11704.790	59781.530	1603818.886840	20.738
SPL64	-11686.926	59792.064	995717.241792	2.513
		倍面積	-705.825146	
		面積	352.9125730	
		地積	352.91 ㎡	

地番 ① イ143-2

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SG167	-11717.116	59782.240	258916.881440	10.463
SG170	-11723.271	59790.702	-537159.666768	3.019
SG171	-11726.100	59789.646	-716877.855540	13.206
SP101	-11735.261	59780.133	-451100.883618	2.253
SG36	-11733.646	59778.562	208089.174322	2.409
SG71	-11731.780	59777.037	361292.411628	6.046
SG37	-11727.602	59772.666	876506.374224	14.199
		倍面積	-333.564312	
		面積	166.7821560	
		地積	166.78 ㎡	

地番 ① イ144

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SP23	-11647.909	59836.215	101721.565500	7.099
SP24	-11653.825	59832.290	-843395.959840	18.104
SP14	-11662.005	59848.441	-220661.201967	4.659
SP15	-11657.512	59849.677	387825.906960	1.989
SP16	-11655.525	59849.584	574735.555152	15.386
		倍面積	225.865805	
		面積	112.9329025	
		地積	112.93 ㎡	

地番 ① イ145-1

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SP104	-11688.699	59810.187	-170698.273698	19.399
SCK33	-11698.290	59827.050	-2689285.724550	40.986
SP102	-11733.650	59806.325	-1355510.356125	19.134
SP103	-11720.955	59792.008	1189621.791168	8.268
SP106	-11713.754	59796.072	1525935.961368	21.024
SP105	-11695.436	59806.390	1498449.101450	7.733
		倍面積	-1487.500387	
		面積	743.7501935	
		地積	743.75 ㎡	

地番 ① イ145-2

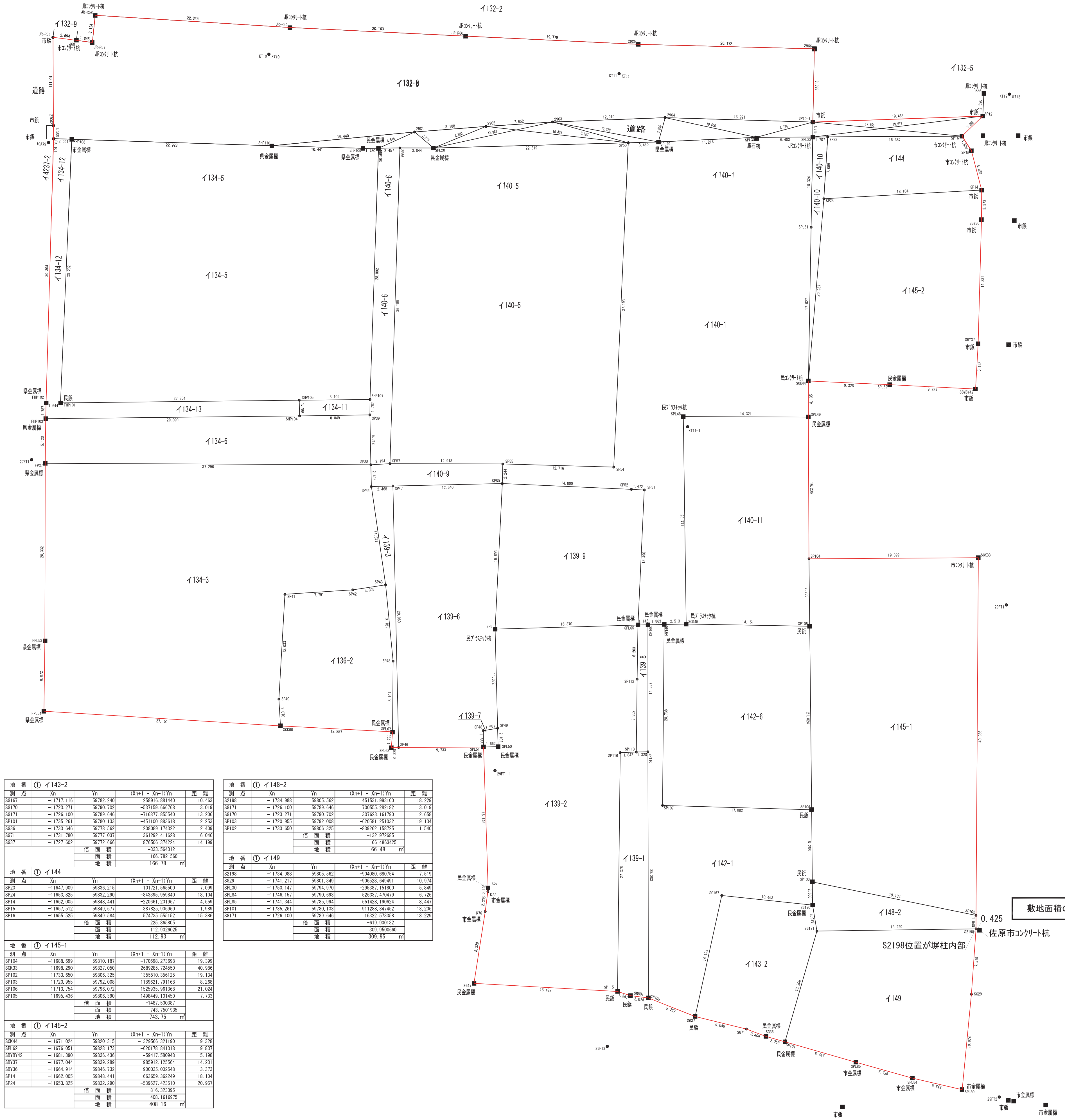
測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
SCK44	-11671.024	59820.315	-1329566.321190	9.328
SPL62	-11676.051	59828.173	-620178.841318	9.837
SBYBY42	-11681.390	59836.436	-59417.580948	5.198
SBY37	-11677.044	59839.289	985912.125564	14.231
SBY36	-11664.914	59846.732	900035.002548	3.373
SP14	-11662.005	59848.441	663659.362249	18.104
SP24	-11653.825	59832.290	-539627.423510	20.957
		倍面積	816.323395	
		面積	408.1616975	
		地積	408.16 ㎡	

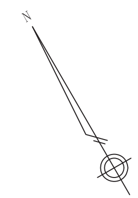
地番 ① イ148-2

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
S2198	-11734.988	59805.562	451531.993100	18.229
SG171	-11726.100	59789.646	700555.282182	3.019
SG170	-11723.271	59790.702	307623.161790	2.658
SP103	-11720.955	59792.008	-620581.251032	19.134
SP102	-11733.650	59806.325	-839262.158725	1.540
		倍面積	-132.972685	
		面積	66.4863425	
		地積	66.48 ㎡	

地番 ① イ149

測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn-1)Yn	距離
S2198	-11734.988	59805.562	-904080.680754	7.519
SG29	-11741.217	59801.349	-906528.649491	10.974
SPL30	-11750.147	59794.970	-295387.151800	5.849
SPL84	-11746.157	59790.693	526337.470479	6.726
SPL85	-11741.344	59785.994	651428.190624	8.447
SP101	-11735.261	59780.133	911288.347452	13.206
SG171	-11726.100	59789.646	16322.573358	18.229
		倍面積	-619.900132	
		面積	309.9500660	
		地積	309.95 ㎡	





道路境界座標一覧表

測点名	X座標	Y座標
K36	-11652.553	59854.192
SHP108	-11623.307	59791.002
SHP109	-11622.425	59789.455
SP12	-11654.727	59852.784
SP15	-11657.512	59849.677
SP16	-11655.525	59849.584
SP23	-11647.909	59836.215
SP53	-11637.073	59816.094
SP56	-11624.508	59793.146
SPL28	-11626.441	59796.469
SPL29	-11638.716	59819.128
SPL30	-11643.859	59829.096
SPL33	-11647.074	59834.726

基準点座標一覧表

測点名	X座標	Y座標
10A79	-11603.842	59758.599
KT10	-11607.697	59785.520
KT11	-11629.690	59819.140
KT12	-11654.082	59856.698
27FT1	-11634.341	59738.748
29FT1	-11704.588	59827.135

敷地面積の合計	面積	9,657.72 ㎡

平成29年11月28日　立会い

＊座標系は測地成果2011(IX系)とする

工事名			
図面名	境界調査図		
作成年月日	平成 29 年11・12月 作成		
縮尺	1: 250	図面番号	/
会社名	富士測量株式会社		
事業者名	香取市総務企画部企画政策課		

（6）敷地条件整理

①動線の整理

■人の動線について

・駅から訪れる観光客は佐原駅前商店街を抜け、敷地南側道路（市道 1010 号線）・南の県道 55 号線のいずれかを通り、佐原の町並みに至る動線がメインとなっています。

・敷地南側道路（市道 1010 号線）は、一方通行で道路幅員が狭く交通量も多いため、歩きづらい環境となっていることから、敷地北側の歩道を通る経路も検討する必要があります。

・敷地北側の歩道は、高校生（佐原高校・千葉萌陽高校）の通学路として、また周辺住民の生活動線としても利用されています。

■車の動線について

・敷地南側道路（市道 1010 号線）は一方通行で交通量も多いため、車のメイン動線は敷地西側道路（県道 36 号線・市道 1142 号線）と考えられます。

・敷地西側道路（県道 36 号線・市道 1142 号線）には、2 ヶ所の交差点と踏切があり、また建設予定のホテルの車両出入口が設けられることが想定されるため、これらを考慮した安全な位置に敷地への車両出入口を設定する必要があります。

・地域性から車での利用がメインとなることから、渋滞を避けるため、敷地南側道路（市道 1010 号線）への出入口の確保も必要となります。

②周辺環境の整理

・敷地東側と南側は 2・3 階建ての住宅のほか、5・6 階建ての事務所などが建っています。

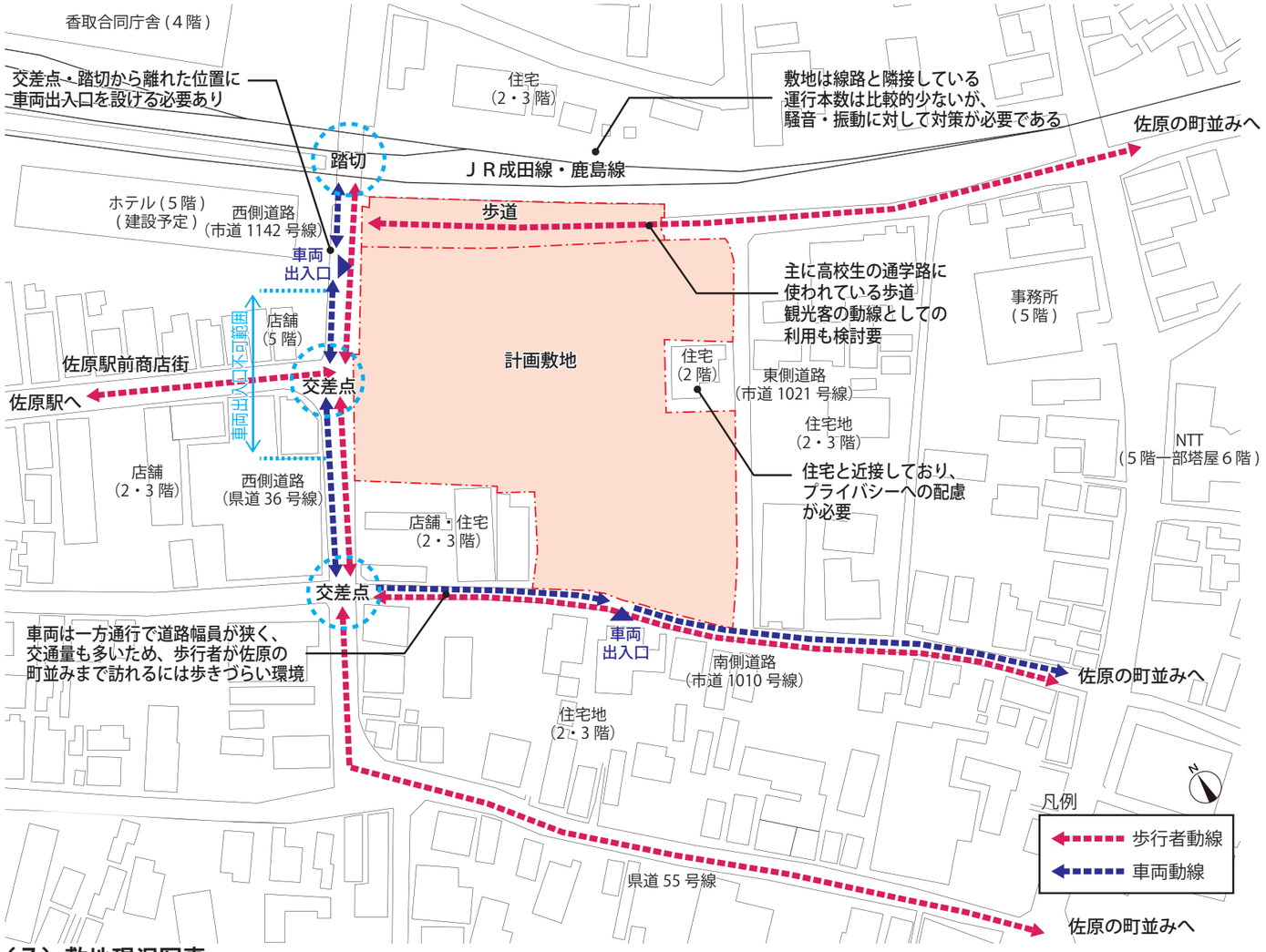
・敷地西側商店街は 2・3 階建ての店舗（一部 5 階建て）が建ち並んでいます。

・ＪＲ成田線・鹿島線の北側には千葉県の香取合同庁舎（4 階建て）が建っています。線路の南側にはホテル（5 階建て）が建設予定です。

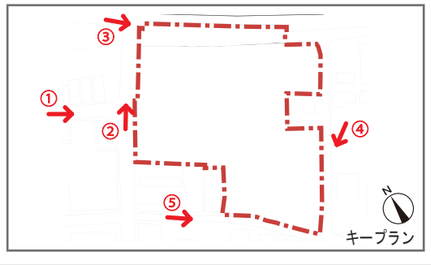
・敷地から線路を挟んだ北側は低層の住宅地となっています。

・敷地周辺は比較的低層の建物が多く、一部に 4・5 階建ての建物が点在しています。周辺環境との調和を考慮すると、複合公共施設は高層化を避け、圧迫感を与えない配慮が必要となります。

・敷地北側はＪＲ成田線・鹿島線に接しており、騒音・振動に対する配慮が必要となります。



（7）敷地現況写真



2－1．配置計画

（1）商店街・観光地へと賑わいをつなぎ、まち全体の回遊性を向上させる配置計画

・商店街の正面に「表の庭（ 多目的広場 ）」を介して複合公共施設を配置します。複合公共施設の中央に商店街と連続する賑わい空間「（仮称）佐原通り」を設け、その突き当たりに車寄せ・観光案内機能を併せ持つ「中の庭（（ 仮称）小野川ギャラリー ）」、佐原の町並みへと観光客をいざなう回遊ルート「緑の小道」を設けます。この複合公共施設が商店街、小野川周辺へと人の流れをつくりだす拠点となります。

（2）周辺環境に配慮したコンパクトな施設配置

・複合公共施設は 4 階建てのシンプルな形状とし、敷地中央に配置します。商店街側に「表の庭（多目的広場）」、南側に安全な「こどもひろば」、東側に車寄せ（ 中の庭 ）・駐車場を集約した明快なゾーニングとします。住宅地・ＪＲ等、周辺環境との調和を図るとともに、商店街から利用者を迎え入れるシンボリックな配置計画とします。

（3）駅前拠点施設としての利用しやすいアプローチ計画

駐車場からのアクセスは歩車分離をした安全なアプローチ計画とします。

①駅から利用しやすいアクセスの確保

・駅から徒歩のアクセスに対応する「表の庭（ 多目的広場 ）」・西玄関を配置します。西玄関へのアプローチは歩行者専用とし、安全性を確保します。

②日常利用の多い車利用者への配慮

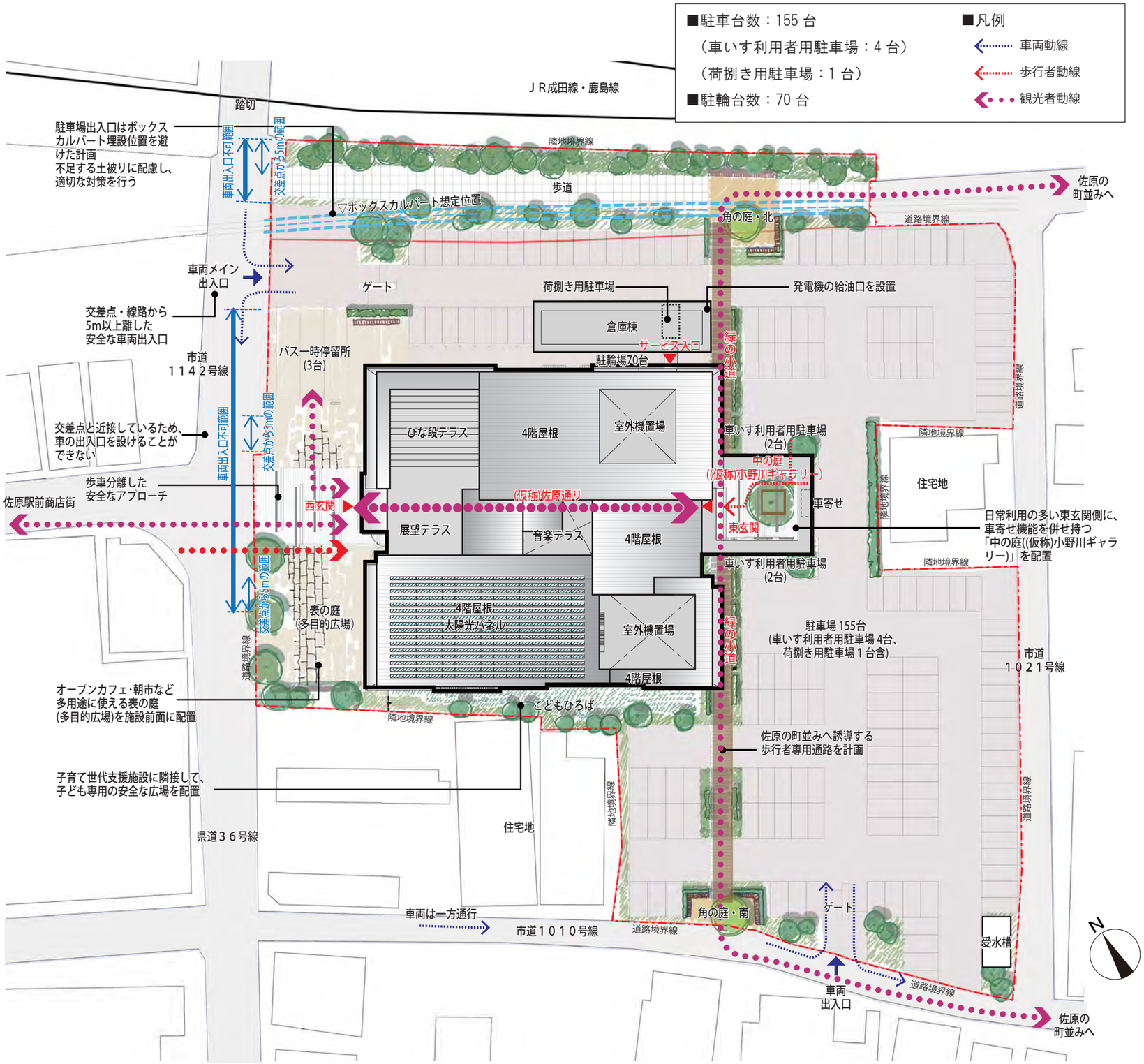
・車利用者に配慮し、東側駐車場からのアクセスの確保と車寄せ機能を持つ「中の庭（（ 仮称 ）小野川ギャラリー ）」・東玄関を配置します。

③駅から佐原の町並みへとつなぐ計画～観光客動線への配慮

・１階「（ 仮称 ）佐原通り」を抜けた先に佐原の町並みへと観光客を誘導する歩行者専用の通路「緑の小道」を設け、歩車分離に配慮した計画とします。

（4）効率良く利用しやすい駐車場計画

・駐車場は利便性に配慮し、北・東側に集約して 155 台配置します。基本計画で想定していた駐車台数 180 台の確保が困難なことから、今後、立体駐車場の導入を検討します。
・車両出入口は安全性に配慮し、交差点から 5m以上離隔を確保した上で最も安全な北西側、及び南側に設けます。
・日常利用の多い車利用者とバリアフリーに配慮し、駐車場側の東玄関に近接して車いす利用者用駐車場・車寄せを設けます。
・北西側駐車場ゲート前に観光バスの一時停留所を設け、観光客が施設に立ち寄りやすい計画とします。
・公用車駐車スペースは敷地外にて対応します。
・観光客の安全性に配慮し、今後、南側道路（市道 1010 号線）幅員の拡幅を検討します。



■配置計画図　S=1/600

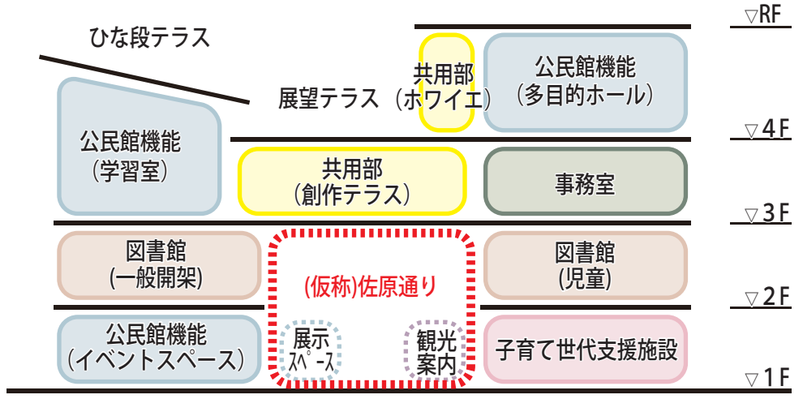
2-2．平面計画

（1）ゾーニング計画

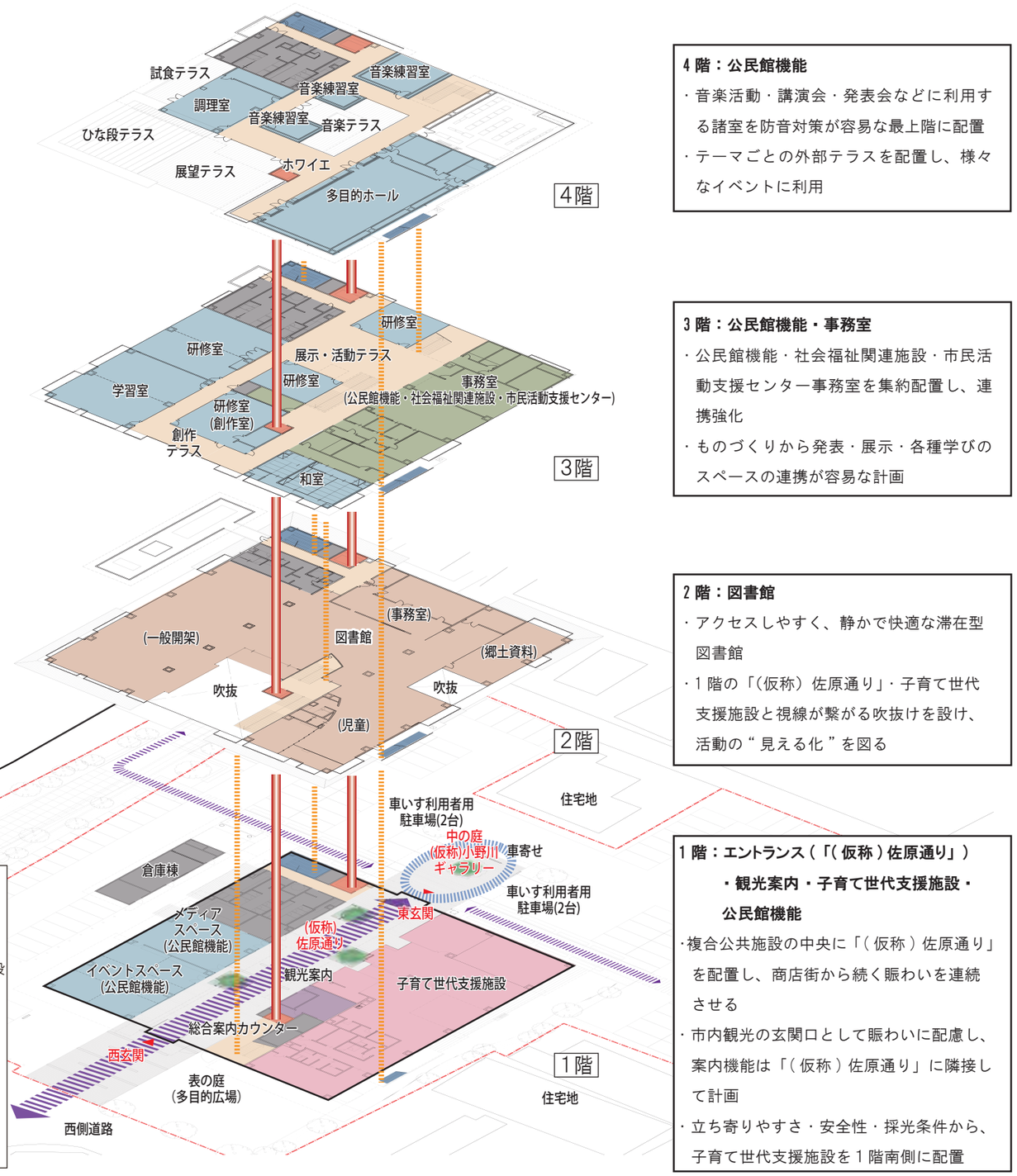
・施設毎にまとまった断面構成とし、施設固有の機能の充実と独立性を確保、維持管理も容易な計画とします。
・市内観光の玄関口となる施設として、観光客の立ち寄りやすい 1 階に観光案内施設を配置します。
・各種イベント利用を想定し、「（仮称）佐原通り」と一体的な利用も可能なイベントスペース・メディアスペースを 1 階に配置します。
・利用者の立ち寄りやすさと避難時の安全性を考慮して、子育て世代支援施設を 1 階に配置します。
・図書館は静粛性の保持とアクセスのしやすさに配慮して 2 階に配置します。
・交流と活動の要としての「公民館機能・社会福祉関連施設・市民活動支援センター」事務室は 3 階、採光条件の良い南側に集約配置し、連携強化を図ります。
・ものづくりから発表・展示・各種学びのスペースを 3 階に集約配置し、連携が容易な計画とします。諸室と共用部の一体的な利用も想定した使い勝手のよい配置計画とします。
・太鼓や電子楽器などを使った音楽活動や講演会・発表会などの音を使う諸室を防音対策が行いやすい 4 階に集約配置します。また、テーマごとの外部テラスを配置し、様々なイベントに対応します。
・諸室は西日を避けた南北面に配置し、自然通風・自然採光を取り入れた快適な環境を確保します。

（2）動線計画

・階段・水廻りなどのコアと一般諸室を南北面に配置し、建物中央を主動線及び共用部としたシンプルな平面計画とすることにより、利用者にわかりやすく、移動距離の短い動線計画とします。
・「（仮称）佐原通り」の 2 層吹抜けに面して、4 階まで繋がるオープンな階段（大階段）を設けます。総合案内カウンターから目的の窓口へとルートがわかりやすく、案内しやすい計画とします。



■複合公共施設断面構成図



■凡例
- 観光情報発信施設
- 公民館機能
- 子育て世代支援施設
- 公民館機能・社会福祉関連施設
  市民活動支援センター事務室
- 図書館
- （仮称）佐原通り
- 共用部
- バックエリア（WC・倉庫等）
- ＥＶ
- 階段

4 階：公民館機能
・音楽活動・講演会・発表会などに利用する諸室を防音対策が容易な最上階に配置
・テーマごとの外部テラスを配置し、様々なイベントに利用

3 階：公民館機能・事務室
・公民館機能・社会福祉関連施設・市民活動支援センター事務室を集約配置し、連携強化
・ものづくりから発表・展示・各種学びのスペースの連携が容易な計画

2 階：図書館
・アクセスしやすく、静かで快適な滞在型図書館
・1 階の「（仮称）佐原通り」・子育て世代支援施設と視線が繋がる吹抜けを設け、活動の“見える化”を図る

1 階：エントランス（「（仮称）佐原通り」）・観光案内・子育て世代支援施設・公民館機能
・複合公共施設の中央に「（仮称）佐原通り」を配置し、商店街から続く賑わいを連続させる
・市内観光の玄関口として賑わいに配慮し、案内機能は「（仮称）佐原通り」に隣接して計画
・立ち寄りやすさ・安全性・採光条件から、子育て世代支援施設を 1 階南側に配置

■各階ゾーニング図

（3）各施設計画

①エントランスホール：「（仮称）佐原通り」～観光機能とまち全体の回遊性の向上

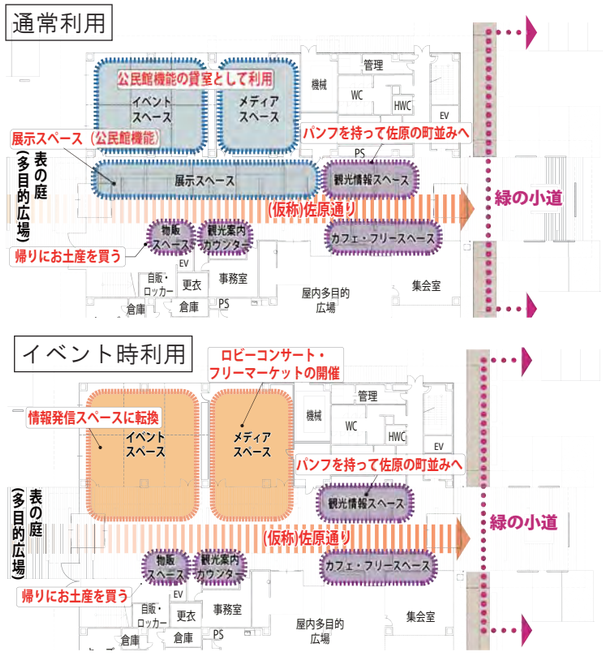
・観光バスや鉄道からのアクセスにおいて、商店街を抜けた立地を活かし、1階の施設中央に通りを設けることで、この施設を町並み観光の起点として位置づけます。

・「（仮称）佐原通り」は、観光案内と展示スペースが点在した通りとして機能し、イベント時には、メディアスペースやイベントスペースと一体的に利用することにより、観光情報発信やロビーコンサート・フリーマーケットまで多目的に利用可能な計画とします。

・「（仮称）佐原通り」及び「表の庭（多目的広場）」に照明・電源用のイベント盤（コンセント盤：20Aのコンセント6個程度）を設置し、様々なイベントに対応可能な計画とします。

・施設の1～4階を繋ぐ大階段付近に総合案内を設置することで施設案内しやすい計画とします。

・自販機・施設全体の共用ロッカーを総合案内に近接して配置します。



（仮称）佐原通りの使われ方イメージ

②観光情報発信施設

・1階「（仮称）佐原通り」に観光案内施設を設けることで利用者が立ち寄りやすい計画とします。

・軽飲食程度のカフェや香取市の名産などの物販スペースを設けます。

・子育て世代支援施設を見渡せる位置にカフェ・フリースペースを設けることで、子どもを見ながらの飲食が可能です。

・香取市の観光情報パンフレット置場・常設の展示スペース・デジタルサイネージを設け、市の情報等を発信します。

・駐輪場に20台程度のレンタサイクル置場を設けます。

③子育て世代支援施設

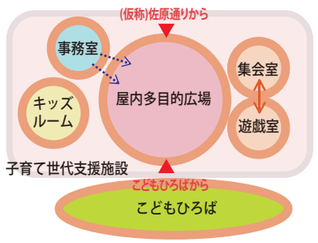
・ベビーカーの利用、災害時の避難のしやすさ、採光条件に配慮し、1階南側に配置します。

・子連れでも安全で立ち寄りやすく、明るく開放的な計画とします。

・屋内多目的広場に面して明るく安全な子ども専用の広場（こどもひろば）を南側に設置します。

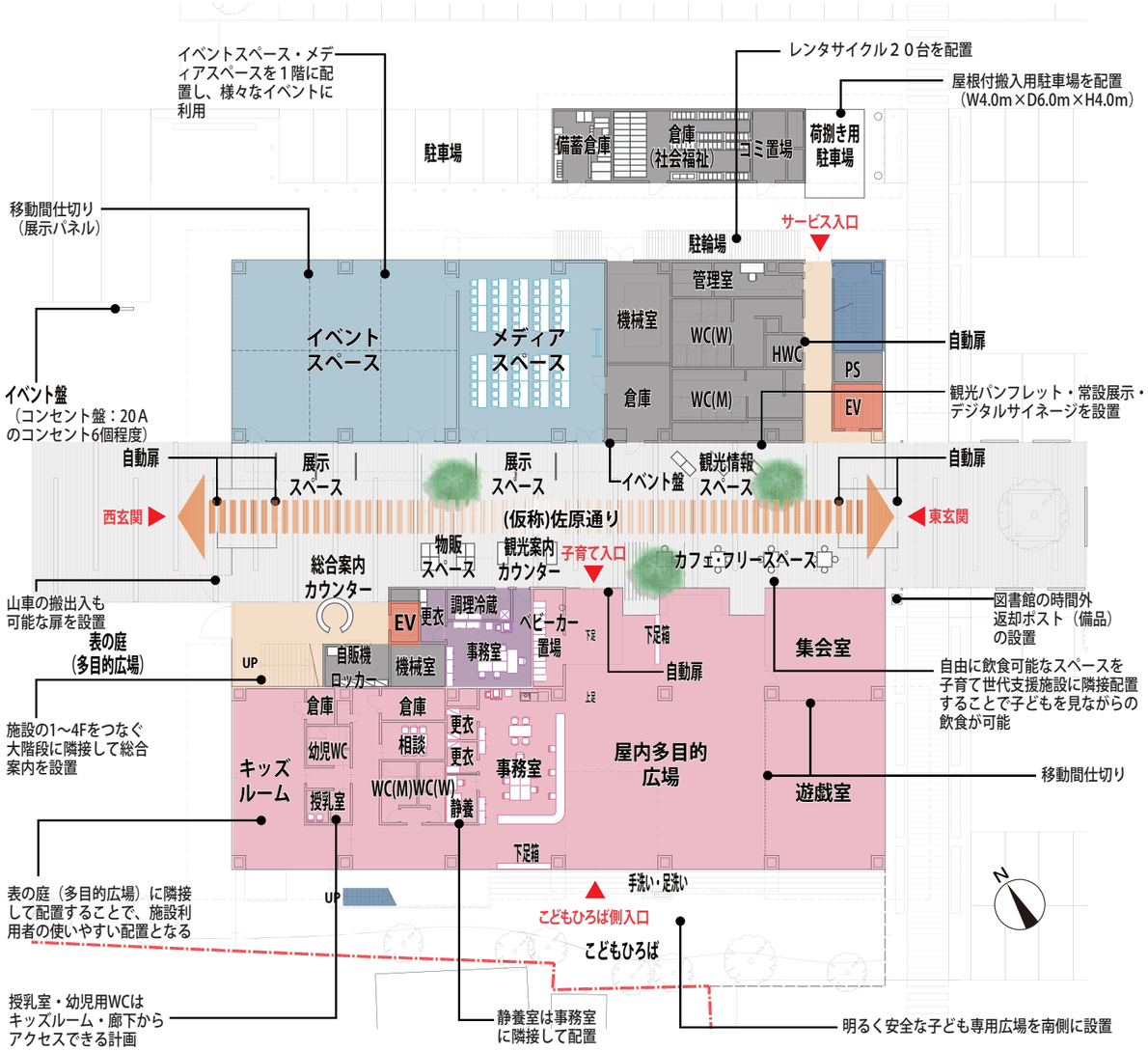
・「（仮称）佐原通り」に面して施設の出入口を設け、下足入・ベビーカー置場を隣接して配置します。

・キッズルームに隣接して授乳室・幼児用トイレを設置し、キッズルーム・廊下双方からのアクセスを可能にすることで、利便性の良い計画とします。



子育て世代支援施設の配置イメージ

（仮称）佐原通りイメージ



■1階計画図　S=1/400

■凡例

- 観光情報発信施設
- 公民館機能
- 子育て世代支援施設
- 公民館機能・社会福祉関連施設・市民活動支援センター事務室
- 図書館
- （仮称）佐原通り
- 共用部
- バックエリア（WC・倉庫等）

④図書館

■図書館計画の考え方

香取市読書施設の中核館として、滞在型図書館の実現

・充実した資料・設備・施設を確保し、気分や目的によって選べる様々な形態・環境の閲覧スペースを設けます。

・一般開架（一般書・くらし・文庫・新書・参考図書）　：約 67, 000 冊
児童　（ものがたり・ちしき・えほん・かみしばい）：約 20, 000 冊
閉架・郷土資料　：約 50, 000 冊
の規模の充実した資料を持つ図書館とします。
※新聞・雑誌・AV・香取コーナーを除く
※図面の収蔵図書数は、一般書・児童書を貸出率 20%として算出

・閲覧席約 60 席を確保します。

郷土の歴史や文化を発信する

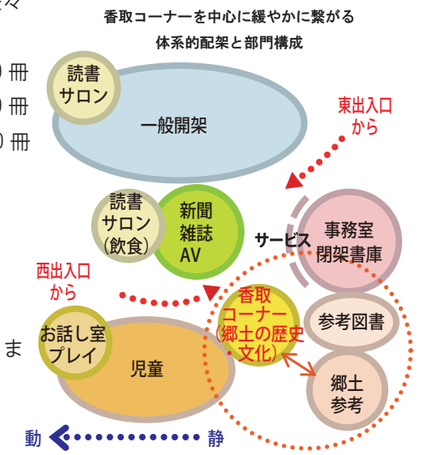
・香取市の歴史や文化に特化したスペースを設置し、市内外に発信します。

子育てを支援する図書館づくり

・年齢ごとのゾーニングにより、音環境に配慮した計画とします。

・低年齢児ゾーンでは、親子で気兼ねなく利用できる環境をつくります。

・高年齢児ゾーンでは、吹抜けを介して 1 階子育て世代支援施設と繋がり一体感のある閲覧・学習スペースをつくります。



機能構成と配置イメージ

■開架室・各室計画

2 階エントランスを入ってすぐの印象を楽しく

・東･西出入口の両方からアクセスしやすい位置に、お勧め本の展示や香取市の歴史や文化を発信する「香取コーナー」を計画します。

・「香取コーナー」に近接して「新聞・雑誌・AV コーナー」を配置します。雑誌や新聞の表紙をみせる雑誌架を設置し、利用者が気軽に訪れやすい雰囲気をつくります。

・時間外返却用のブックポストを 1 階東玄関に設置します。

レファレンスエリア

・東・西出入口の両方から近接する位置にレファレンス用サービスデスクを配置します。利用者動線上に配置することで図書館員にとっても動きが把握しやすく、作業スペース・閉架書庫・郷土資料にもアクセスしやすい計画です。

・レファレンスデスクは「参考図書」に近接した配置とし、利用者へのサービスが行いやすい計画とします。

児童開架エリア

・一般書架から一番遠い児童ゾーンの奥に低年齢児の利用が多い「えほん」「かみしばい」を配置し、手前に子どもが読み物・学習を行う「ものがたり」「ちしき」を設けることで、音環境に配慮した計画とします。「えほん」「かみしばい」にはお話し室･プレイコーナーを併設することで低年齢児が楽しく本を広げて読めるスペースを計画します。

・親子トイレ・授乳室を設置し、子育て世代にやさしい計画とします。

郷土資料・参考図書

・「香取コーナー」に近接して「郷土資料」「参考図書」を配置することで、郷土資料の展示が行いやすい計画とします。

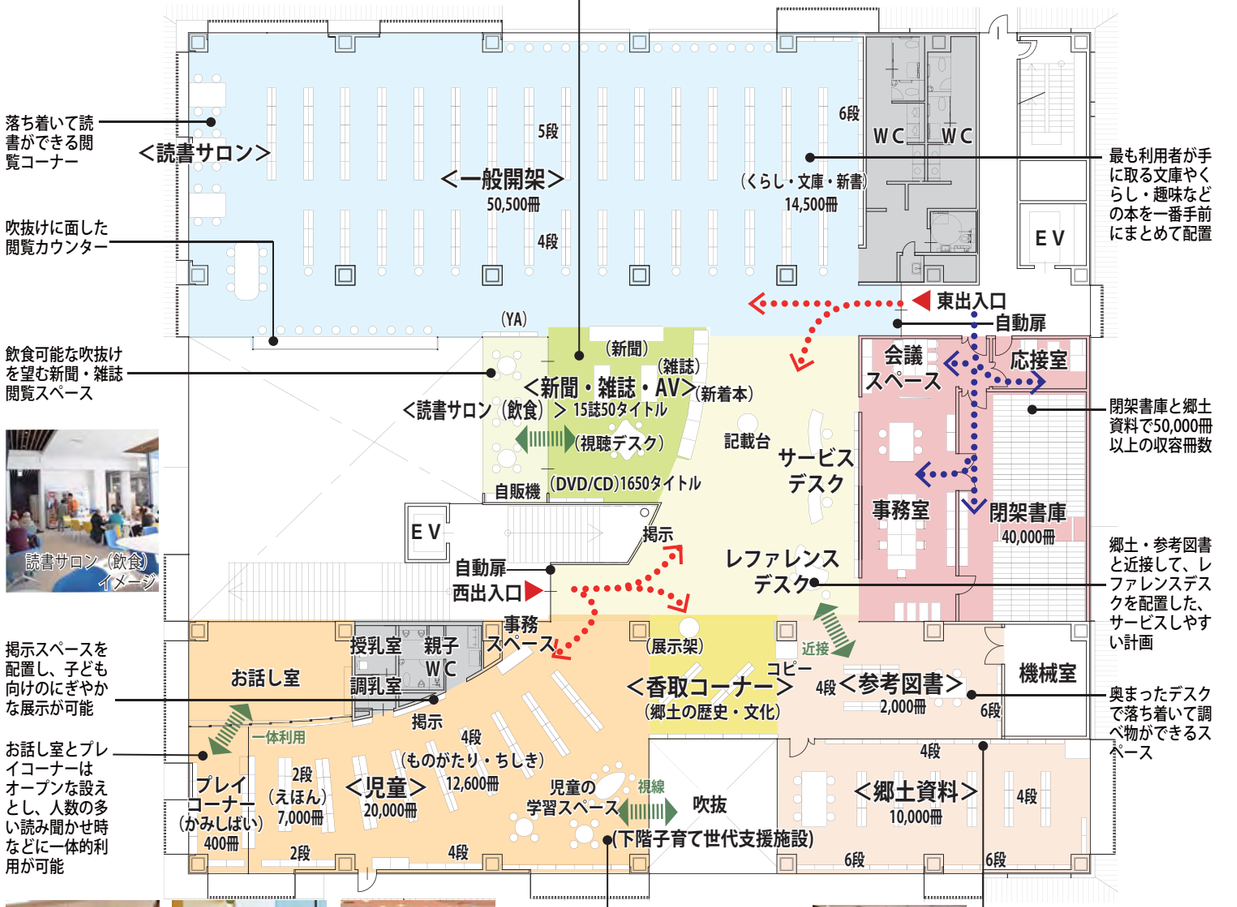
・郷土資料は間仕切りをガラスとし見える化を図るとともに、レファレンスカウンターに近接して配置し、セキュリティに配慮した計画とします。

書架イメージ（一般）

書架イメージ（壁付）

書架イメージ（文庫本）

雑誌架イメージ



読書サロン（飲食）イメージ

紙芝居架イメージ

絵本書架イメージ

児童書架イメージ

展示架イメージ

■２階計画図　S=1/300

■什器計画

書架計画の考え方

・書架は過不足のない種類・数量を設定するとともに、全体の統一感をもたせながら可変性のあるシステムを構築し、利用者にわかりやすく、運営もしやすい計画とします。

・書架は、一般書架は低書架(4段･5段)を基本とし、壁面書架は高書架(6段)を配置します。児童書架は「かみしばい」「えほん」は低書架（2 段）とし、他の児童書架も低書架（4 段）の計画です。

・書架構造は温かみがあり、加工が容易な木製を基本とします。

図書館家具の考え方

・サービスデスク・レファレンスデスク・記載台・閲覧・読書用デスク・椅子を運営方針に従い適材適所に配置します。

・コストバランス・耐久性・デザイン性に優れた良品を選定・提案し、統一感とあたたかみがあるデザインとします。

その他

・BDS（ ブックディテクションシステム：セキュリティシステム ）機器・OPAC（ オパック：利用者に供されるオンライン蔵書目録 ）・自動貸出機の設置・本の IC タグ化の将来対応に配慮した計画とします。

⑤公民館機能

■公民館機能計画の考え方

・公民館機能は「（仮称）佐原通り」でのイベント利用に配慮し、多目的に利用可能なイベントスペース・メディアスペースを 1 階に配置、その他諸室を 3・4 階にまとめて配置します。

・3 階に研修室や学習室等の学びの部屋を配置、4 階には音楽活動などが可能な多目的ホールや音楽練習室を集約配置し、機能に応じた連携が容易な計画とします。

・各室に隣接した外部テラスや共用スペースを設けることで、各諸室と一体的な利用を可能にし、多様な活動を促します。

イベントスペース

・各種講演会・展示・イベント・研修利用など多目的に利用可能な計画とします。

・「（仮称）佐原通り」と一体的な利用を考慮し、天井高さ 3.3m を確保します。

・展示パネルとしても利用可能な移動間仕切り（防音仕様）を設置することで、部屋の分割利用も可能な計画とします。

・ライティングレールを設置し、照明を自由に配置することが可能な計画とします。

メディアスペース

・「（仮称）佐原通り」と一体的な利用を考慮し、天井高さ 3.3m を確保します。

・スクリーン・プロジェクターを使用した会議・研修などに利用可能な計画とします。

・ピアノを設置し、声楽練習なども行える計画とします。

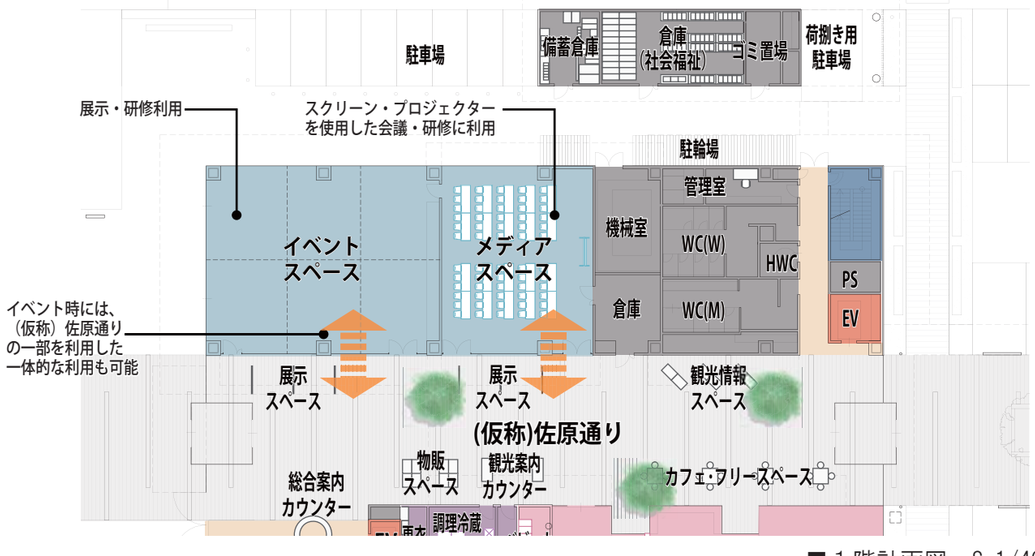
学習室

・学生の勉強などに利用できる学習室を 3 階に設置します。図書館とは別フロアに配置することで、まとまった学習スペースを確保するとともに、図書館閉館後（17:00 以降）も利用可能な計画とします。

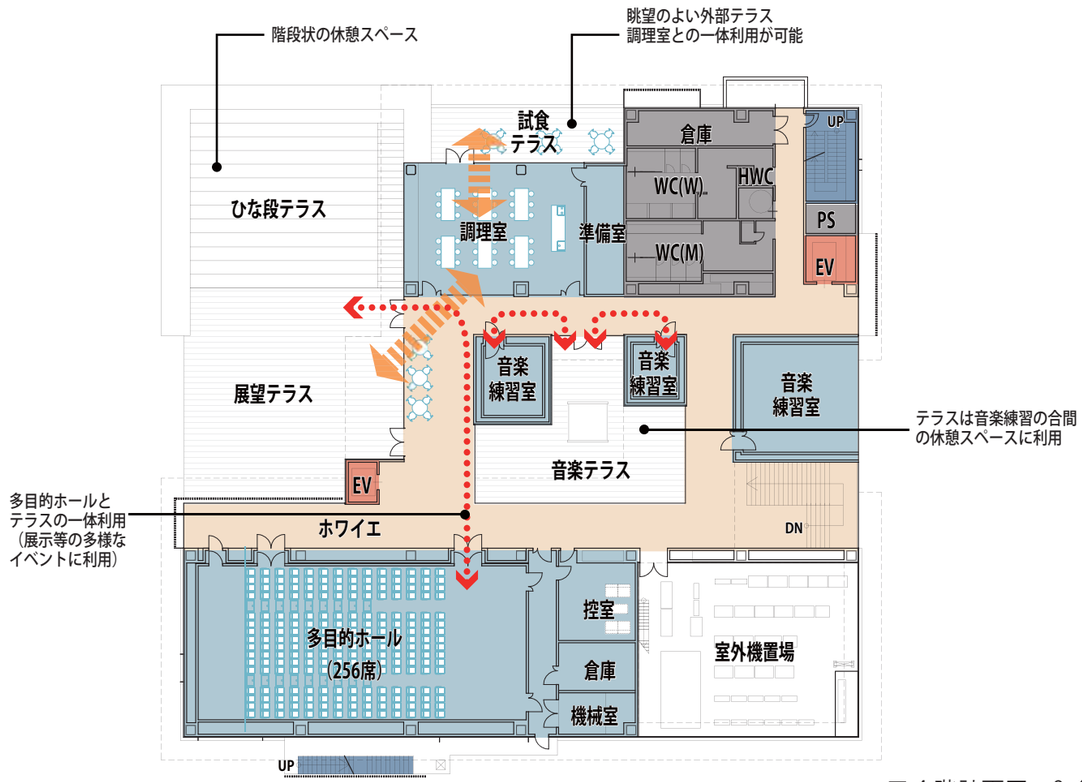
■公民館機能・社会福祉関連施設・市民活動支援センター事務室の考え方

・公民館機能・社会福祉関連施設・市民活動支援センターの事務室は 3 階の南側に集約配置し、コミュニティー活動への連携した支援が容易な計画とします。

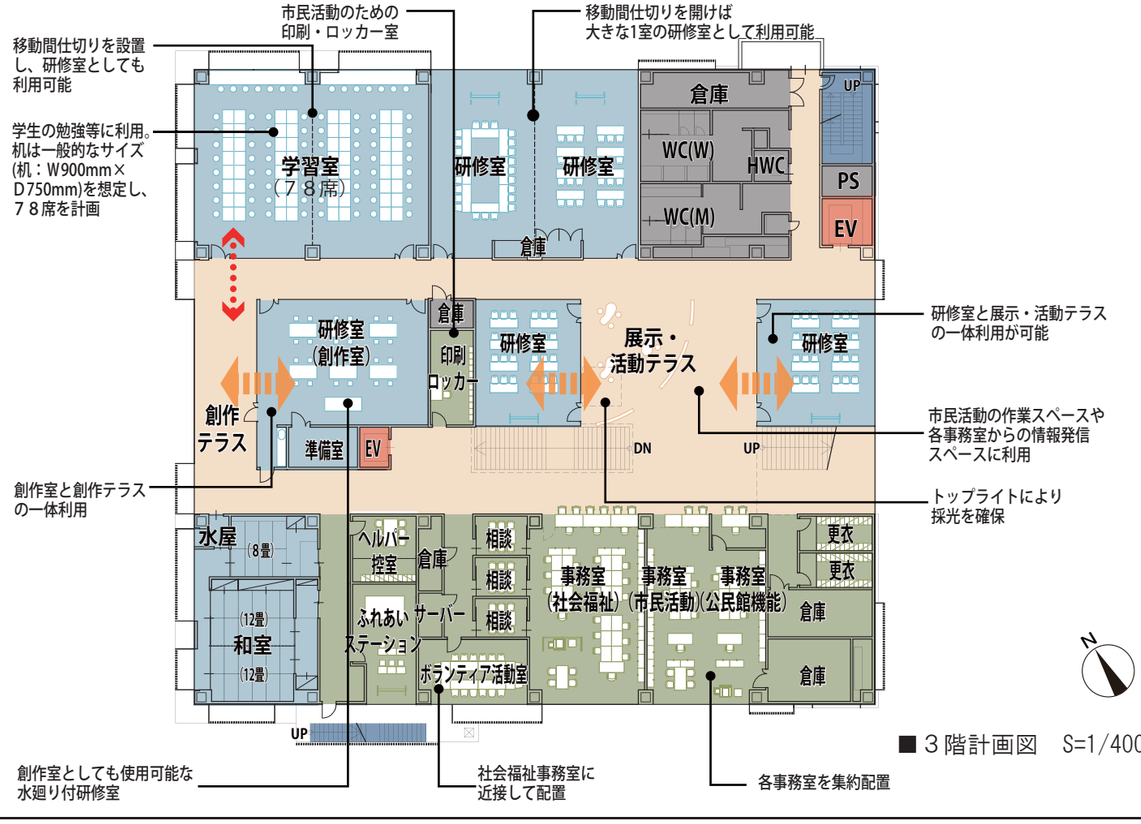
・事務室前に配置した展示・活動テラスは市民活動の作業スペースや、各事務室からの情報発信スペースとしても利用可能です。



■ 1 階計画図　S=1/400



■ 4 階計画図　S=1/400



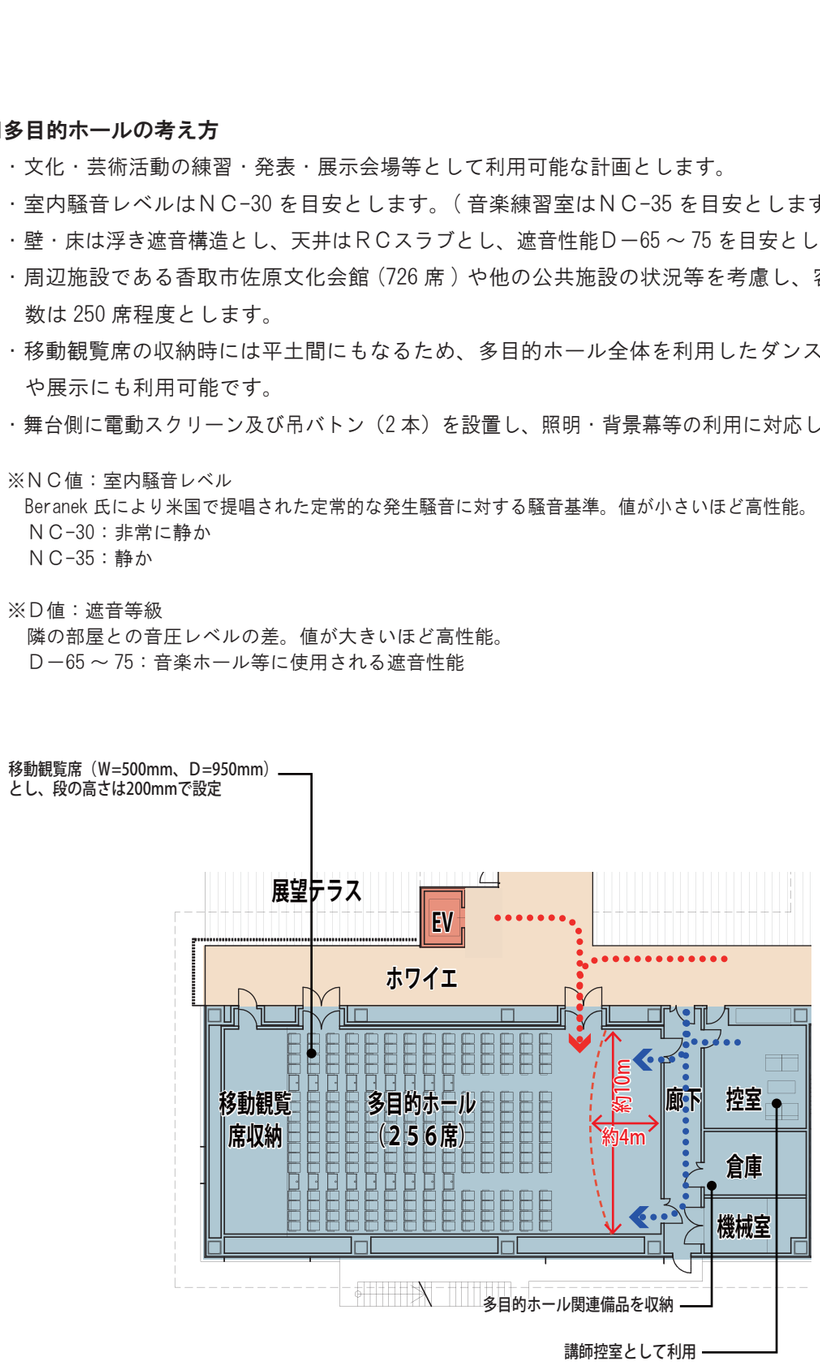
■ 3 階計画図　S=1/400

■多目的ホールの考え方

・文化・芸術活動の練習・発表・展示会場等として利用可能な計画とします。
・室内騒音レベルはＮＣ-30 を目安とします。（音楽練習室はＮＣ-35 を目安とします。）
・壁・床は浮き遮音構造とし、天井はＲＣスラブとし、遮音性能Ｄ－65 ～ 75 を目安とします。
・周辺施設である香取市佐原文化会館（726 席）や他の公共施設の状況等を考慮し、客席数は 250 席程度とします。
・移動観覧席の収納時には平土間にもなるため、多目的ホール全体を利用したダンス練習や展示にも利用可能です。
・舞台側に電動スクリーン及び吊バトン（2 本）を設置し、照明・背景幕等の利用に対応します。

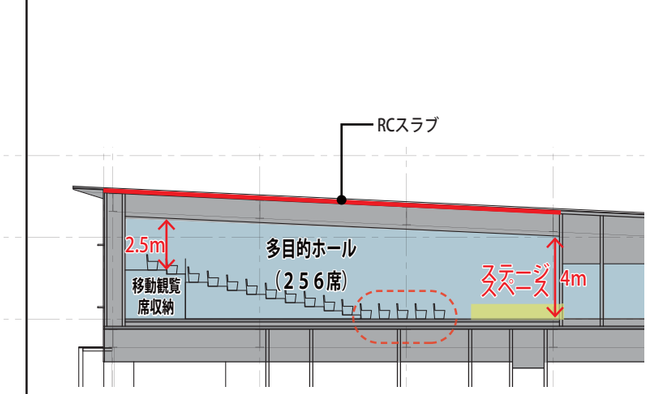
※ＮＣ値：室内騒音レベル
Beranek 氏により米国で提唱された定常的な発生騒音に対する騒音基準。値が小さいほど高性能。
ＮＣ-30：非常に静か
ＮＣ-35：静か

※Ｄ値：遮音等級
隣の部屋との音圧レベルの差。値が大きいほど高性能。
Ｄ－65 ～ 75：音楽ホール等に使用される遮音性能

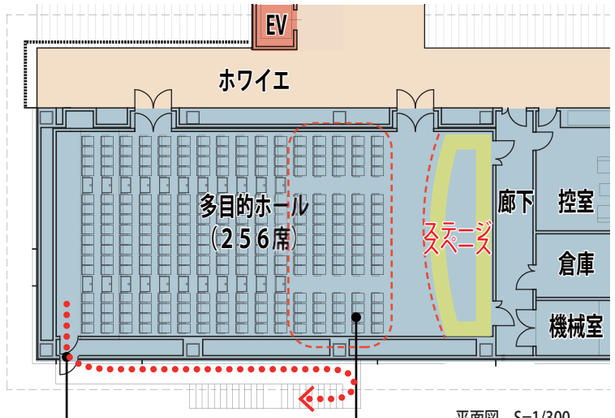


■４階計画図　S=1/300

①客席利用時：講演会利用等を想定



断面図　S=1/300



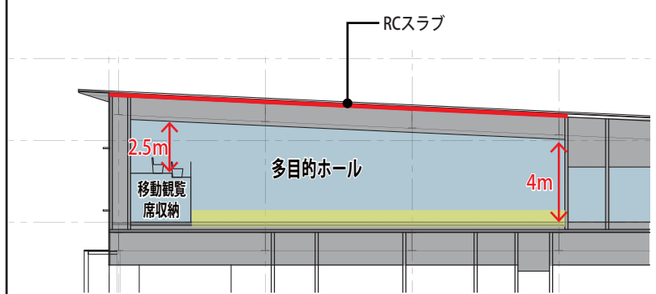
平面図　S=1/300

屋外階段は客席展開時のホール上部からの避難に利用

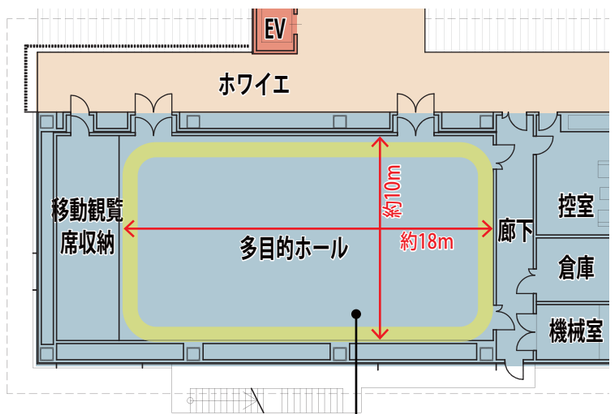
客室数に応じてスタッキングチェアを配置

利用形態に応じて転換

②客席収納時（平土間利用）：ダンス・展示利用等を想定



断面図　S=1/300



平面図　S=1/300

平土間とし、客席部・ステージ部全体を使うことも可能

2－3．断面計画

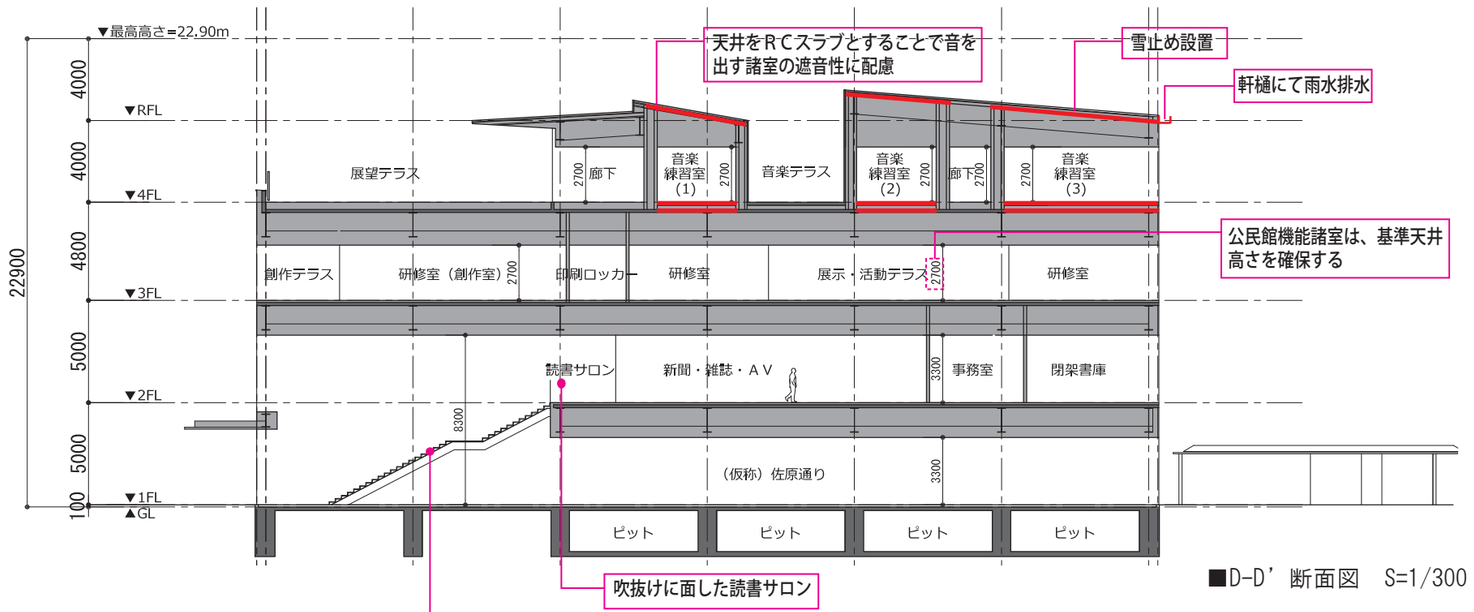
（1）断面計画の考え方

・柱、梁による鉄骨ラーメン構造とし、各用途に応じた適正な天井高を確保する計画とします。
・音楽活動等を想定した諸室である多目的ホールと音楽練習室を最上階へまとめて配置し、壁を 2 重壁、床を浮き遮音構造とすることで、遮音性に配慮した計画とします。
・多目的ホールの床スラブは、多目的利用時の下階への振動に配慮し、適切なスラブ厚（180mm）とします。
・多目的ホールの天井は鉄骨材に直止めとし、天井落下防止対策を行います。
・浸水被害への配慮から、高圧受変電設備・発電機は倉庫棟上、空調室外機等は、4 階及び 4 階屋上に設置します。
・勾配屋根は 5/100 以上とし軒先に軒樋を設けることで、適切に雨水を排水します。また、適切な位置に雪止めを設置します。

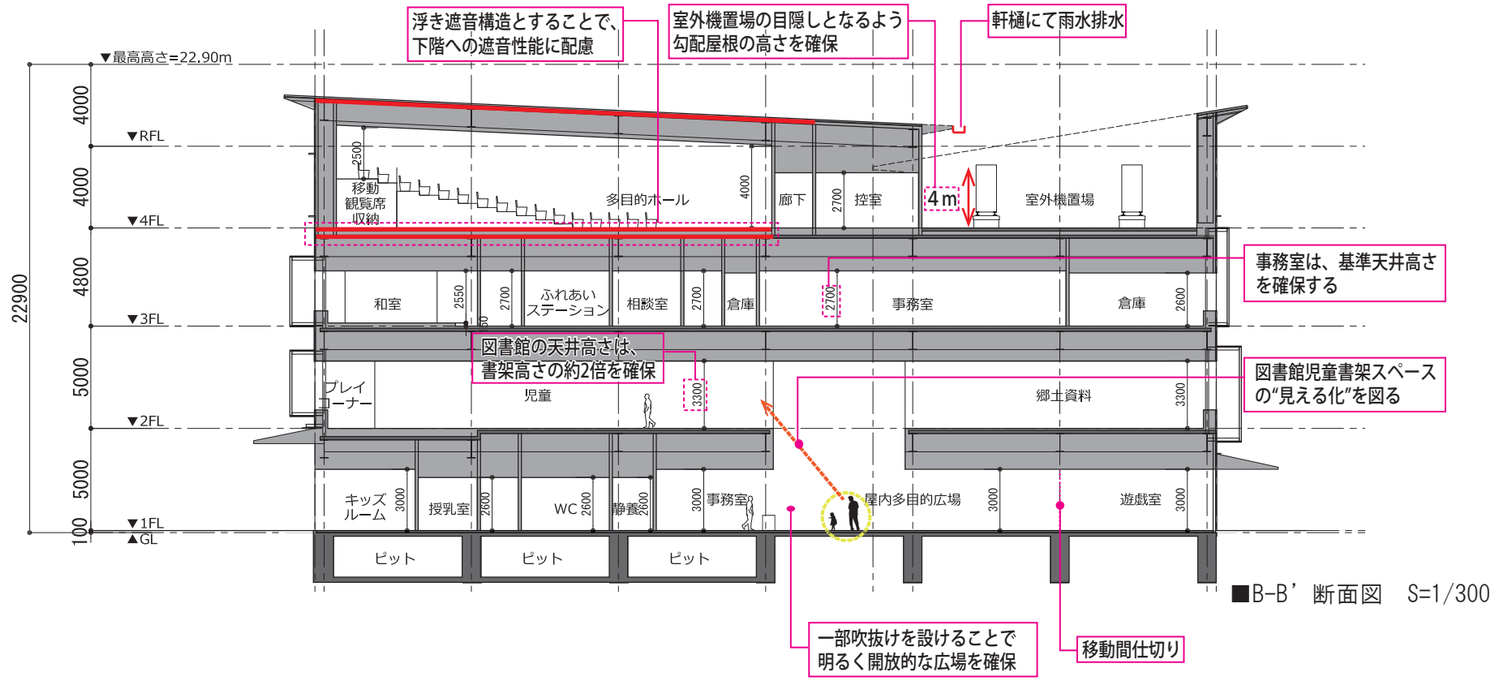
（2）階高設定

主要諸室の天井高さについては、以下の通り設定します。

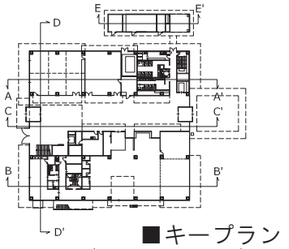
・（仮称）佐原通り：CH＝3,300（明るく開放的な空間を確保）
・図書館：CH＝3,300（書架高さの約 2 倍を確保）
・子育て世代支援施設
　屋内多目的広場・遊戯室：CH＝3,000（事例・ヒアリングによる）
・公民館機能
　研修室：CH＝2,700（事例・ヒアリングによる）
　イベントスペース：CH＝3,300（「（仮称）佐原通り」との連続性に配慮）
　多目的ホール：CH＝4,000～5,000（移動観覧席の最上部から CH＝2.5m確保）
・WC・その他バックエリア：CH＝2,600



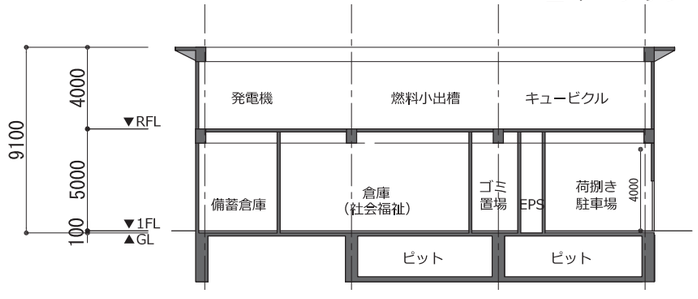
■D-D’断面図　S=1/300



■B-B’断面図　S=1/300



■キープラン



■E-E’断面図　S=1/300

（１）立面計画のテーマ

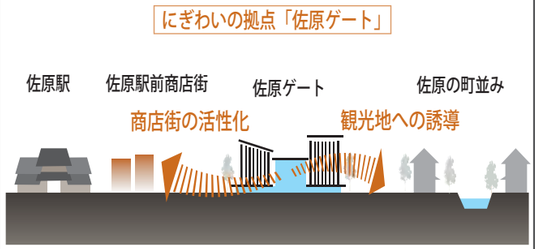
①まちの賑わいを創出する施設として、香取市の誇りとなるシンボル性を確保する

②「佐原らしさ」を取り入れた景観づくりを目指す

③周辺環境との調和を図る

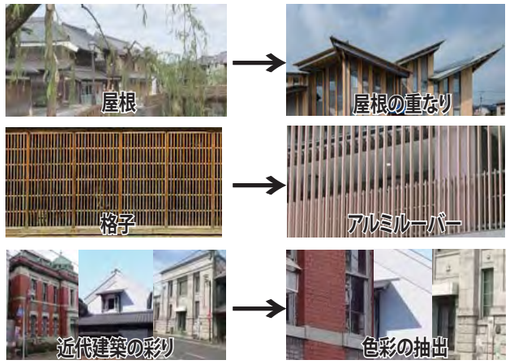
・「佐原ゲート」

佐原駅前商店街、佐原の町並みへと人の流れをつくりだすにぎわいの拠点



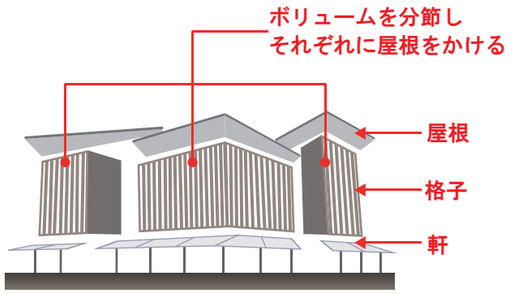
・佐原らしい景観づくり

佐原の町並みに見られる伝統的な町並みのデザインコードに近代建築の彩りを重ねた和モダンなファサードづくり



・建物を分節し、周辺環境との調和を図る

建物ボリュームを分節し、各ボリュームに勾配屋根をかけることで周辺との調和を図る

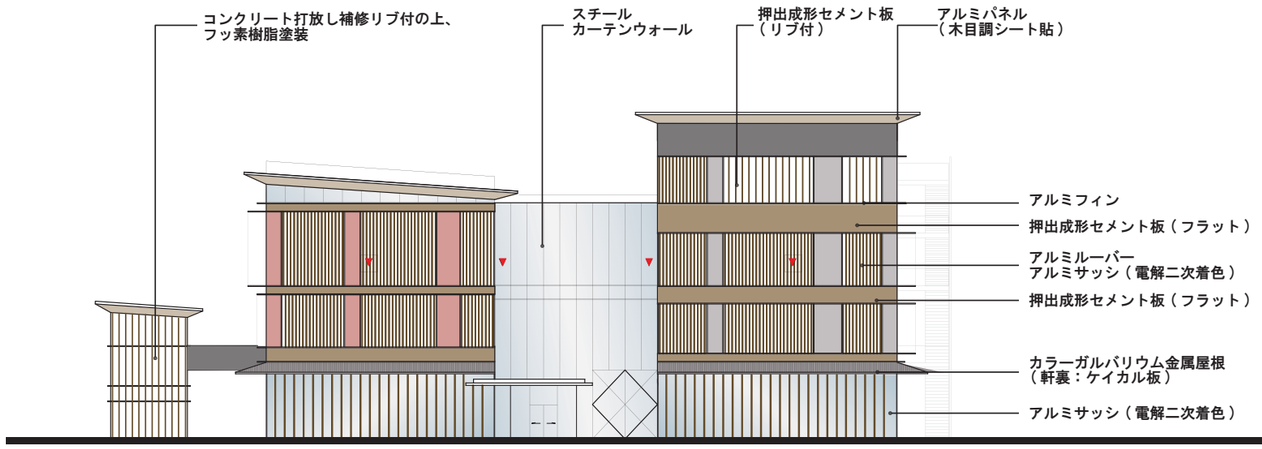


（２）立面コンセプト

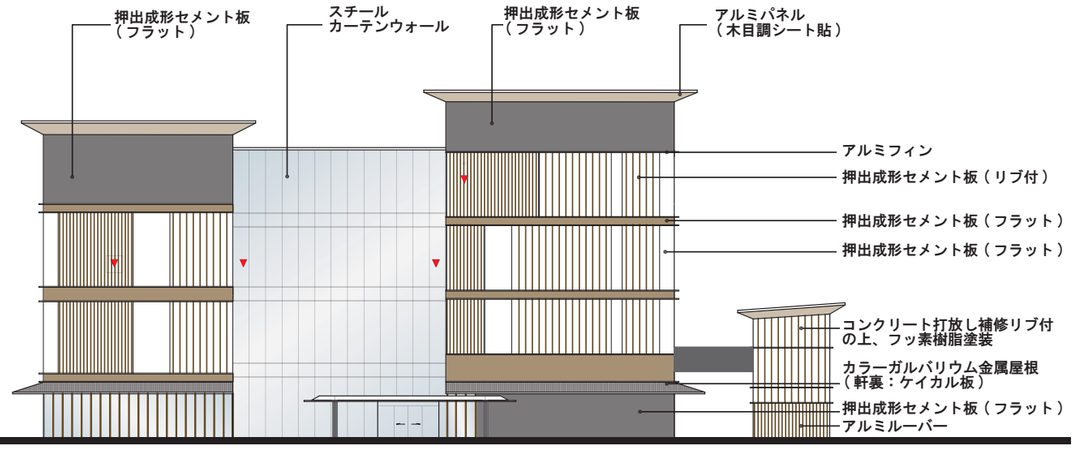
「粋（いき）、活（い）きとした景」

**混然としながらも一体となって、落着いた雰囲気を醸し出す佐原の町並み。
まちの文脈を彷彿とさせる“粋”と、市民活動の熱気が溢れだす“活き”が重なり合う、
粋（いき）活（い）きとしたまちを象徴する顔づくり。**

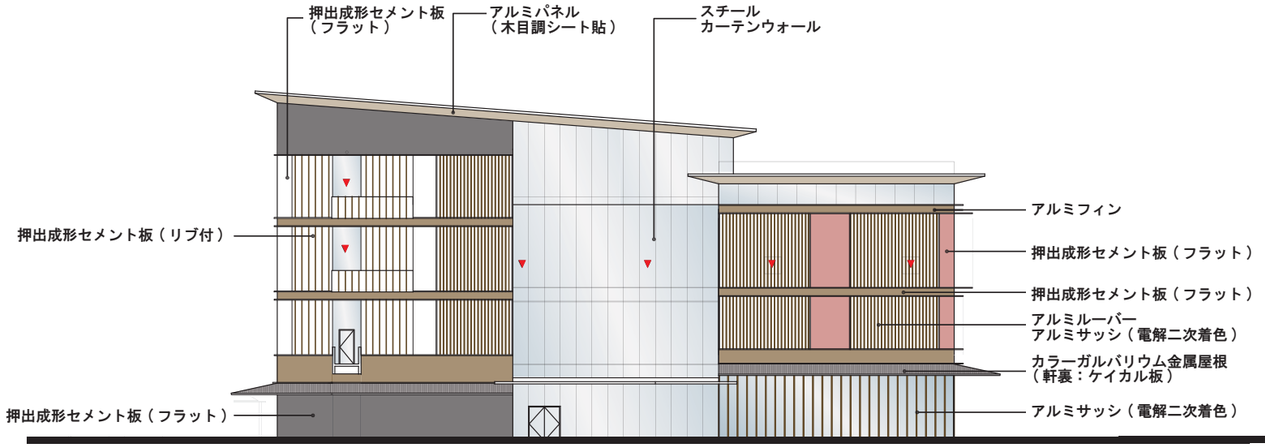
北西側外観イメージ



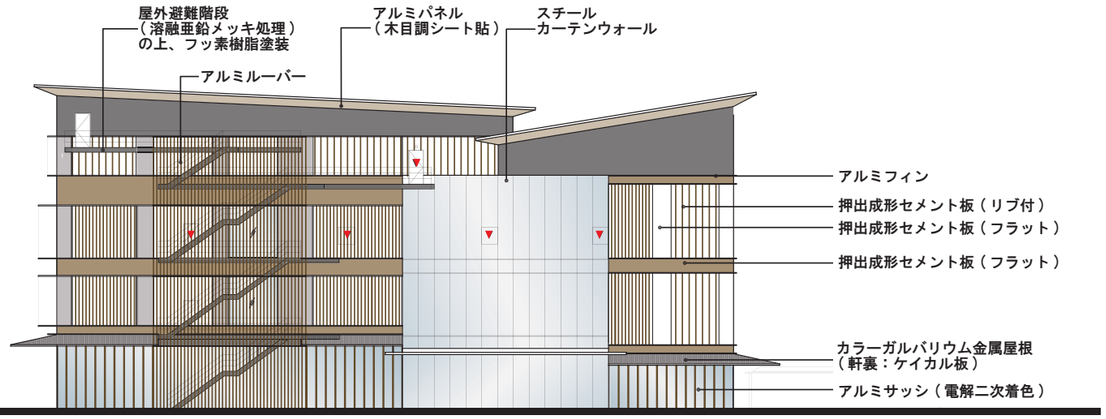
西側立面図　S=1/400



東側立面図　S=1/400



北側立面図　S=1/４00



南側立面図　S=1/400

・佐原らしいファサードと色彩を抽出

2－5．内外装計画

（1）外部仕上の考え方

・佐原の町並みにある、茶・レンガ色・白・グレーなどの色彩を取り入れ、周辺環境との調和に配慮した計画とします。
・エコマテリアルを採用し、地球環境に配慮した仕上材を選定します。
・ライフサイクルコストへの配慮からメンテナンスフリー資材の採用など、維持管理の容易な仕上材を選定します。また種類を限定し、シンプルで経済性に配慮した計画とします。

屋根 ：カラーガルバリウム鋼板瓦棒葺き、アスファルト外断熱防水押えコン 80 t
外壁 ：押出成形セメント板（ フッ素樹脂塗装 ）、アルミルーバー
外部サッシ ：アルミサッシ（電解二次着色）、スチールカーテンウォール
テラス ：再生木デッキ

（2）内部仕上の考え方

・今後のプラン変更への配慮として、間仕切り壁は乾式工法を主体として計画します。
・共用部は、佐原の町並みの色彩や木調をとりいれた親しみやすい計画とします。
・仕上材及びその下地は、有害な化学物質が限りなく少ない材料（Ｆ☆☆☆☆: フォースター ）を選定します。
・多目的ホール・音楽練習室・書架等は機能に応じた吸音性能に配慮した仕上げとします。
・天井高さが高くなる多目的ホールは、鉄骨材に吸音材を直貼りとすることで天井落下防止対策に配慮した計画とします。
・管理諸室他、各機能諸室は修繕が容易で、かつローコストな仕上げとします。
・耐久性を考慮した様々な利用者が訪れる施設に相応しい仕上げとします。

■内部仕上表

室名	床	巾木	壁	天井
(仮称)佐原通り	磁器質タイル	SUS巾木	不燃木化粧合板 石膏ボード＋EP	岩綿吸音板 不燃木化粧合板
屋内多目的広場・遊戯室・集会室・キッズルーム (子育て世代支援施設)・読書サロン・お話し室(図書館)	フローリング	木製巾木	石膏ボード＋EP	岩綿吸音板
ベビーカー置場(図書館)	磁器質タイル	ビニル巾木	石膏ボード＋EP	石膏ボード＋EP
一般書架・児童用書架・雑誌・新聞・ＡＶコーナー ・事務室(図書館) ・３階事務室	タイルカーペット OAフロア	ビニル巾木	石膏ボード＋EP	岩綿吸音板
プレイルーム(図書館)	ビニル床シート	ビニル巾木	石膏ボード＋EP	岩綿吸音板
１F事務室(観光)・応接室・研修室・学習室 ・ホワイエ・控室(公民館機能)	タイルカーペット ※研修室（創作室）はビニル床シート	ビニル巾木	石膏ボード＋EP	岩綿吸音板
和室(公民館機能)	畳・磁器質タイル フローリング	畳寄せ	ビニルクロス(和風)	不燃木化粧合板
水屋(公民館機能)	フローリング	ビニル巾木	ビニルクロス(和風)	不燃木化粧合板
多目的ホール(公民館機能)	フローリング(浮き床)	木製巾木	EP塗装・天然木練付不燃板有孔加工 (浮き遮音壁)(グラスウール裏打ち)	有孔石膏ボード＋EP (グラスウール裏打ち)
音楽練習室(公民館機能)	フローリング (浮き床)	木製巾木	有孔石膏ボード＋EP(浮き遮音壁) (グラスウール裏打ち)	有孔石膏ボード＋EP (グラスウール裏打ち)
ボランティア活動室(社会福祉関連施設)・郷土資料(図書館) イベントスペース・メディアスペース・静養室・相談室 ・展示活動テラス(公民館機能)	ビニル床シート	ビニル巾木	石膏ボード＋EP	岩綿吸音板
閉架書架(図書館)・ヘルパー控室・印刷ロッカー ・更衣室(社会福祉関連施設)・準備室(公民館機能) ・１F事務室(子育て世代支援施設)・管理室	ビニル床シート(管理室一部畳)	ビニル巾木	石膏ボード＋EP	化粧石膏ボード
授乳室・1F調理室(子育て世代支援施設)	ビニル床シート	ビニル巾木	化粧ケイカル板 石膏ボード＋EP	石膏ボード＋EP ※調理室は化粧石膏ボード
WC	ビニル床シート	シート巻上	ケイカル板＋EP-G	ケイカル板＋EP-G
倉庫・書庫	ビニル床シート	ビニル巾木	石膏ボード＋EP	化粧石膏ボード
階段室	ビニル床シート	ビニル巾木	石膏ボード＋EP	岩綿吸音板

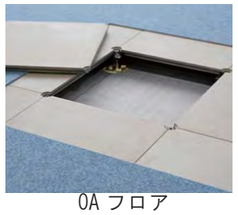
押出成形セメント板（ﾘﾌﾞ付）

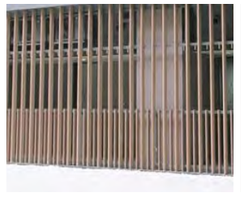
岩綿吸音板

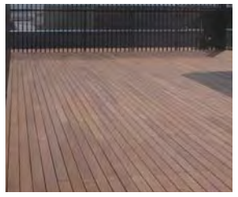
ビニル床シート

不燃木化粧合板

タイルカーペット


OA フロア


アルミルーバー


再生木デッキ

2－6．環境配慮計画

（1）基準の設定について

・環境負荷を抑えコストバランスに配慮し、機械的な手法によらず建築的に自然エネルギーを活用した環境設計とします。

・費用対効果を検証のうえ､下表の対策を行うことで、省エネ･再エネを行わない建物と比較し、一次エネルギー消費約 30%削減を目指します。

省エネ･再エネ技術項目

技術項目 ＼ 建物用途･規模				配慮内容	今回計画 取り組み内容（◎採用）	備考
建築	自然採光を得やすい建築計画			最適化再エネ（直接）	◎	居室の主採光面を南北に配置
	自然通風を取り入れる建物配置			再エネ（直接）	◎	居室の開口部を卓越風である南北に配置
	熱負荷を低減する建物配置･建築形状			熱負荷低減	◎	居室の開口部を南北に配置
	外壁断熱	屋根断熱（75mm）		熱負荷低減	◎	
		外壁断熱（50mm）		熱負荷低減	◎	
	開口部	複層ガラス（Low-E）		熱負荷低減	◎	
		気密サッシ（気密等級 A-4 相当）		熱負荷低減	◎	
	日射遮蔽（庇、縦ルーバー等）			熱負荷低減	◎	庇・縦ルーバーの設置
	高性能外壁（エアフローウインドウ、ダブルスキン等）			熱負荷低減		
	自然換気			再エネ（直接）	◎	手動の開閉窓を設置
	建物（屋上・壁面等）緑化			緑化		
	雨水利用			資源の有効利用		
	エコマテリアル			資源の有効利用	◎	
電気設備	デマンド監視装置（電力監視装置）			電力ピーク対策	◎	ピーク警報で節電促進
	発電	太陽光発電設備		再エネ（変換）	◎	
		コージェネレーション装置		高効率 電力ピーク対策		
	変圧器	トップランナー変圧器（2014 基準）		高効率	◎	
	照明	居室	LED 照明（ベースライト）	高効率	◎	
			昼光連動制御システム	最適化		
			スイッチ回路の細分化	最適化	◎	
			タスク＆アンビエント照明（執務室）	最適化		
		共用部	人感センサー制御	最適化	◎	階段・倉庫・トイレを対象
			LED 照明（ダウンライト）	高効率	◎	
			LED 誘導灯	高効率	◎	
		高天井	LED 照明（高天井器具）	高効率	◎	
		外構	LED 照明	高効率	◎	
		集中管理コントローラー		最適化	◎	
	コンセント	待機電力削減システム		最適化		
機械設備	空調（個別式）	高効率パッケージエアコン		高効率	◎	
		センサー機能（人感、温度等）		最適化		
		集中管理コントローラー		最適化電力ピーク対策	◎	
	空調（共通）	顕熱潜熱分離（デシカント）空調システム		高効率快適性の確保		
		氷蓄熱式空調機器		電力ピーク対策		
		地中熱利用ヒートポンプ		再エネ（直接）		
	換気設備	外気導入制御システム（CO2 センサー）		最適化	◎	
		外気冷房		最適化		
		予冷予熱制御（外気カット）		最適化	◎	（仮称）佐原通り・多目的ホールを対象
		全熱交換器（同ユニット）		高効率	◎	
		クール・ヒートピット（チューブ、トレンチ）		再エネ（直接）		
		高効率ファン（三相）		高効率	◎	
		機械室ファン発停制御		最適化	◎	
	給水衛生設備	衛生設備	節水器具	資源の有効利用	◎	
			トイレの擬音装置	資源の有効利用	◎	
		給湯設備	高効率給湯器	高効率	◎	
			排熱回収型給湯器	高効率		
			太陽熱利用設備	再エネ（直接）		
	搬送	昇降機	電力回生制御	高効率		
			回生電力蓄電システム	高効率		
			エスカレーター人感制御	最適化		

（2）省エネルギーについて

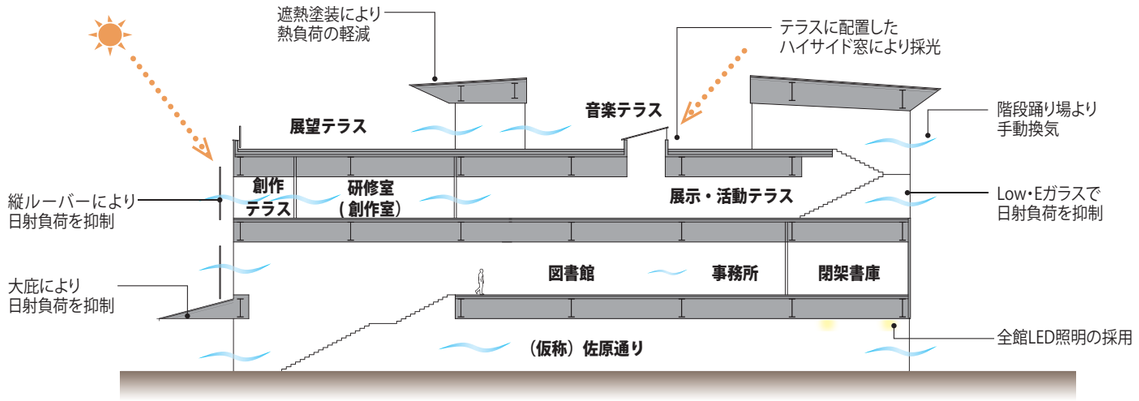
①自然エネルギーの活用

・外周部＋施設中央の階段吹抜けの採光・通風により、省エネで快適な環境をつくります。

・各階換気窓は手動タイプを基本とし、共用部は施設管理者、専有部は各施設の管理者がそれぞれ開閉を管理する計画とします。

・格子をモチーフとした縦ルーバーにより西日を遮蔽します。

・外壁は高断熱化、ガラスは高断熱ガラスを用い、断熱性を高めます。



②高効率設備システムの導入

省エネルギー・省力化・経済性を考慮した機器及びシステムを採用し、ランニングコストの低減を図ります。

（4．電気設備計画 4-2．電気設備計画概要 E-01･02参照）（5．機械設備計画 5－3．空気調和設備計画 M-03参照）

LED照明

・照明器具については、省エネルギーなＬＥＤ照明を導入します。

人感センサー

・階段・倉庫・トイレには、人の所在を感知して照明を点灯・消灯する人感センサーを導入します。

高効率パッケージエアコン

・各室の空調機には、高効率パッケージエアコンを導入します。

（3）創エネルギーについて

創エネルギー項目として、太陽光発電を採用します。

太陽光発電

・太陽光発電パネルは、空調室外機スペース・周辺状況を考慮し、発電効率の良い多目的ホール屋上に金属屋根置型で設置します。設置容量は 20kw を確保し､災害時における「（仮称）佐原通り」に使用される照明･コンセント等（動力を除く）の消費電力の約 1/3 をまかないます。

・創エネルギーの“ 見える化 ”を図るため「（仮称）佐原通り」に設置した表示ディスプレイには、太陽光発電の発電量を掲示します。（4．電気設備計画 4-2．電気設備計画概要 E-01 参照）

2－7. 防災計画

（1）災害時の考え方

・大規模災害時には、近接する市民体育館が当該地区の指定避難所として指定（利根川の氾濫による洪水被害の時は浸水想定区域内となるため避難所とはならない）されており、本施設は台風など事前に荒天が予想される場合に、一時的な 40 人程度の小規模自主避難場所（避難所）として活用します。

（2）避難所の設定

・自主避難場所：　1 階メディアスペース、3 階和室・研修室
・災害対策支援：　3 階事務室

（3）万が一に備える施設計画

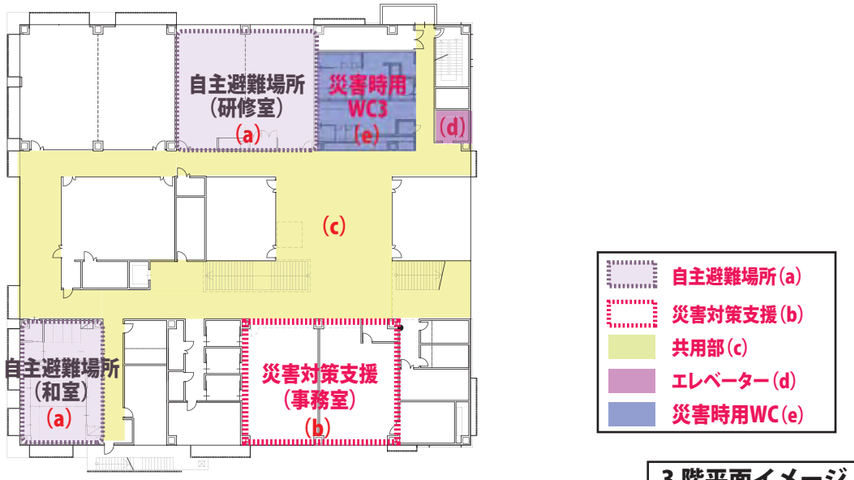
・ハザードマップによると計画敷地は、2～5mの浸水地域に指定されているため、高圧受変電設備・発電機は別棟倉庫棟上、空調室外機等は 4 階及び屋上に設置します。

（4）小規模自主避難場所としての機能維持

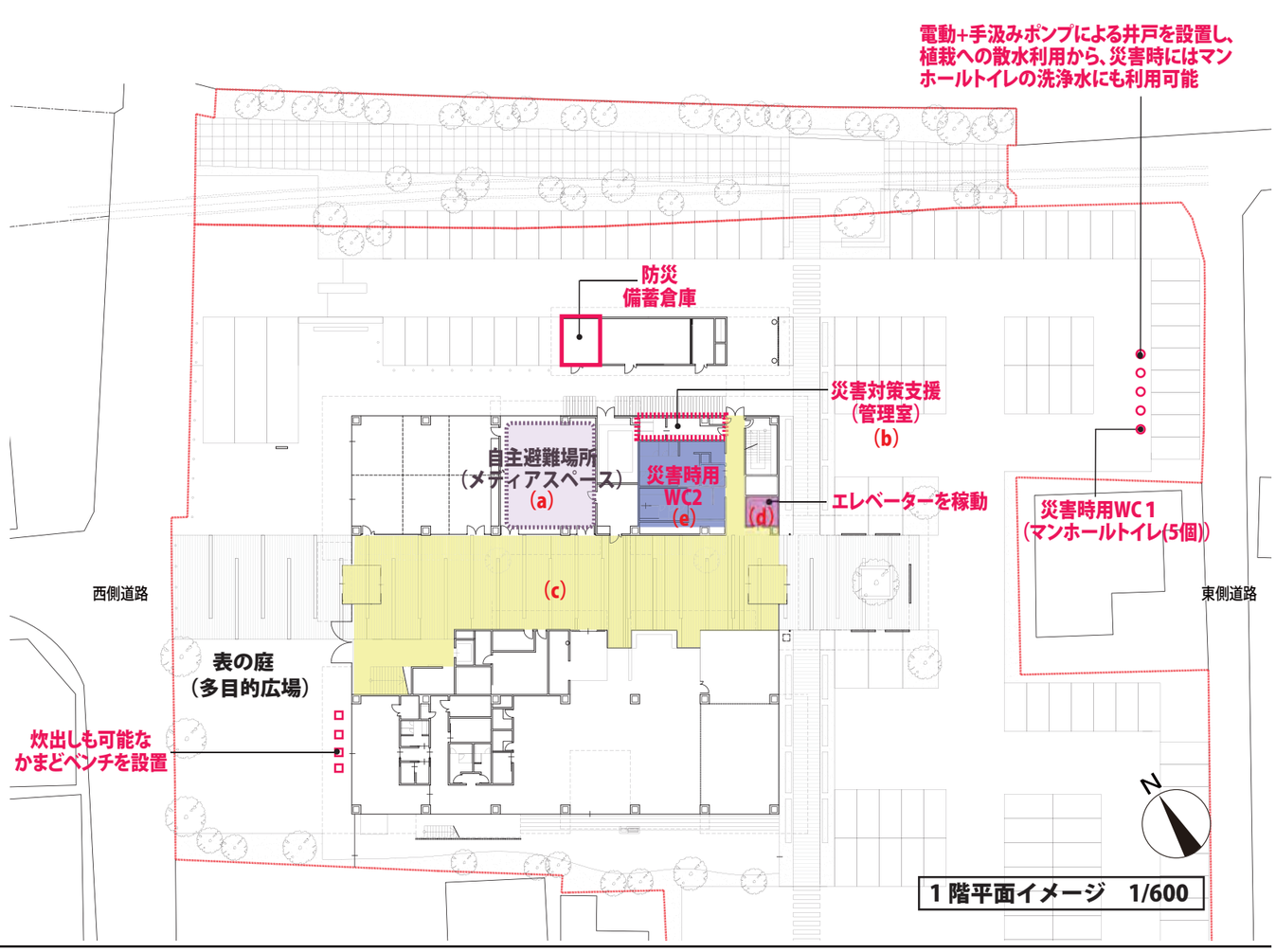
・小規模自主避難場所として安心・安全な構造計画（I=1.25）を確保します。
（3. 構造計画　3-1. 基本方針　S-01 参照）
・内外の仕上材や設備についても必要な耐震安全性能（A 類・乙類）を確保するとともに、図書館の本棚・作り付け家具の転倒についても十分な対策を施します。

（5）自主避難施設としての機能強化

・自主避難場所：1 階メディアスペース、3 階和室・研修室の一部
→照明・コンセント・空調を 100%稼動…(a)
・災害対策支援：1 階管理室、3 階事務室
→照明の 1/3、コンセント・通信機器の一部を稼動…(b)
・共用部：災害対策支援・自主避難場所に至る経路
→照明の 1/3 を稼動…(c)
・エレベーター：エレベーター（東側）を稼動…(d)
・トイレ：災害時用ＷＣ1～3
→1・3 階のトイレを利用（照明・ポンプを稼動）…(e)
下水道本管近接位置にマンホールトイレ（5 個）を設置します。
※断水した場合、マンホールトイレを利用する計画とします。
・防災備蓄倉庫：駐車場に別棟で配置します。
・飲料水の確保：受水槽内の保溜水を供給、また、防災備蓄倉庫に飲料水を保管します。
・太陽光発電設備（20kw）：「（仮称）佐原通り」の消費電力（動力を除く）の約 1/3 を供給します。
・炊出し：「表の庭（多目的広場）」に炊出し可能なかまどベンチを設置します。
・非常用発電機：本施設は一時的な小規模自主避難場所（避難所）の位置づけであることから、上記の（a）～（e）及び防災負荷を含め、48 時間稼動させる計画とします。



3 階平面イメージ　1/600



1 階平面イメージ　1/600

2-8. ユニバーサルデザイン・バリアフリー計画

（1）基本的な考え方

・多世代・外国人等すべての人々にとってやさしい施設づくりを行います。明快な空間構成とし、安全で使いやすい施設とするため、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」の誘導基準の認定取得や「千葉県福祉のまちづくり条例」の適合証明取得を目指します。

（2）わかりやすい平面・断面構成

・施設毎にまとまった断面構成とし、施設の機能の充実と独立性を確保します。
・維持管理が容易で利用者にもわかりやすい計画とします。
・1 階「（仮称）佐原通り」には総合案内カウンターを設けます。また、「（仮称）佐原通り」の吹抜けに面して、4 階まで繋がるオープンな階段（大階段）を設けることで目的の場所までのルートがわかりやすく、案内しやすい計画とします。

（3）バリアフリー・ユニバーサルデザインの考え方

誰もが利用しやすい施設計画とするため、次の点に配慮します。

①アプローチ・敷地内通路

・西玄関の正面に配置した「表の庭（多目的広場）」を介して、歩行者が安全にアクセスできる計画とします。また、1 階施設中央を通る「（仮称）佐原通り」を抜けた先に、敷地の南北を繋ぐ歩行者用通路を設け、佐原の町並みまで利用者を誘導する平坦で段差の無い歩道とします。
・駐車場・駐輪場などから施設出入口（東・西玄関）までのアプローチは、段差解消、滑りにくい舗装材の採用、必要箇所への手摺や誘導ブロックの設置、ゆとりある通路幅員の確保に配慮します。
・商店街側から西玄関までの経路、車いす利用者用駐車場・車寄せから、東玄関までの経路には誘導ブロックを設置し、施設出入口まで案内できる計画とします。

②車いす利用者用駐車場

・バリアフリー新法の規定に基づき、駐車台数の 2%以上（3 台以上）の車いす利用者用駐車場（4 台）を確保します。東玄関（駐車場側玄関）に近接して車いす利用者用駐車場・車寄せを設けることにより、移動距離が短く、雨に濡れずに施設にアクセスできる計画とします。

③エレベーター

・バリアフリー新法の基準では、バリアフリー対応のエレベーターは施設に対して、1 台以上の設置が求められますが、東・西玄関からの利便性に配慮し、東・西玄関に近接して各々 1 台設けることで、わかりやすく上階にアクセスしやすい計画とします。

④トイレ

・多目的トイレを各階に配置します。1 階は多くの来館者の利用を考慮して共用部に配置し、オストメイトにも対応します。
・手摺は全ての大便器に設置します。また、各男子・女子トイレの手洗い・小便器に 1 ヶ所設置します。
・多目的シートを 1 階多目的トイレに設置します。

⑤子ども連れへの配慮

・各男子・女子トイレに子どもと一緒に入れる簡易多機能ブースを設け、ベビーシートを設置します。
・ベビーシートを簡易多機能ブース・多目的トイレ（1 階以外）に設置します。
・ベビーチェアを各男子・女子トイレの大便器に 1 ケ所設置します。
・1 階子育て世代支援施設・2 階図書館の児童コーナーに子ども用トイレ・授乳室を設置します。
・1 階各男子・女子トイレに子ども用手洗いを 1 ケ所設置します。

⑥出入口・屋内廊下・傾斜路・階段

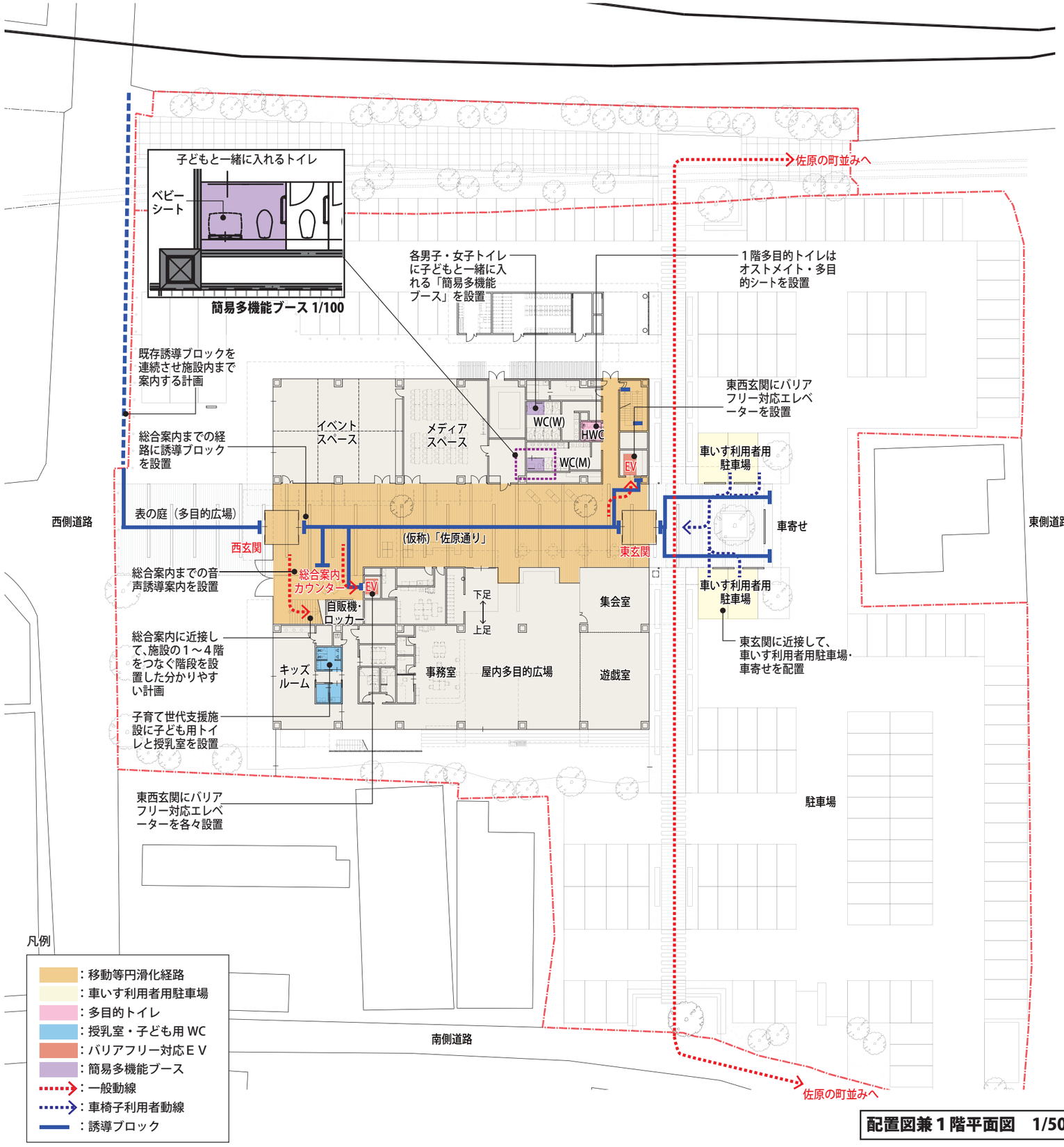
・段差のない滑りにくい材質の床仕上げとし、必要な箇所に手摺や誘導ブロックを設置します。
・出入口の扉は遮音性を優先し、開き戸を基本とし、引戸は多目的トイレ・簡易多機能ブース・授乳室等に設置します。また、1 階多目的トイレには多くの来館者の利用を考慮し、自動扉を採用します。

⑦サイン・誘導計画

・施設を訪れる高齢者・身障者・外国人等、誰にでもわかりやすい色彩や番号表示、外国語表記、ピクトグラムを併用したサイン計画とし、大きさや位置等、見やすさに配慮した計画とします。
・観光情報スペースにデジタルサイネージを設置し、施設情報等を掲示します。
・「中の庭（（仮称）小野川ギャラリー）」には、周辺地域と連携した案内板やポスターケースを設置します。

⑧案内設備までの経路（音声誘導等）

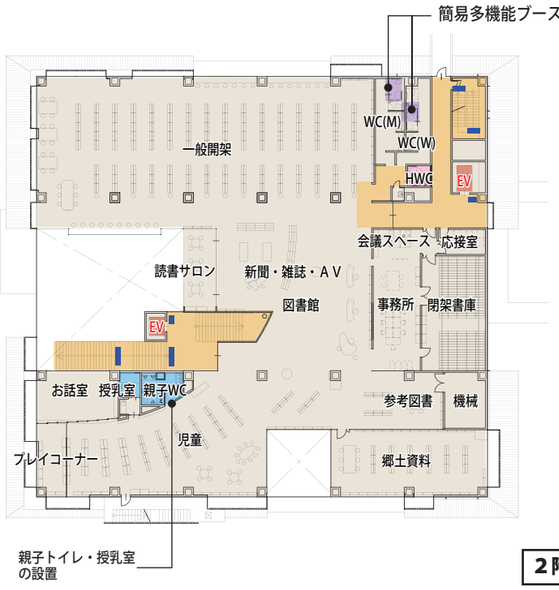
・1 階総合案内までの経路には誘導ブロックと音声誘導案内を設置します。
・各階への施設誘導はバリアフリー新法の基準に基づき、各階エレベーターボタン付近に誘導ブロックと施設案内板を設置し、各諸室へ案内できる計画とします。



配置図兼１階平面図　1/500

４階平面図　1/600

３階平面図　1/600

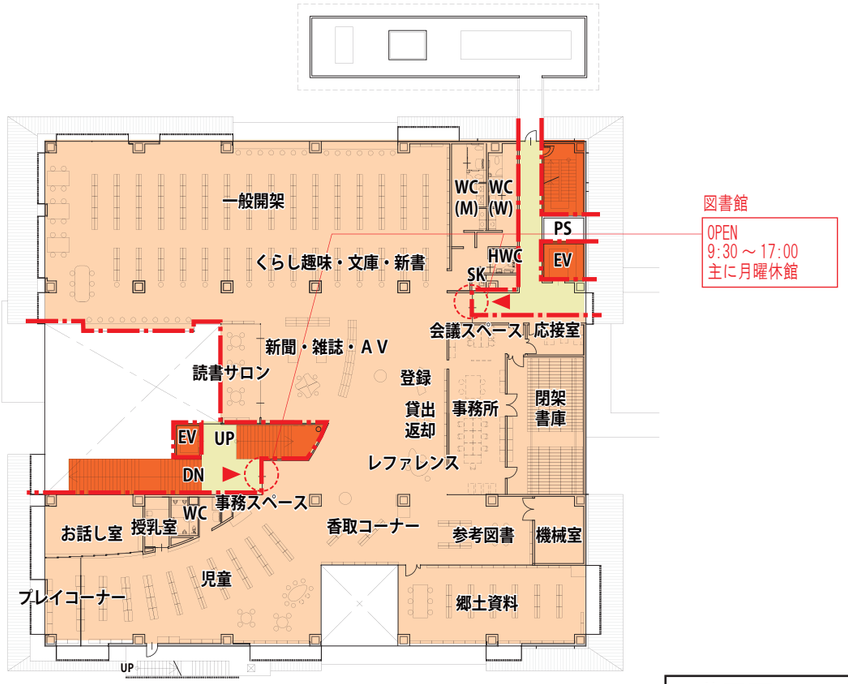


２階平面図　1/600

2－9. セキュリティ計画

セキュリティー計画の考え方

・複合公共施設であることを考慮し、管理区分を明確にします。
（各種ゾーンの運営時間は下記凡例参照）
・各エレベーター・階段毎に区画し、階毎のセキュリティラインを設けます。イベントなどで１階のみを開放することも可能な計画とします。
・４階は、公民館機能休館日（主に月曜日）に自由に出入ができない計画とします。（外部テラスなども閉鎖します。）
・敷地外周部のセキュリティラインは、東西の玄関・サービス出入口を一時セキュリティラインとします。
・駐車場利用時間は、施設の運営時間を考慮のうえ検討します。
・１階の管理室に近接したサービス出入口を最終退出口として管理します。

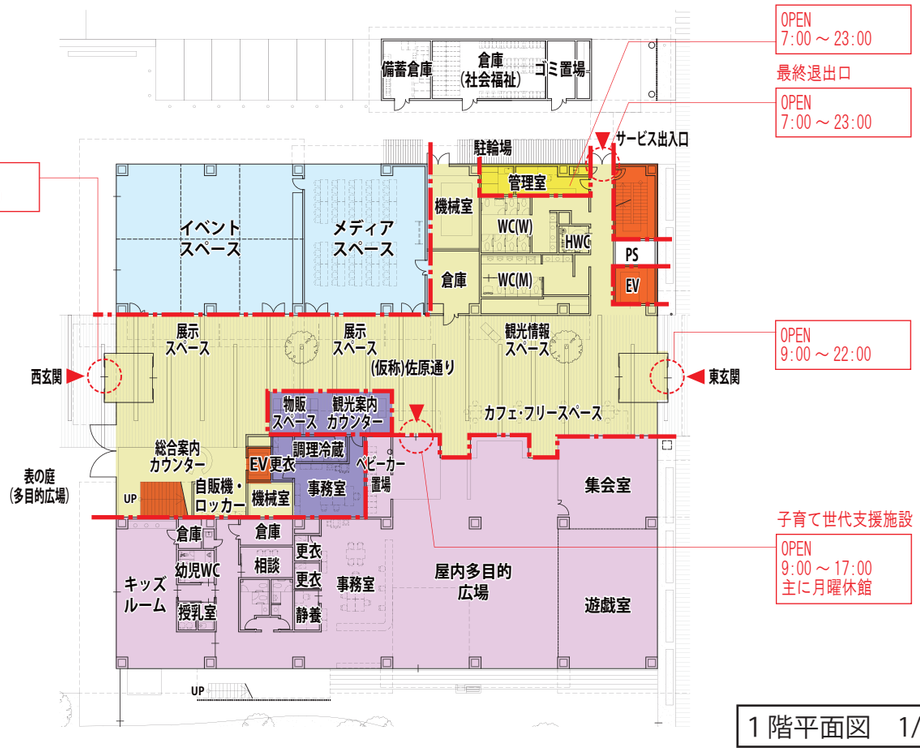


図書館
OPEN
9:30 ～ 17:00
主に月曜休館

２階平面図　1/500

公民館機能
OPEN
9:00 ～ 22:00
主に月曜休館

４階平面図　1/500



管理室
OPEN
7:00 ～ 23:00

最終退出口
OPEN
7:00 ～ 23:00

OPEN
9:00 ～ 22:00

OPEN
9:00 ～ 22:00

子育て世代支援施設
OPEN
9:00 ～ 17:00
主に月曜休館

凡例

■管理区画ライン

管理区画ライン

EV・階段

出入口

■9:00 ～ 22:00 使用エリア

■9:00 ～ 17:00 使用エリア

■9:00 ～ 17:00 使用エリア
（主に月曜休館）

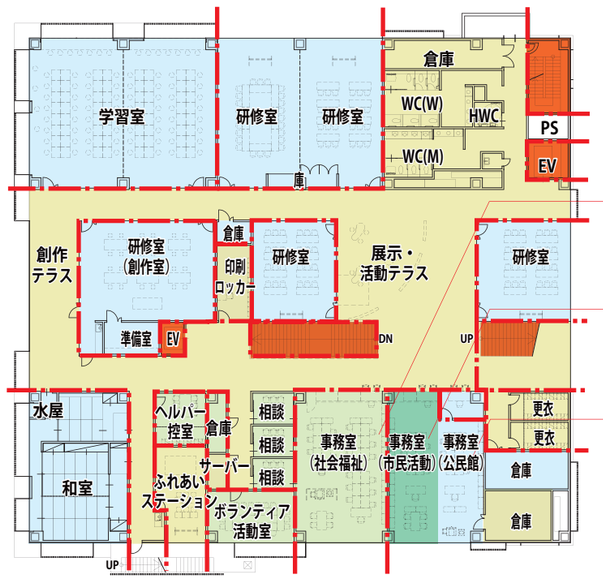
■9:00 ～ 22:00 使用エリア
（主に月曜休館）

■9:30 ～ 17:00 使用エリア
（主に月曜休館）

■8:30 ～ 17:15 使用エリア
（土曜・日曜・祝日休館）＋

■7:00 ～ 23:00（管理室）

１階平面図　1/500



社会福祉関連施設
OPEN
8:30 ～ 17:15
土曜・日曜・祝日休館

市民活動支援センター
OPEN
8:30 ～ 17:15
土曜・日曜・祝日休館

公民館機能
OPEN
9:00 ～ 22:00
主に月曜休館

３階平面図　1/500

２－１０．避難計画

（１）基本的な考え方

・衝突・転倒・転落など日常安全性への配慮やわかりやすい避難ルートの確保等、フェイルプルーフ（予防）とフェイルセーフ（発生時安全性）の考え方によって施設の安全性を確保します。

（２）配置計画

・西玄関及び屋外階段より西側前面道路へ、東玄関より歩行者専用通路を通り北・南側道路へと安全に避難できる計画とします。
・避難経路となる敷地内通路は有効幅 1.5m以上を確保し、避難しやすい計画とします。
・西側の「表の庭（多目的広場）」には消防用活動空地を設置し、災害時等に消防活動を円滑に行うことができる計画とします。

（３）平面計画

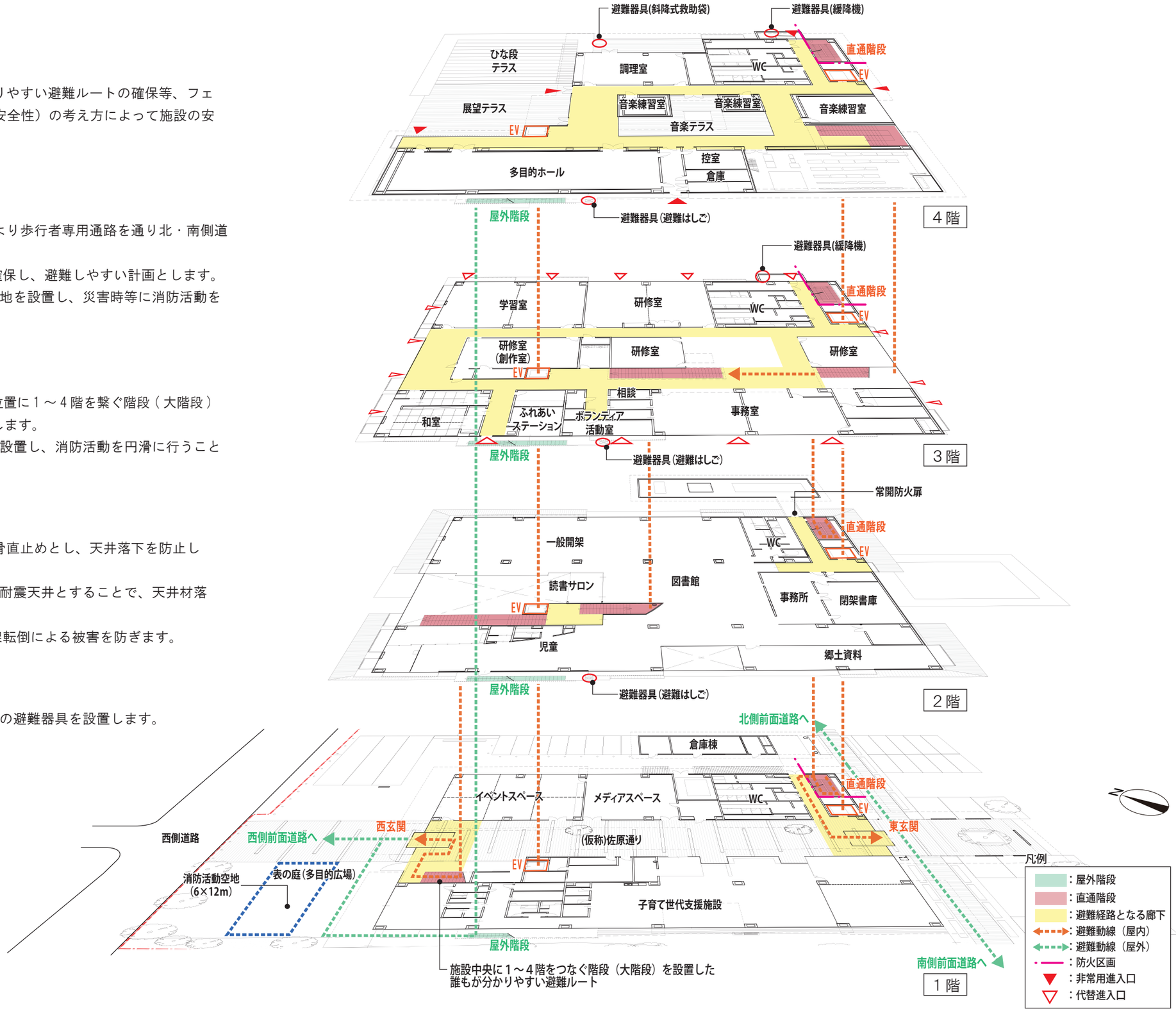
・2 方向の直通階段に加え、施設中央のわかりやすい位置に 1 ～ 4 階を繋ぐ階段（大階段）を配置した誰もがわかりやすい避難ルートを計画します。
・3 階全周に代替進入口、4 階全周に非常用進入口を設置し、消防活動を円滑に行うことができる計画とします。

（４）地震時の天井落下防止対策について

・片流れ形状となる 4 階多目的ホールの天井材は鉄骨直止めとし、天井落下を防止します。
・一部 2 層吹抜けとなる 1 階「(仮称）佐原通り」は耐震天井とすることで、天井材落下の危険性に配慮します。
・2 階図書館の書架は転倒対策を行い、地震時の書架転倒による被害を防ぎます。

（５）避難器具について

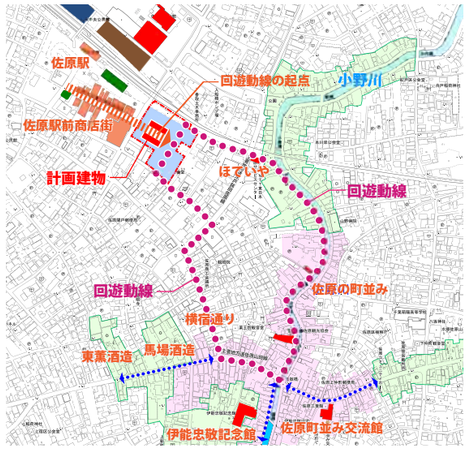
・収容人員算定により、3 階に 2 箇所、4 階に 3 箇所の避難器具を設置します。



2－11．外構計画

（1）観光機能の強化、まち全体の回遊性の向上

・「1-3(4) 周辺施設の整理」で、動線を整理し、回遊性を向上させる外構計画を提案します。



（2）外構計画の考え方 ～町並みへと導く４つの庭と通り

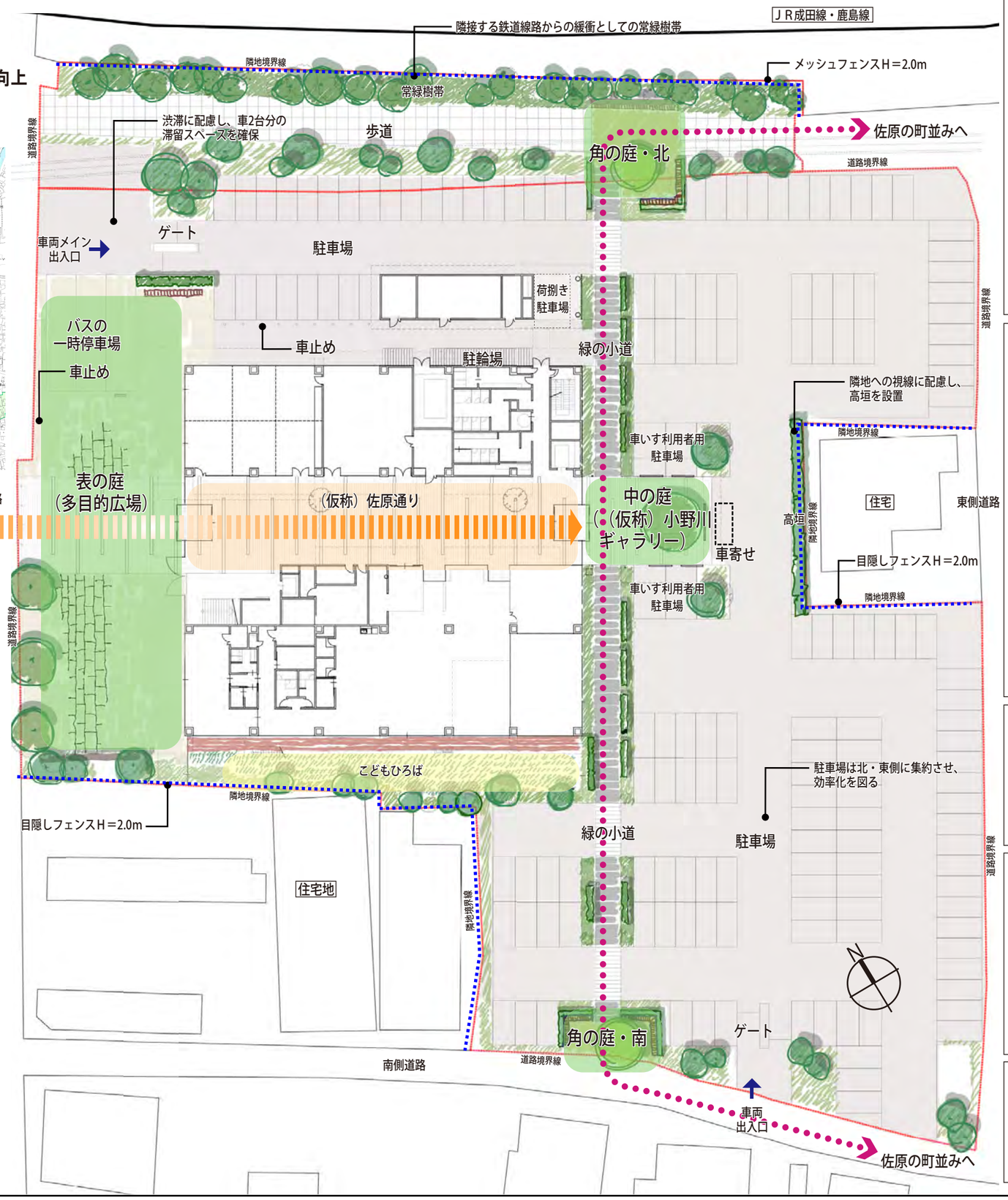
・４つの庭を観光客動線の各分岐点に配置し、通りで繋ぐことで、佐原駅から施設、そして小野川周辺へと導く町並み観光の起点となる計画とします。
・西側道路からの利用者を迎え入れる「表の庭（多目的広場）」を設けます。
・（仮称）佐原通りを抜けた先に、観光情報を発信する「中の庭（（仮称）小野川ギャラリー）」を設けます。
・南・北側道路との接点に「角の庭」を整備し、観光客の視線を誘導します。

（3）植栽計画の考え方

・「中の庭（（仮称）小野川ギャラリー）」及び「角の庭」にはアイキャッチとなるシンボルツリー（イロハモミジ）を配置します。
・植栽選定は虫害に強く、メンテナンスが容易な、常緑樹（シラカシ、ソヨゴ、ヤマモモ、イヌマキ等）を中心に選定します。

（4）雨水排水計画の考え方

・雨水排管には浸透管を採用し、雨水流出抑制に配慮した計画とします。



表の庭（多目的広場）

・計画敷地前面にオープンカフェから、朝市など多用途に利用可能な「表の庭（多目的広場）」を設けます。
・駅側のエントランス広場として開放的な休憩スペースに利用可能です。
・広場は、耐荷重性に優れた舗装材を選定し、多用途な利用に配慮します。

■表の庭（多目的広場）イメージ

中の庭（（仮称）小野川ギャラリー）

・東玄関前の「中の庭（（仮称）小野川ギャラリー）」は、車いす利用者用駐車場や車寄せから雨に濡れないルートとして整備します。
・展示パネルを配置し、観光情報を発信するとともに、駐車場への視線を遮ります。

■中の庭（（仮称）小野川ギャラリー）イメージ

緑の小道

・施設から佐原の町並みへと誘導する遊歩道には、県木のイヌマキ等の生垣を配置し、緑豊かな心地よい歩行者空間を計画します。

■生垣イメージ

角の庭（北・南）

・「緑の小道」と南北の道路との接点に「角の庭」を設けます。佐原の町並みへ誘導するアイキャッチとなるとともに、施設へアクセスする際にはエントランス広場としても機能し、利用者を敷地内にやさしく誘導します。

■角の庭イメージ

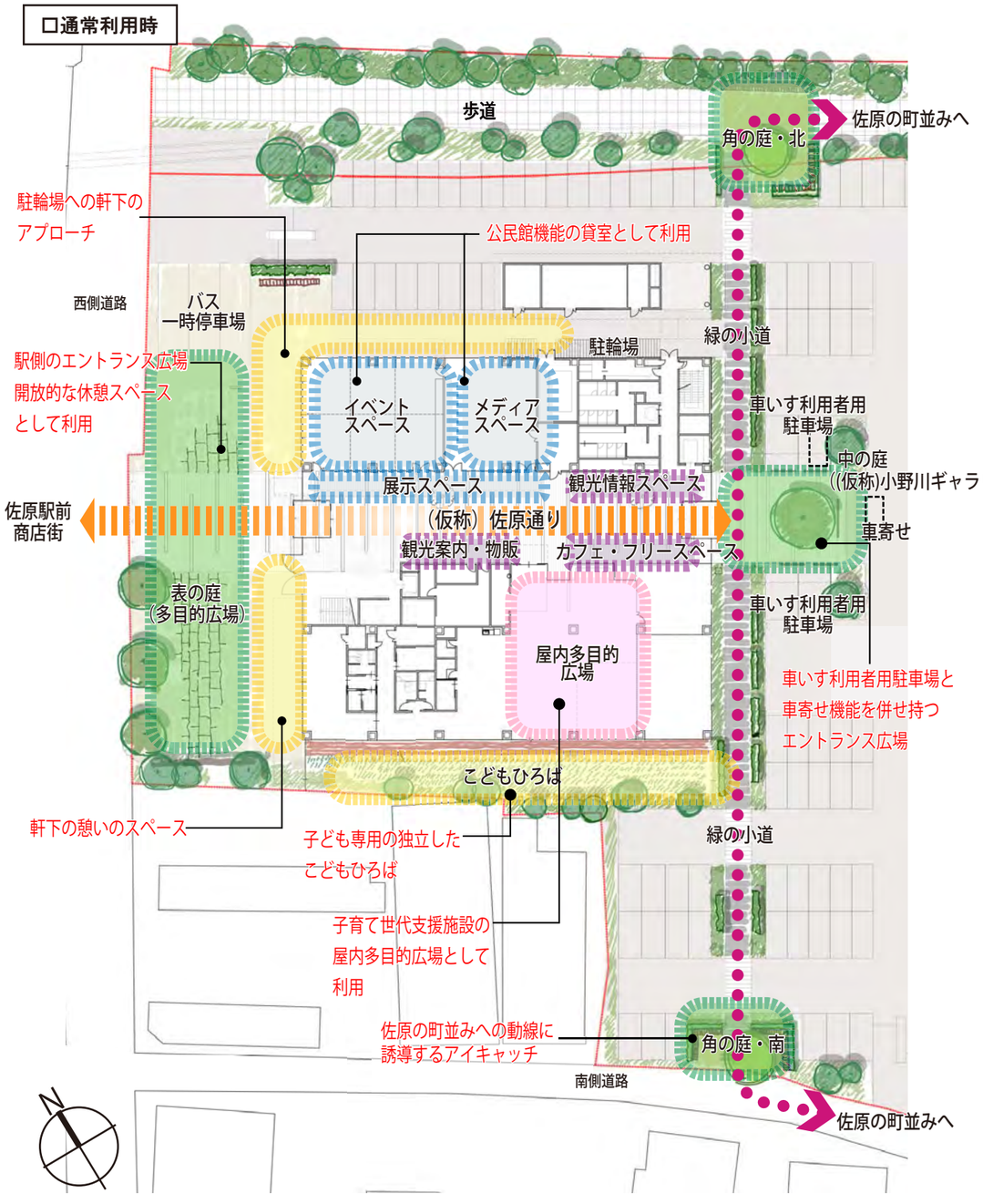
こどもひろば

・子育て世代支援施設に隣接して「こどもひろば」を設けます。子ども達が気兼ねなく遊べる専用の広場です。

■こどもひろばイメージ

（５）外構の使われ方

・イベント時には、イベントスペースやメディアスペース、また「（仮称）佐原通り」と内外一体となった利用が可能な計画とします。以下に通常利用時・イベント時の使われ方のイメージを示します。



１階平面図　1/600

１階平面図　1/600

3．構造計画

3-1．基本方針

・本計画は、図書館・多目的ホール・学習室・研修室・「表の庭（多目的広場）」を有し不特定多数の市民が利用する公共施設として、耐震安全性・耐久性・経済性を十分考慮した構造計画を行います。また、多様な用途が集積する複合公共施設として、平面プランの自由度の実現、大スパンへの対応などに配慮した計画を行います。

・耐震安全性の分類は、「建設大臣官房官庁営繕部監修 官庁施設の総合耐震計画基準 平成８年版」を準用し、施設用途を考慮して定めます。

(1) 耐震安全性の分類

分類		活動内容	対象施設	耐震安全性の分類		
				構造体	建築非構造部材	建築設備
災害応急対策活動に必要な施設	災害対策の指揮情報伝達等のための施設	災害時の情報収集、指令 二次災害に対する警報の発令 災害復旧対策の立案、実施 防犯等の治安維持活動 被災者への情報伝達 保健衛生及び防疫活動 救援物資等の備蓄、緊急輸送活動等	指定行政機関が入居する施設 指定地方行政機関のうち地方ブロック機関が入居する施設 指定地方行政機関のうち東京圏、名古屋圏、大阪圏及び大震法の強化地域にある機関が入居する施設	Ⅰ類	A類	甲類
			指定地方行政機関のうち上記以外のもの及びこれに準ずる機能を有する機関が入居する施設	Ⅱ類	A類	甲類
	救護施設	被害者の救難、救助及び保護 救急医療活動 消火活動	病院及び消防関係施設のうち災害時に拠点として機能すべき施設	Ⅰ類	A類	甲類
			病院及び消防関係施設のうち上記以外の施設	Ⅱ類	A類	甲類
避難所として位置づけられた施設		被害者の受け入れ等	学校、研修施設等のうち、地域防災計画において避難所として位置づけられた施設	Ⅱ類	A類	乙類
人命及び物品の安全性確保が特に必要な施設	危険物を貯蔵又は使用する施設		放射性物質若しくは病原菌類を貯蔵又は使用する施設及びこれらに関する試験研究施設	Ⅰ類	A類	甲類
			石油類、高圧ガス、毒物、劇薬、火薬類等を貯蔵 又は使用する施設及びこれらに関する試験研究施設	Ⅱ類	A類	甲類
	多数の者が利用する施設		文化施設、学校施設、社会教育施設、社会福祉施設等	Ⅱ類	B類	乙類
その他			一般官庁施設	Ⅲ類	B類	乙類

(2) 構造体の耐震安全性の目標

耐震安全性の分類	耐震安全性の目標	保有性能の目標	重要度係数	大地震動時の変形制限
Ⅰ類	大地震後、構造体の補修をすることなく建築を使用出来ることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。	構造体が大地震動に対して、無被害あるいは軽微な損傷に止まり、直ちに補修を必要とするような耐力低下を招くことがない。	Ⅰ=1.5	RC造 1/200 SRC造 1/200 S造　1/100
Ⅱ類	大地震後、構造体の補修をすることなく建築を使用出来ることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。	構造体が大地震動に対して、比較的小さな損傷に止まり、直ちに補修を必要とするような耐力低下を招くことがない。	Ⅰ=1.25	RC造 1/200 SRC造 1/200 S造　1/100
Ⅲ類	大地震動により構造体の部分的な損傷は生ずるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られている。	構造体が大地震動に対して、部分的な損傷は生じるものの、倒壊、部分崩壊などの大きな損傷は発生せず、著しい耐力低下を招くことがない。	Ⅰ=1.0	RC造 1/200 SRC造 1/200 S造　1/100

本計画では、Ⅱ類に分類される施設として必要保有水平耐力を１．２５倍に割増すことで、十分な耐震性能を確保します。

(3) 準拠基準

・建築基準法、同施行令、及び関連告示、通達等
・官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説　平成８年版（建設大臣官房官庁営繕部監修）
・2015 年版 建築物の構造関係技術基準解説書（国土交通省住宅局建築指導課他）
・建築構造設計基準　平成 22 年版（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修）
・鋼構造設計規準（日本建築学会）
・鉄筋コンクリート造構造計算規準・同解説（日本建築学会）
・建築基礎構造設計指針（日本建築学会）
・2008 年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル（日本建築センター）
・その他　日本建築センター及び日本建築学会の諸(規)基準による。

3-2．上部構造計画概要

(1) 構造種別

・構造種別は建物規模や柱スパン寸法を考慮して鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造を相対比較し、最大で 18m程度の大スパンに対応でき、自重が軽いことで基礎への負担が少ない鉄骨造が適していると判断します。

(2) 構造形式

・耐震要素として軸ブレースを用いるブレース構造と、柱・梁による架構のみを耐震要素とするラーメン構造が選択肢として挙げられますが、本計画では平面プランの自由度が高くなるラーメン構造を選択します。

・制振部材を付加的な耐震要素として設置することで更に耐震性能を上げることも可能ですが、4 階建と低層な建物であることから地震時変形が過大にならないこと及び経済性を考慮して、柱・大梁による架構のみで構成する純ラーメン構造とします。また鉄骨柱内にコンクリートを充填する「ＣＦＴ柱」については、採用しない場合においても水平力に抵抗する為に必要な剛性が確保できていることから、採用しない方針とします。

・鉄骨架構の主要な部材はＳＮ規格鋼材とし、ラーメン架構の柱は冷間成形角形鋼管、梁はロールＨ形鋼・外法一定Ｈ形鋼及び溶接組立Ｈ形鋼を採用します。

(3) 柱スパン計画

・柱スパンは、張間方向は 11.4m、17.4m、11.4mの３スパンで長スパンの計画となります。桁行方向は 5.4mと 7.2mスパンを比較検討しました。7.2mスパンの場合は最大梁せいが 1000mm となりますが、柱本数や杭本数が減ることによるコストメリットを考慮し、7.2mスパンを採用します。

(4) 床構造計画

・本建物には、静粛性が求められる図書館等が構成施設に含まれることから、剛性が大きく、対振動・騒音性能が高いコンクリートスラブの採用を基本としています。更に、施工性や経済性を重視する場合の選択肢として、鉄筋組込デッキプレート床や合成デッキスラブについても必要に応じて検討を行います。

(5) 使用材料

下表に主要な使用予定材料を示します。

材料	種別	使用場所･備考
コンクリート （普通ｺﾝｸﾘｰﾄ）	Fc21～Fc 27 Fc18～Fc 21	構造躯体（デッキ上床スラブを含む） 外構躯体、土間コンクリート、無筋コンクリート等
鉄筋	SD295A SD345 SD390	D10～D16　：床スラブ･壁筋、柱・梁のせん断補強筋等 D19～D25　：柱･梁の主筋等 D29 以上　：同上
鉄骨	SN400B、SN490B SN490C BCR295、BCP325 SS400、SN400A、SM490A STKN400B、STKR400 SSC400	大梁 柱梁仕口部（ダイアフラム） 柱 小梁、二次部材等 間柱等 母屋等
高力ボルト	S10T、F10T、F8T	接合部

3-3．荷重及び外力

(1) 積載荷重

下表に主な諸室等の積載荷重を示します。

特記無き限り、建築基準法･同施行令に基づく　　(単位:N/m^2、1kgf≒10N)

用途･室名等	床版又は小梁計算用	大梁、柱又は基礎計算用	地震力計算用	備　考
非歩行屋根	1000	650	400	
屋上(室外機置場)	5000	4000	3500	実況に応じて設定
多目的ホール･ひな段テラス イベントスペース･屋内多目的広場等	3500	3200	2100	「令」第85条の集会室(非固定席)を準用
研修室･展示創作テラス･相談室 ふれあいステーション等	2900	1800	800	「令」第85条の事務所を準用
事務室･学習室･メディアスペース (OAフロア)	3000	1800	800	床版計算用荷重はOAフロアの耐荷重を採用
音楽練習室･読書サロン･キッズルーム等	2300	2100	1100	「令」第85条の教室を準用
図書室(一般開架)	6000	4800	3400	実況に応じて設定
閉架書庫	12000	10500	9000	実況に応じて設定
一般書庫･倉庫	7800	4400	3900	東京都「構造設計指針」を準用
調理室	3900	2400	1600	東京都「構造設計指針」の特別教室を準用
機械室･ポンプ室等	4900	2400	1300	実況に応じて設定

a) 小梁計算用の積載荷重は原則として、床版計算用の値を採用
b) 重量物がある場合は、実際の重量で設置部分の積載荷重を実況に応じて検討
c) 床版の設計においては、書棚や移動書架等が集中配置される重荷重ゾーンに配慮して検討

(2) 風荷重

基準風速	V_0 = 36 m/s		
風の速度圧	$q = 0.6\ EV_0^2$ (N/m^2)	地表面粗度区分：Ⅲ	再現期間：100 年
風の風力係数	C_f = 1.2		

(3) 積雪荷重

鉛直積雪量	30 cm	単位重量：20 N/(m^2･cm)
応力の組合せ	短期(低減なし)	

緩勾配の屋根については、告示に基づき降雨の影響を考慮した積雪荷重の割増しについて考慮します。

(4) 地震荷重

地域係数	Z = 1.0
地盤種別	第2種地盤(Tc = 0.6 sec)
振動特性係数	R_t = 1.0 ($T<T_c$)

3-4．基礎計画概要

(1) 地質調査

・敷地内にて平成26年に地質調査（ボーリング調査-2箇所）が行われておりますが、前記調査を補完する目的で追加調査（ボーリング調査-1箇所）を行う計画です。基礎設計は双方の調査結果に基づいて行います。

(2) 地盤概要及び液状化について

・既往の調査結果に拠ると、本敷地は利根川下流の沖積低地に位置し、地表部より12m程度までは軟弱な沖積粘性土層、12m～29mには平均Ｎ値40程度の沖積細砂層、29m～37mには平均Ｎ値が7程度の沖積細砂層及び粘性土、37m以深にはＮ値60以上の堅固な洪積細砂層が分布しています。孔内水位はＧＬ-1.0程度と高い位置にあるため、設計において配慮します。

・既往調査時には、地表面より20m以浅の沖積砂質土層を対象に液状化の可能性についての検討が行われており、大地震時（350gal）においても液状化の危険度は低いと判定されていますが、建物の重要度を鑑みて追加調査においても再度検討を行うものとします。

・現時点での液状化対策としては、1階玄関へのアクセス動線となる「表の庭（多目的広場)」周辺に限定し、地表面より5m程度の範囲を対象として柱状地盤改良を見込んでいます。

(3) 支持層について

・支持層については、ＧＬ-37m付近以深の洪積細砂層（Ｎ値60以上）を支持層とする案と、ＧＬ-12m～29mに分布する沖積細砂層（Ｎ値30以上）を中間支持層とする案の比較検討を行った結果、中間層（沖積細砂層）を支持層とした場合でも建物重量に対して十分な許容支持力が確保でき、杭長を短く抑えられることで経済性にも優れることから、中間支持層案を採用します。また、地盤の許容支持力については、中間支持層の下位に存在する軟弱な層を考慮した検討を行い、設定します。

(4) 基礎工法

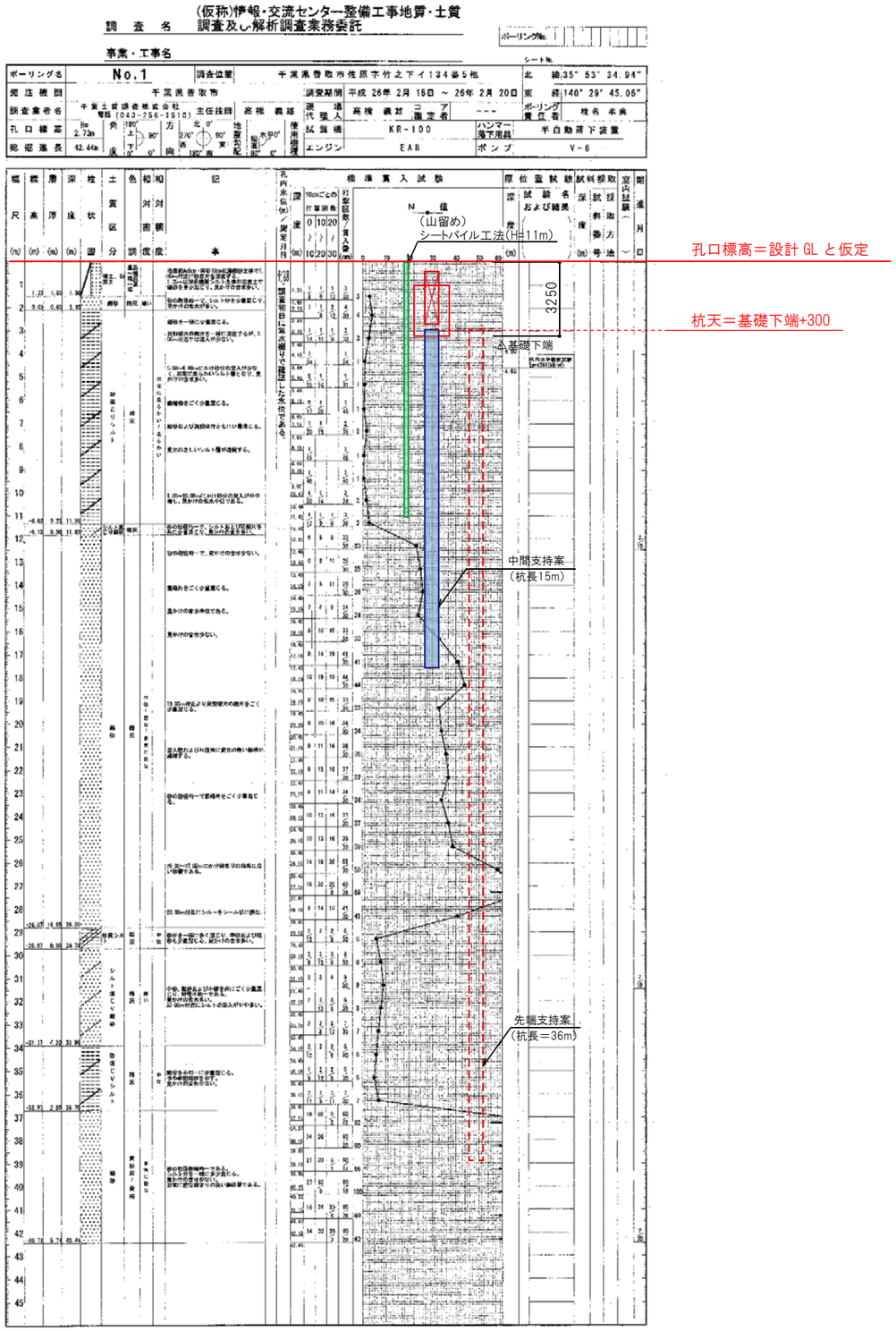
・建物規模及び支持層の深度から、基礎形式としては杭基礎を採用します。
杭種別については、既製コンクリート杭及び場所打ちコンクリート杭を、経済性・施工性の両面より比較検討して決定します。また杭工法についても、地質に対する適合性、残存している既存杭も考慮した施工性、及び経済性の観点から選定します。

・(7) 項にて現時点での比較検討結果を示します。

(5) 山留め工法

・上層部から12m付近迄はＮ値が1～3程度の軟弱な地層であり水位も高いことから、シートパイル工法が適していると判断します。

（6）既往調査によるボーリング柱状図（杭姿図）



（7）杭　比較検討表

	①	②	③	④
杭種別	既製コンクリート杭		場所打ち鋼管コンクリート杭	
	ＳＣ杭+ＰＨＣ杭（一部ＰＲＣ杭）		鋼管コンクリート杭	
杭工法	中堀り 拡大根固め工法	プレボーリング 拡大根固め工法	アースドリル拡底工法	
支持層	洪積細砂層	沖積細砂層（中間層）	洪積細砂層	沖積細砂層（中間層）
杭長	３６ｍ	１５ｍ	３５ｍ	１９．５ｍ
杭径	900φ～1200φ	700φ～1000φ	1200φ	1200φ
拡底径	---	---	1500φ～2300φ	1500φ～2600φ
杭本数	３０本	３９本	３０本	３０本
コスト比	１．４	１．０	１．５	１．１
工期	杭製作 75 日+ 現場施工 16 日	杭製作 75 日+ 現場施工 11 日	鋼管製作 75 日+ 現場施工 52 日	鋼管製作 75 日+ 現場施工 40 日
評価		採用		

※上記の比較検討により既製コンクリート杭を採用し、支持層は中間層の沖積細砂層とします。

3-5．残存地下構造物について

（1）現況

・本計画敷地内には既に上屋が解体されている既存建物の基礎構造物の一部が残存しています。
原則として地表面から 1.5mの深さまでの基礎構造物は撤去されていますが、1.5m以深に存在する浄化槽等の水槽やＥＶピット及び南側隣地に近接している基礎フーチングについては残存しています。また既存杭も撤去されずに残存しています。

（2）対応方針

・残存している地下構造物への対応に関して、千葉県からは『当該地下構造物が地盤の安定に寄与する場合等については、当該地下構造物は不要物ではないとみなされ廃棄物には該当しないため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の適用は受けない』と回答がありました。この回答に基づき、残存構造物は原則として撤去としますが、「地盤の安定性に寄与する」と判断される場合は残置する方針とします。

・各構造物別の対応を以下に示します。

浄化槽ピット等：山留めを設置して基礎下端まで解体・撤去。

基礎フーチング：山留めを設置して基礎下端まで解体・撤去。但し、南側隣地に近接している基礎は隣地境界付近の構造物の倒壊を招く恐れがあるため、残置。

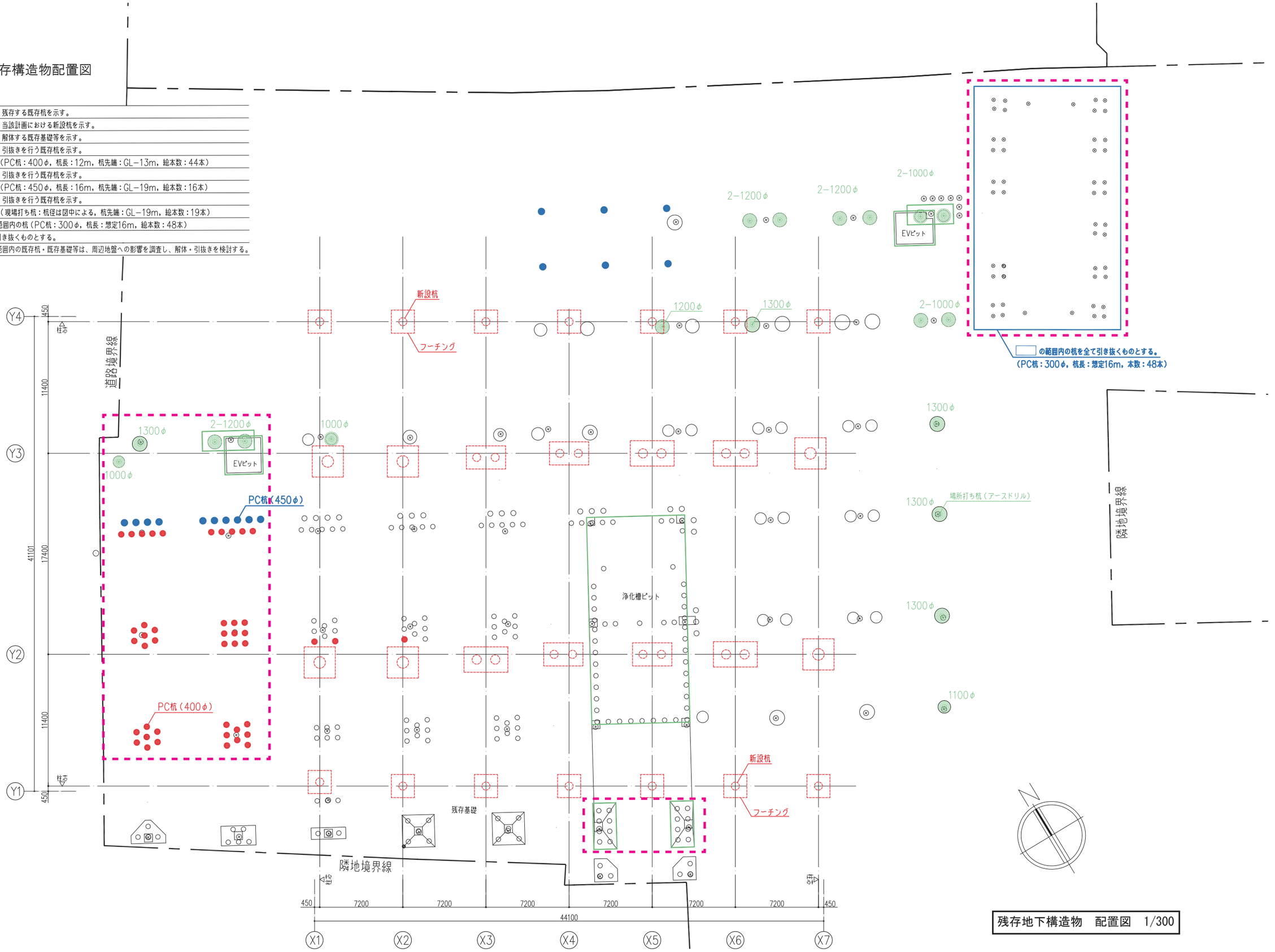
既存杭　：建物計画範囲内の既存杭は原則残置とするが、新設杭と干渉する杭のみ引抜き。
範囲外の既存杭は原則として引抜き。引抜き孔は動化処理土を用いて閉塞処理。

※ただし、既存杭の引抜きが周辺地盤に与える影響について、今後、実施設計等の段階で、より詳細な調査・検討を行い、建物本体工事及び外構工事等の影響も含め総合的に判断する必要がある。このため基本設計段階においては、現状で考えられる最大限の引抜きを行う設定とする。

（3）残存構造物配置図

凡例

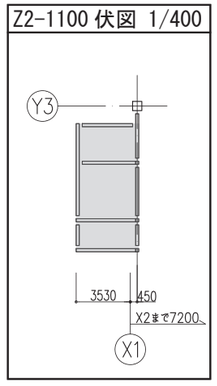
- ○ ：残存する既存杭を示す。
- ○ ：当該計画における新設杭を示す。
- □ ：解体する既存基礎等を示す。
- ◎ ：引抜きを行う既存杭を示す。
  （PC杭：400φ，杭長：12m，杭先端：GL−13m，総本数：44本）
- ● ：引抜きを行う既存杭を示す。
  （PC杭：450φ，杭長：16m，杭先端：GL−19m，総本数：16本）
- ◎ ：引抜きを行う既存杭を示す。
  （現場打ち杭：杭径は図中による，杭先端：GL−19m，総本数：19本）
- □ の範囲内の杭（PC杭：300φ，杭長：想定16m，総本数：48本）
  をすべて引き抜くものとする。
- □ の範囲内の既存杭・既存基礎等は、周辺地盤への影響を調査し、解体・引抜きを検討する。

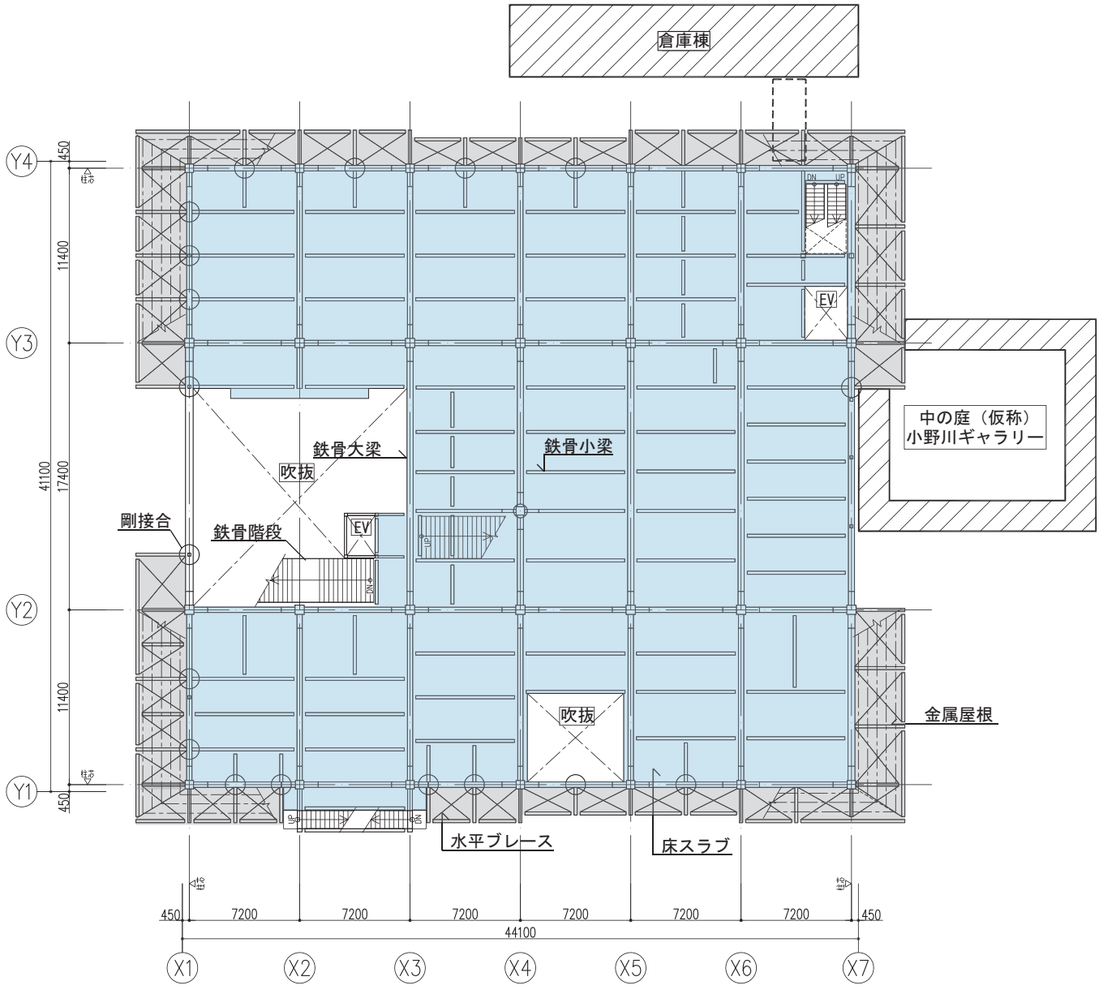


残存地下構造物　配置図　1/300

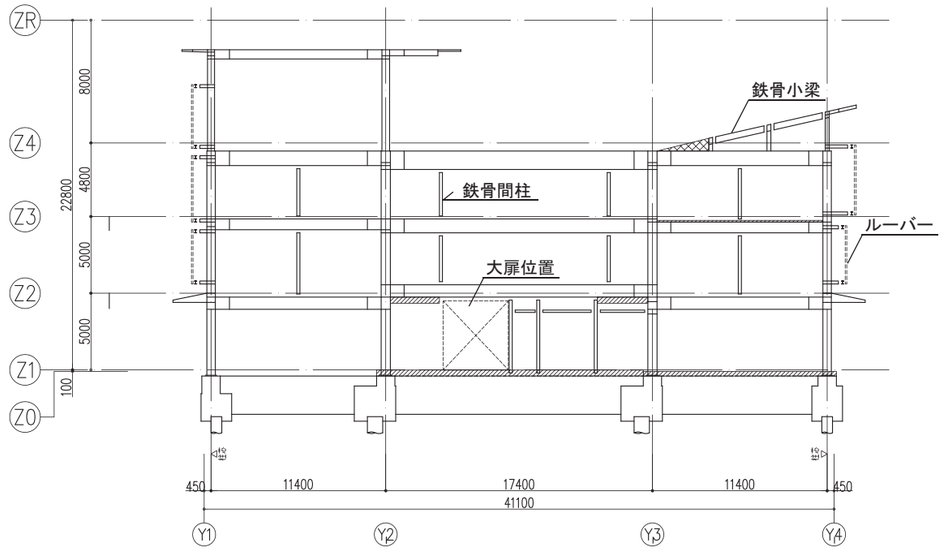
3-6. 略伏図・略軸組図

代表伏図及び軸組図を以下に示します。

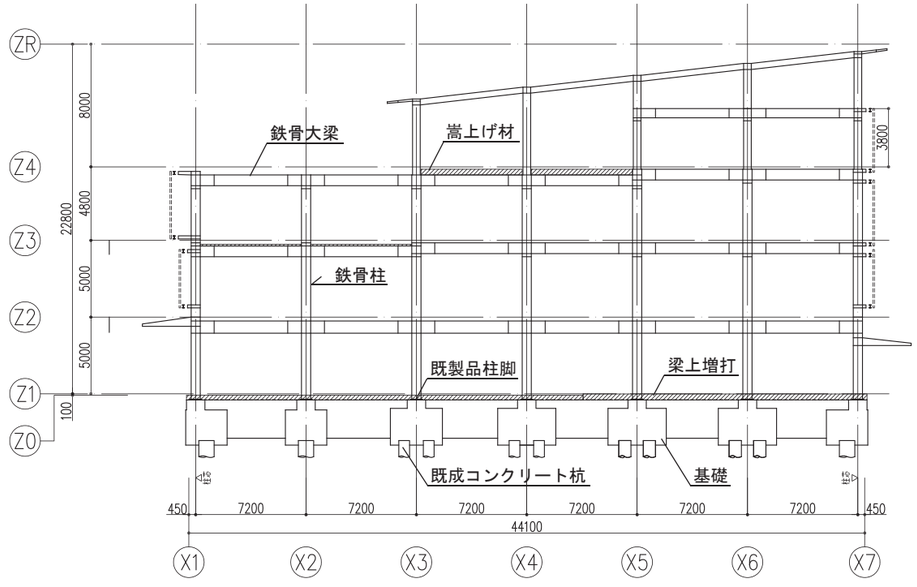




2階 (Z2) 伏図　1/400



X1 通り　軸組図　1/400



Y3 通り　軸組図　1/400

4．電気設備計画

4-1．電気設備基本方針

・省エネルギーを考慮した機器選定及びシステムを採用し、ランニングコストの低減を図ります。
・環境負荷低減のため、エコマテリアルケーブル及びリサイクル可能な特性を持つ環境配慮型材料を使用します。
・将来の拡張性を考慮した計画を行い、スペースを確保します。
・メンテナンスの容易な機器を選定します。
・建築基準法・消防法等の法令を遵守し、安全性に配慮したシステムを構築します。

4-2．電気設備計画概要

(1) 受変電設備

・東京電力より高圧 6.6kV 1 回線を南側道路より引込柱を設置し架空にて引込を行い、倉庫棟上機器置場まで高圧ケーブルを敷設する計画とします。
・受変電設備は屋外キュービクル式、変圧器は油入変圧器（トップランナー対応）とします。
・東京電力設置の計量器用変成器（VCT）及び計量メータについては、引込柱に設置します。
・想定負荷は下記とします。(他物件の実績容量から面積比率により算出)

負荷名称	単位容量 (VA/㎡)	対象面積 (㎡)	負荷容量計 (KVA)	補正係数 (%)	負荷容量合計 (KVA)	備考
（電灯負荷）						
各施設エリア	90	4453.02	400.77		400.77	
共用部	55	2117.28	116.45		116.45	
電灯負荷計			517.22		517.22	
（動力負荷）						
各施設エリア	90	4453.02	400.77		400.77	
共用部	60	2117.28	127.04		127.04	
ELV			23.75		23.75	
動力負荷計			551.56		551.56	

・主 遮 断 器： 真空遮断器（VCB）
・変 圧 器： 単相変圧器 200KVA×3 台 計 600KVA
三相変圧器 300KVA×2 台 計 600KVA
スコット変圧器 75KVA×1 台 計 75KVA
・コ ン デ ン サ： 基本料金の割引を受ける為、コンデンサを設置します。(自動力率調整有り)
・デマンド監視装置を設置し、1 階管理室にて監視します。

(2)発電機設備

・防災負荷への非常電源供給及び一般停電時の保安負荷へのバックアップ用として、非常用発電機を設置します。
発電機は、屋外キュービクル型ラジエータ式ディーゼル発電機（燃料別置型 一般騒音 105db 長時間型）を倉庫棟上機器置場に設置します。非常時には送電する負荷をしぼり、48 時間運転が可能な計画とします。

項 目		仕 様	備 考
型式		屋外キュービクル型	
騒音レベル		機側 1m 105db	
設置場所		倉庫棟上	
発電機	電圧・電気方式	3φ3W 200V	
	周波数	50HZ	
	容量・力率	250KVA 相当・80%	
	冷却方式	ラジエータ冷却式	
	始動方法	電気式	
	燃料	A 重油	
	運転時間	長時間形	燃料槽別置

(3) 太陽光発電設備

・太陽光パネル容量は空調室外機スペース・周辺状況等を考慮し、パネルを設置できる面積より 20kw とします。
・連携方式は高圧連携・逆潮流なしとし、キュービクル低圧電灯盤に接続します。
・太陽光発電にて発電した電力は共用部の電灯・コンセントの一部の電力をまかなうものとします。
・発電状況が分かるように、表示ディスプレイを 1 階（仮称）佐原通りに設置し、計測用 PC を 1 階管理室に設置します。
・災害時に特定の諸室が利用できるよう蓄電池（リチウムイオン型）を設置します。
・太陽光パネル及びその他機器は建築工事、配線は電気工事とします。

(4) 幹線・動力設備

・倉庫棟上のキュービクルから各階 EPS 等に設置する電灯分電盤、機械室等に設置の動力盤までの電源供給を計画します。
・施設エリア毎に計量区分を分け、電力量の計量を行います。
・動力制御盤以降、各空調・衛生・建築動力等の動力負荷への電源供給及び、制御を行います。
・動力盤設置場所以外の動力負荷への供給は、保守点検時の安全を考慮し手元開閉器を原則、設置とします。

(5) 電灯設備

①設計照度
各室の照度は JIS Z 9110：2010 に基づき設定します。

②照明器具
・光源は省エネルギー・省力化・経済性を考慮して、積極的に LED 照明の採用を図ります。
・多目的ホールに舞台照明用としてスポットライトを設ける。また、持込照明に対応できるよう電源を確保します。
・外灯は周囲の状況を考慮して夜間の通行及び防犯上有効な場所、かつ、光害対策に留意したものを配置します。
・誘導灯
消防法施行令に基づき設置します。器具は電池内蔵型 LED とします。
・非常照明
建築基準法に基づき設置します。器具は電池内蔵型 LED とします。

③点滅方式

・トイレ・階段室等の照明は人感センサー点滅とします。
・トイレ換気扇は遅延タイマー付人感センサーとします。
・各室はタンブラスイッチにて点滅を行い、エントランス・廊下・階段などの共用部分及び事務室は多重伝送リモコン方式とし、各事務室及び1階管理室で集中制御を行える計画とします。
・外灯等は、日没時自動点滅による点灯、タイマーにより消灯の制御とし、且つリモコン回路により集中制御可能な計画とします。

(6) コンセント設備

・各室の必要個所に各々コンセントを、壁・床・天井などに用途に合わせて設置します。
・事務室は床付のコンセント又はOAタップとし、PCなど机の事務機器に対応します。

(7) 構内交換設備

・引込柱より架空にて引込とします。引込配管は3本とし、1階管理室内MDFまで引き込みます。
・MDF以降、各端子盤までの配管・配線、電話アウトレット迄の配管・配線を敷設します。
・電話交換機及び電話機は別途工事とします。

(8) テレビ共聴受信設備

・屋上アンテナ方式にて屋上に設置のアンテナより受信します。
・衛星アンテナはBS110° CSとします。

(9) 構内情報通信網(LAN)設備

・サーバーラックを3階サーバー室に想定し、以降、各端末迄の配管・配線を敷設します。
・機器は別途工事とします。

(10) 放送設備

・消防法に基づき1階管理室に非常業務兼用放送増幅器を設置し、館内に一般・非常放送を行える計画とします。
・事務室に館内放送用リモートマイクを設置し、館内放送を行います。
・スピーカー等の機器等の設置場所は法的に満足するように設置します。

(11) 映像音響設備

・メディアスペースに個別音響設備（ワゴンアンプ・ワイヤレスマイク・プロジェクタ等）を設置します。
・多目的ホールに個別音響設備(大型スクリーン・天井吊型プロジェクター・ワゴンアンプ・ワイヤレスマイク等)を設置します。

(12) 誘導支援設備

・事務室にインターホン親機を設置し、東玄関・西玄関にカメラ付きインターホンを設置します。
・多目的トイレに緊急呼出用の押ボタン、事務室に表示盤を設置し、緊急時に対応します。また、廊下にブザー付廊下灯及び復帰ボタンを設置します。
・1階「(仮称) 佐原通り」・総合案内・トイレに視覚障がい者用音声ガイドシステムを設置し、音声にて誘導をサポートする計画とします。

(13) 自動火災報知設備

・消防法に基づき設置します。複合型受信機を1階管理室に設置し、副受信機は3階事務室に設置します。
・受信機は操作性・メンテナンス性・施工性・保守性・経済性を考慮しP型とします。
・火災時は非常放送設備と連動とし、スピーカーからの音声警報を行います。

(14) ITV設備

・監視カメラ用の空配管を建物内に敷設します。1階管理室にモニターを設置し各カメラ映像をモニターにより分割画面で監視を行う想定とします。
・監視カメラは出入り口及び共用部必要箇所に適宜配置を想定します。
・機器配線は別途とします。

(15) 機械警備設備

・建物内の安全確保の為、各出入口・窓等に機械警備用機器が取付けられる様、空配管を敷設します。
・警備センサー及び配線は別途工事とします。
・機械警備会社へは防犯信号のほか、火災信号等を移報します。

(16) 駐車管制設備（外構工事）

・出庫警報用ランプ・表示灯・回転灯・カーゲート・駐車券発行機及び精算機を設け、歩行者の安全を確保するとともに、駐車料金の管理を行います。
・制御盤は1階管理室に設置します。

(17) 雷保護設備

・建築基準法に基づき、雷保護設備を設けます。JIS4201-1992に準拠して設置します。

4－3.電気設備諸元表

区分	室名	設備／階	照明設備				配線器具設備							弱電設備						防災設備	備考
							タンブラ	リモコン		コンセント											
			設計照度 Lx	照明器具形式	調光制御	人感センサー	手元	中央	手元	壁	床	天井	特殊機器	電話端子	LAN端子	TV端子	放送	個別放送	監視カメラ	自火報設備	
共用部	風除室	1F	150	LEDダウンライト				○									○				
	(仮称)佐原通り	1F	300	LEDダウンライト				○		○				○	○	○	○		○		
	管理室	1F	500	天井埋込型LEDベースライト			○			○							○				
	自販機ロッカー	1F	100	LEDダウンライト			○			○							○		○		
	機械室	1F	200	天井埋込型LEDベースライト			○			○							○				
	倉庫(1)，(4)，(8)，(9)	1F, 3F, 4F	100	天井埋込型LEDベースライト			○			○							○				
	展示・活動テラス、創作テラス	3F	300	LEDダウンライト				○		○							○				
	ホワイエ	4F	300	LEDダウンライト				○		○							○				
	WC(W)	1F～4F	200	LEDダウンライト		○				○			○				○				特殊機器：電気温水器
	WC(M)	1F～4F	200	LEDダウンライト		○				○			○				○				特殊機器：電気温水器
	HWC	1F～4F	200	LEDダウンライト		○				○			○				○				特殊機器：電気温水器
	廊下	1F～4F	100	LEDダウンライト													○				
	PS	1F～4F	－	－																	
	EPS	1F～4F	100	壁直付型LEDベースライト			○			○											
	SK	1F～4F	100	LEDダウンライト		○				○			○				○				特殊機器：電気温水器
	ごみ置き場	1F	100	天井埋込型LEDベースライト			○			○							○				
	備蓄倉庫	1F	100	天井埋込型LEDベースライト			○			○							○				
	更衣1	3F	200	天井埋込型LEDベースライト			○			○				○			○				
	更衣2	3F	200	天井埋込型LEDベースライト			○			○				○			○				
	サーバー	3F	500	天井埋込型LEDベースライト					○	○	○				○		○				
	印刷・ロッカー室	3F	200	天井埋込型LEDベースライト			○			○					○		○				
観光情報発信施設	事務室	1F	750	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○			法に準拠して設置	OAタップ
	調理･冷蔵	1F	500	天井埋込型LEDベースライト			○			○			○	○			○				特殊機器：IH
	更衣	1F	200	LEDダウンライト			○			○							○				
	物販	1F	300	LEDダウンライト				○		○				○	○	○	○		○		
	観光案内カウンター	1F	300	LEDダウンライト				○		○				○	○	○	○		○		
	カフェ・フリースペース	1F	300	LEDダウンライト				○		○				○	○	○	○		○		
	観光情報スペース	1F	300	LEDダウンライト				○		○				○	○	○	○		○		
子育て世代支援施設	事務室	1F	750	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○				OAタップ
	屋内多目的広場	1F	500	天井埋込型LEDベースライト					○	○							○		○		
	遊戯室	1F	500	天井埋込型LEDベースライト					○	○				○	○	○	○				
	集会室	1F	500	天井埋込型LEDベースライト					○	○	○			○	○	○	○				
	静養	1F	200	LEDダウンライト			○			○				○			○				
	キッズルーム	1F	300	天井埋込型LEDベースライト					○	○			○	○	○	○	○				特殊機器：電気温水器
	更衣室	1F	200	LEDダウンライト			○			○							○				
	相談（1）	1F	500	天井埋込型LEDベースライト			○			○				○	○		○				
	授乳室	1F	200	LEDダウンライト			○			○							○				
	幼児WC	1F	200	LEDダウンライト		○				○			○				○				特殊機器：電気温水器
	倉庫(2)，(3)	1F	100	天井埋込型LEDベースライト			○			○				○			○				
	ベビーカー置場	1F	100	LEDダウンライト			○			○							○				
	WC(W)	1F	200	LEDダウンライト		○				○			○				○				特殊機器：電気温水器
	WC(M)	1F	200	LEDダウンライト		○				○			○				○				特殊機器：電気温水器

4－3.電気設備諸元表

区分	室名	設備／階	照明設備				配線器具設備							弱電設備						防災設備	備考
							タンブラ	リモコン		コンセント											
			設計照度 Lx	照明器具形式	調光制御	人感センサー	手元	中央	手元	壁	床	天井	特殊機器	電話端子	LAN	TV端子	放送	個別放送	監視カメラ	自火報設備	
図書館	一般書架	2F	500	天井埋込型LEDベースライト				○		○							○				
	参考図書	2F	500	天井埋込型LEDベースライト				○		○							○				
	閉架書庫	2F	100	天井埋込型LEDベースライト			○			○				○			○				
	新聞・雑誌・AV	2F	500	天井埋込型LEDベースライト				○		○					○		○				
	郷土資料	2F	500	天井埋込型LEDベースライト				○		○				○			○				
	読書サロン（飲食）	2F	300	LEDダウンライト				○		○							○				
	読み物・学習	2F	500	天井埋込型LEDベースライト			○			○							○				
	機械室	2F	200	天井直付型LEDベースライト			○			○							○				
	親子WC	2F	200	LEDダウンライト		○				○			○				○				特殊機器：電気温水器
	授乳室・調乳室	2F	200	LEDダウンライト			○			○							○				
	プレイコーナー	2F	500	LEDダウンライト				○	○	○					○	○	○				
	お話し室	2F	300	LEDダウンライト				○	○	○						○	○				
	事務所	2F	750	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○				OAタップ
	応接室	2F	500	LEDダウンライト			○			○				○	○	○	○				
	WC(W)	2F	200	LEDダウンライト		○				○			○				○				特殊機器：電気温水器
	WC(M)	2F	200	LEDダウンライト		○				○			○				○				特殊機器：電気温水器
	HWC	2F	200	LEDダウンライト		○				○			○				○				特殊機器：電気温水器
公民館機能	メディアスペース(視聴覚室)	1F	500	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		法に準拠して設置	特殊機器：マイク、プロジェクター、スクリーン
	イベントスペース	1F	500	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○				
	展示スペース	1F	300	LEDダウンライト				○		○				○	○	○	○		○		
	研修室（1）	3F	750	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○				
	研修室（2）	3F	750	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○				
	学習室	3F	750	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○				OAタップ
	和室	3F	300	シーリングライト	○		○			○		○	○	○	○	○	○				特殊機器：電気温水器
	研修室（3）	3F	750	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○				
	研修室（4）	3F	750	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○				
	研修室(創作室)	3F	750	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○		○	○	○	○	○				特殊機器：電気温水器
	準備室	3F	300	天井埋込型LEDベースライト			○			○				○	○		○				
	倉庫（4），(7)，(10)	3F, 4F	100	天井埋込型LEDベースライト			○			○							○				
	事務室(公民館機能)	3F	750	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○				
	調理室	4F	500	天井埋込型LEDベースライト			○			○			○	○		○	○				特殊機器：IH
	調理準備室	4F	500	天井埋込型LEDベースライト			○			○					○		○				
	音楽練習室	4F	500	LEDダウンライト			○			○				○			○				
	控室	4F	300	天井埋込型LEDベースライト			○			○			○	○		○	○				
	多目的ホール	4F	500	LEDダウンライト	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○			特殊機器：マイク、プロジェクター、スクリーン
	機械室	4F	200	天井埋込型LEDベースライト			○			○							○				
社会福祉関連施設	事務室（社会福祉）	3F	750	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○				OAタップ
	ボランティア活動室	3F	500	天井埋込型LEDベースライト			○			○				○	○		○				
	相談室	3F	500	天井埋込型LEDベースライト			○			○				○	○		○				
	ふれあいステーション	3F	300	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○				○	○	○	○				
	ヘルパー控室	3F	500	天井埋込型LEDベースライト			○			○				○	○	○	○				
	倉庫（6）	3F	100	天井埋込型LEDベースライト			○			○							○				
	倉庫（社会福祉）	3F	100	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○				
市民活動支援センター	事務室（市民活動）	3F	750	天井埋込型LEDベースライト				○	○	○	○			○	○	○	○				OAタップ

5. 機械設備計画

5-1. 機械設備基本方針

空調設備設計・給排水衛生設備設計コンセプト	設計手法
①環境性能の向上と省エネ・LCCO2 排出量の抑制を実現させる。	[最適制御でエネルギーの最小化を図る] ・CO2 濃度検知による外気導入制御システムや全熱交換型換気システム等によりエネルギーの無駄な損失を減らします。 ・IT 技術を積極的に活用し、空調消し忘れ防止や適正空調温度管理を図ります。 [高効率機器・機器選定の最適化を図る] ・省エネ型機器を積極的に採用し、建物が消費するベース負荷の低減を図ります。 ・節水型器具を採用し、使用水量を削減します。 [環境負荷を低減する] ・エコマテリアルの採用やグリーン調達活動を通じて、環境負荷の低減を図ります。 ・CO2 排出量の削減効果の高いシステムを検討します。 ・オゾン層破壊係数＝0 の新冷媒を採用します。 ・立地条件、周辺環境に配慮した計画とします。
②利用者に配慮し、安全に利用できる計画とする。	[安心かつ信頼のおける衛生的な環境の提供] ・衛生的な水の供給により、健康的な水・湯の利用を提供します。(クロスコネクションの防止) ・確実な排水通気計画により、衛生的な水回りを確保するとともに、臭いによる不快感などを無くします。 ・誰にでも使いやすい器具を採用します。(ユニバーサルデザイン) ・安全性の高いシステムを採用します。(給湯での火傷防止、赤水や水漏れのない配管システム、暴風雨時の施設内保護) ・VOC(シックハウスの元となる揮発性物質)の蓄積を未然に防ぐ空気環境を 24 時間換気で実現します。 ・適切な換気計画により不快な臭気を除去し、快適な環境を提供します。 ・室毎の個別運転が可能で、負荷追従性のよい空調システムを採用します。 ・利用に適した温度環境を提供します。 ・加湿器を単独に設置し、特定建築物として快適な空気環境を提供します。
③効率的な施設運営を支援する。	[コストバランスが良く且つ管理による施設運営の効率化] ・ランニングコストを抑えつつ、イニシャルコストのバランスの取れた計画とします。 ・運転管理のしやすいシンプルなシステムを計画します。 ・各設備の運用の自動化・簡素化を図り、管理運用にかかる負担を軽減します。 ・集中管理リモコンを設置し、空調システムの管理運用(スケジュール運転他)にかかる負担を軽減します。 ・集中管理を行い職員の施設管理負担軽減を検討します。(各機器の運用状況把握、警報対応)
④建物の維持管理に配慮した計画とする。	[将来の機器更新を見据えた設備レイアウト計画を図る] ・建物の状況変化に柔軟に対応できるよう、増設機器スペースを設け、更新が容易な計画とします。 ・機器更新の際の搬入計画を検討し、改修時の作業スペースを確保する計画とします。

5-2. 給排水衛生設備計画

（1）インフラ計画

①給水設備

・給水は、敷地南側道路にある水道本管 100φ から 50φ の引込管を取り出す計画とします。

②排水設備

・汚水と雨水は分流方式とし、雨水をトラップ桝を介し最終桝にて汚水と合流させた後、敷地東側道路にある公共下水道管 700φおよび南側道路にある公共下水道 800φに放流する計画とします。

（2）給水設備

・給水は上水を各所へ供給します。

・上水は水道本管より引込み屋外設置の受水槽に貯水後、加圧給水ポンプにて給水を行います。

・雨水再利用による雑用水の供給は行わない計画とします。

・施設エリア毎に計量を分け給水量の計量を行います。

給水量及び各水槽容量の算定表

	人員※1 （人）	原単位※2 （L/日・人）	日使用量 （L/日）
利用者	1323	30	39,690
職員	133	100	13,300
合計			52,990
水槽容量			26.5m3

※1 利用者数は共用部を除く延べ面積(4407.4 ㎡)×0.3 人/㎡により算定し、職員数は利用者数の 10%を想定する。

※2 国土交通省 建築設備設計基準 平成 27 年版：公会堂 準拠

（3）給湯設備

・給湯方式は局所給湯方式とし、貯湯式電気温水器により供給します。

・4 階調理室系統は大量使用が想定されるため、業務用エコキュートによる給湯を行います。

・1 階キッズルーム隣接授乳室系統はキッズルームでの沐浴体験対応のため、業務用エコキュートによる給湯を行います。

（4）排水設備

・建物内は汚水と雑排水を分流とし、自然流下による重力排水方式とします。

・調理室系統排水はグリストラップを設置し適切に処理した後、他系統に合流し公共下水道に放流します。

・敷地内は汚水と雨水を分流とし、雨水をトラップ桝を介し最終桝にて汚水と合流させた後、道路公共下水道へ放流します。

・雨水については雨水流出抑制(流出係数 0.6 以上の部分)のため浸透管を採用し、オーバーフロー分は公共下水道へ直接放流します。

（5）衛生器具設備

・誰もが使用しやすい器具を採用します。

（センサー式やタッチスイッチ式のフラッシュバルブ、低身長の子どもも使用可能な低リップ小便器、棚付ワンタッチ式ワンハンドカット紙巻器、自動水栓等の採用）

・節水型器具を採用します。

・女子トイレには擬音装置を採用します。

・幼児用トイレには幼児用小便器および幼児用大便器を採用します。

・水栓は、使用者の使い勝手、目的等に合わせて使い分け、レバータイプ・自動水栓タイプ等を採用します。

・利用者の衛生面を考慮してトイレ洗面器等は非接触(自動水栓)の器具を採用します。

（6）消火設備

・消防法に準拠し、かつ所轄消防署の協議に基づき、消火設備を設置します。

・本計画建物は、特定防火対象物の用途に供される部分の存する複合用途防火対象物に該当するため、消防法施行令別表第一(16)項イとして計画します。

<必要消火設備>

・スプリンクラー消火設備

・屋内消火栓設備

・消火器

（7）災害用便所

・外構に公共下水道接続型貯留式マンホールトイレを設置します。

5-3. 空気調和設備計画

（1）屋外・屋内設計条件

・下記の温湿度設計条件により計画します。

屋外設計条件(国土交通省 建築設備設計基準平成 27 年版：銚子 準拠)

	乾球温度 (℃DB)	湿球温度 (℃WB)	相対湿度 (%RH)	絶対湿度 (kg/kg')	比エンタルピ (kJ/kg)
夏期	30.5	27.4	78.8	0.0220	86.9
冬期	-2.7	-1.0	42.1	0.0019	7.6

屋内設計条件

	夏期			冬期		
	乾球温度 (℃DB)	相対湿度※ (%RH)	絶対湿度 (kg/kg')	乾球温度 (℃DB)	相対湿度※ (%RH)	絶対湿度 (kg/kg')
各居室 ※湿度は目標値とする	26	50	0.0105	22	40	0.0066

（2）冷暖房機器設備

・室形状や用途によって空調方式を以下より選定します。

①エアハンドリングユニット

大空間で必要風量が大きいエリアに採用します。

対象室：1 階 「(仮称)佐原通り」

4 階 多目的ホール

②外調機＋パッケージエアコン

必要給気量が大きく、安定した外気処理が必要なエリアに採用します。

対象室：2 階 図書館

3 階 展示・活動テラス、創作テラス

4 階 ホワイエ

③全熱交換機＋パッケージエアコン

上記以外の各居室に採用します。床面付近での活動が想定される 1 階キッズルーム及び 2 階お話し室・プレイコーナーについては冬期の補助暖房として電気式床暖房設備を計画します。

・エアハンドリングユニット及び外調機は直膨式を採用します。

・パッケージエアコンは高効率型を採用します。また、使用時間帯の違いや利用頻度等を考慮し、個別ヒートポンプパッケージ方式とし、熱源方式は電気式とします。

・個別空調として、高効率運転かつフレキシブルな対応が行えるマルチ型ヒートポンプパッケージエアコンを採用します。

・各居室には「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」の基準に適合するように加湿を行います。

・外気処理を行わない居室の加湿器は安定して加湿を行えるよう単独方式とし各居室に設置します。

（3）換気設備

・シックハウス対策を考慮した換気計画とします。

・省エネルギーを考慮し、全熱交換器型換気扇を採用することにより熱回収を行います。

（4）排煙設備

・4 階多目的ホールは無窓室となるため、屋上設置の排煙機による機械排煙を行います。

（5）自動制御設備

・警報や状態監視を取り込む集中管理方式とし、省エネルギーかつ運転管理が容易となるような自動制御システムとします。

・子育て世代支援施設、図書館、公民館機能の各事務室に当該施設内の空調機及び全熱交換器用の集中リモコンを設置し一括管理が可能な設備とします。

・集中管理装置、全体共用部の機器用集中リモコンは 1 階管理室に設置します。

・加湿器のシーズン切替え時の消し忘れ防止用に各事務室、1 階管理室より一括発停操作が可能な計画とします。

5-4. 機械設備耐震計画

・建築設備耐震設計･施工指針 2014 年版に準拠した計画とします。

・設備機器の耐震クラスは A とします。

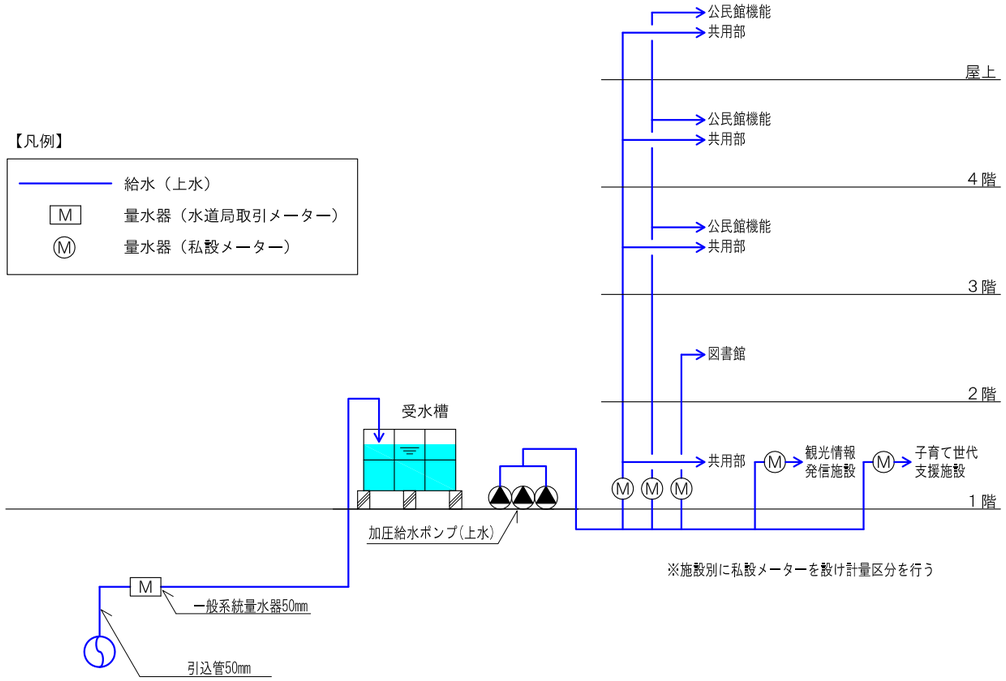
・建築物内の主要配管導入部は、地震時の変位の違いを吸収する措置を行い配管の損傷を防ぎます。

5-5. 災害時設備計画

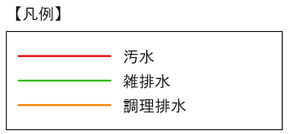
・地域住民の利用可能なマンホールトイレを外構に設置します。

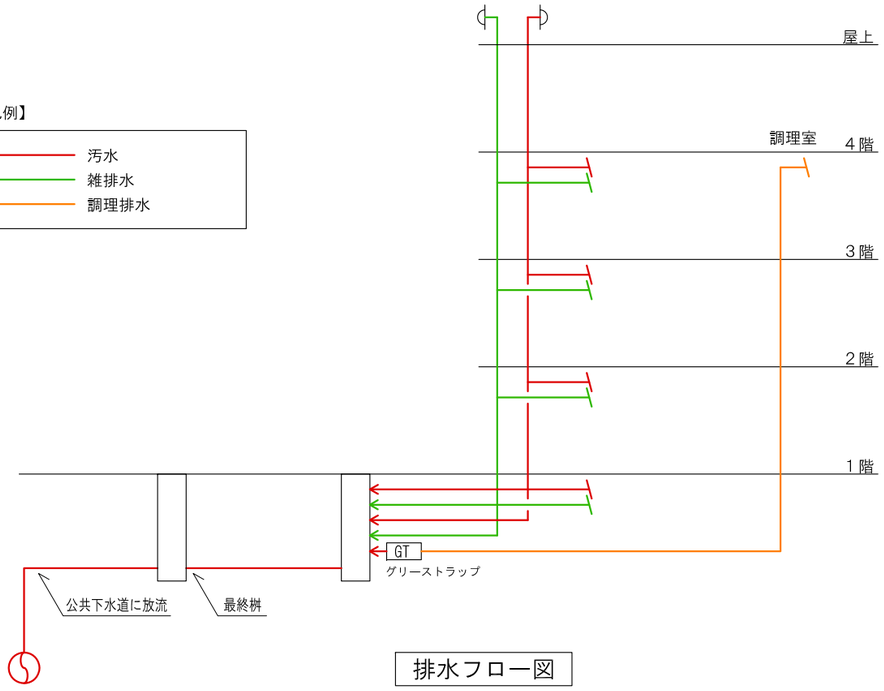
・災害時の非常用飲料水源として、受水槽水等を非常時に利用可能な計画とします。

5－6. 給排水衛生設備フロー図



給水フロー図





排水フロー図

5－7.機械設備諸元表

共用部・観光情報発信施設・子育て世代支援施設・図書館

区分	室名	設備／階	空調設備												換気設備						衛生設備						備考
			設計温室度						加湿	空調方式			制御方式		換気種別			換気回数	制御方式		給水	給湯			排水	ガス	
			冷房	温度［℃］	湿度［%］	暖房	温度［℃］	湿度［%］		セパレート	マルチ	空調機	中央	手元	第1種	第2種	第3種		中央	手元		中央	個別ガス	個別電気			
共用部	(仮称)佐原通り	1F	○	26	50	○	22	40	○			○		○		○※				○							※空調機
	管理室	1F	○	26	50	○	22	40	○	○				○	◎					○							
	自販機・ロッカー	1F															○	5		○							
	機械室1・2	1F													○			5		○	○				○		
	展示・活動テラス	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○		●※				○							※外気処理エアコン
	更衣1・2	3F	○	26	50	○	22	40	○	○				○	◎			5		○							
	サーバー	3F	○	23	50					○				○	◎					○							
	印刷・ロッカー	3F	○	26	50	○	22	40	○	○				○	◎					○							
	ホワイエ	4F	○	26	50	○	22	40	○		○			○		●※				○							※外気処理エアコン
	倉庫	1F～4F													○			5		○							
	WC(W)・WC(M)	1F～4F															○	15		○	○			○	○		
	HWC	1F～4F															○	15		○	○			○	○		
	ゴミ置場	屋外													○			15		○							
	備蓄倉庫	屋外													○			5		○							
観光情報発信施設	事務室	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	調理冷蔵	1F															○	5		○	○			○	○		
	更衣	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○			○	5		○							
子育て世代支援施設	屋内多目的広場	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	事務室	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○	○			○	○		
	更衣1・2	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○			○	5		○							
	静養	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	遊戯室	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	集会室	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	相談	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	授乳室	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○	○			○※	○		※エコキュート
	キッズルーム	1F	○	26	50	○※	22	40	○		○			○	◎					○	○			○	○		※補助暖房：電気式床暖房設備
	廊下	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	ベビーカー置場	1F															○	5		○							
	幼児WC	1F															○	15		○	○			○	○		
	WC(W)・WC(M)	1F															○	15		○	○			○	○		
	倉庫	1F													○			5		○							
図書館	一般書架	2F	○	26	50	○	22	40	○		○			○		●				○							
	閉架書庫	2F	○	26	50	○	22	40	○		○			○		●				○							
	読書サロン(飲食)	2F	○	26	50	○	22	40	○	○				○		●				○							
	新聞・雑誌・AVほか	2F	○	26	50	○	22	40	○		○			○		●				○							
	香取コーナー・参考図書	2F	○	26	50	○	22	40	○		○			○		●				○							
	読み物・学習・絵本	2F	○	26	50	○	22	40	○		○			○		●				○							
	お話し室・プレイコーナー	2F	○	26	50	○※	22	40	○		○			○	◎					○							※補助暖房：電気式床暖房設備
	授乳室・調乳室	2F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○	○			○	○		
	郷土資料	2F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	事務室	2F	○	26	50	○	22	40	○	○				○	◎					○							
	応接室	2F	○	26	50	○	22	40	○	○				○	◎					○							
	機械室	2F													○			5		○	○				○		
	親子WC	2F															○	15		○	○			○	○		
	WC(W)・WC(M)	2F															○	15		○	○			○	○		
	HWC	2F															○	15		○	○			○	○		

※◎は全熱交換器、●は外調機を示す。

公民館機能・社会福祉関連施設・市民活動支援センター

区分	室名	設備／階	空調設備												換気設備						衛生設備						備考
			設計温室度						加湿	空調方式			制御方式		換気種別			換気回数	制御方式		給水	給湯			排水	ガス	
			冷房	温度 [℃]	湿度 [%]	暖房	温度 [℃]	湿度 [%]		セパレート	マルチ	空調機	中央	手元	第1種	第2種	第3種		中央	手元		中央	個別 ガス	個別 電気			
公民館機能	イベントスペース	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	メディアスペース(視聴覚室)	1F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	学習室	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	研修室(創作室)	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○	○			○	○		
	準備室	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○	○			○	○		
	研修室(1)	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	研修室(2)	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	研修室(3)	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	研修室(4)	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	和室	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	事務室(公民館)	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	倉庫	3F・4F													○			5		○							
	調理室	4F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎○					○	○			○※	○		※エコキュート
	準備室	4F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○	○			○	○		
	音楽練習室(1)	4F	○	26	50	○	22	40	○	○				○	◎					○							※NC値35
	音楽練習室(2)	4F	○	26	50	○	22	40	○	○				○	◎					○							※NC値35
	音楽練習室(3)	4F	○	26	50	○	22	40	○	○				○	◎					○							※NC値35
	控室	4F	○	26	50	○	22	40	○	○				○	◎					○							
	多目的ホール	4F	○	26	50	○	22	40	○			○		○	○※					○							※空調機　NC値30
社会福祉関連施設	事務室(社会福祉)	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	ボランティア活動室	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	相談室1	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	相談室2	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	相談室3	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	ヘルパー控室	3F	○	26	50	○	22	40	○		○			○	◎					○							
	ふれあいステーション	3F	○	26	50	○	22	40	○	○				○	◎					○							
	倉庫	3F													○			5		○							
	屋外倉庫	屋外													○			5		○							
市民活動支援センター	事務室(市民活動)	3F	○	26	50	○	22	40	○	○				○	◎					○							

※◎は全熱交換器、●は外調機を示す。

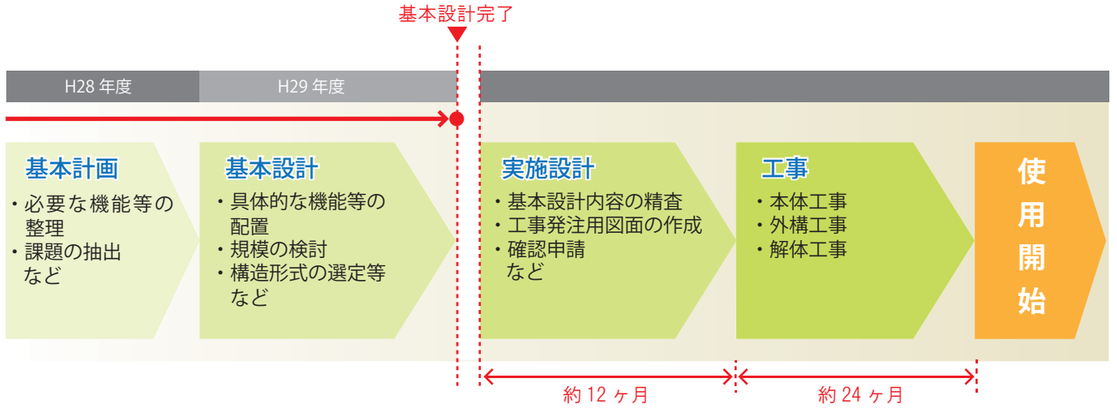
6．工事費概算

（諸経費込み･消費税込(8%)）(単位：千円)

工事項目	金額	備考
①複合公共施設建設工事費	3,898,000　千円	
②外構整備工事費	321,000　千円	
③解体工事費	262,000　千円	

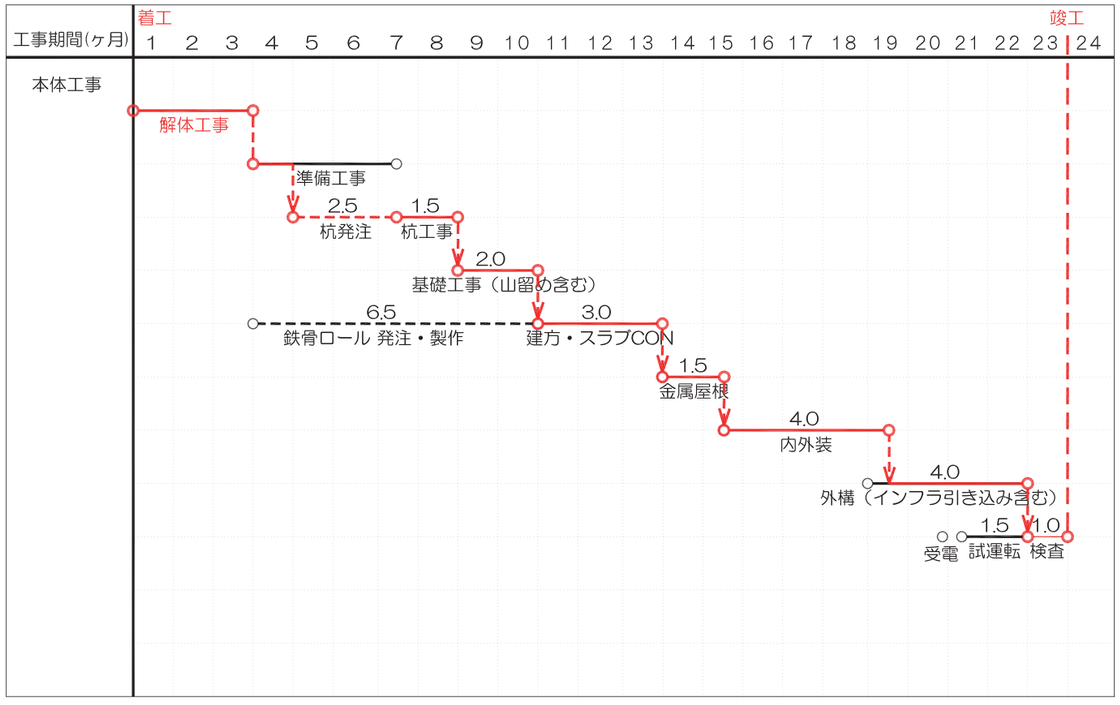
※別途費用について
＜建築＞
･カーテン･ブラインド･スクリーン･ホワイトボード･掲示板
･消火器
･テーブル･椅子等の什器(固定されていないもの)
･図書館自動貸出機･BDS(ブックディテクションシステム：セキュリティシステム)･OPAC(オパック：利用者に供されるオンライン蔵書目録)
･子育て世代支援施設遊具
＜電気＞
･特殊LAN工事(図書館等)
･機械警備機器(防犯カメラ含む)
･電話交換機･電話機
･電柱移設負担金

7．全体事業スケジュール



8．工事工程表（案）

―― クリティカルパス(根幹となる工程）を示す



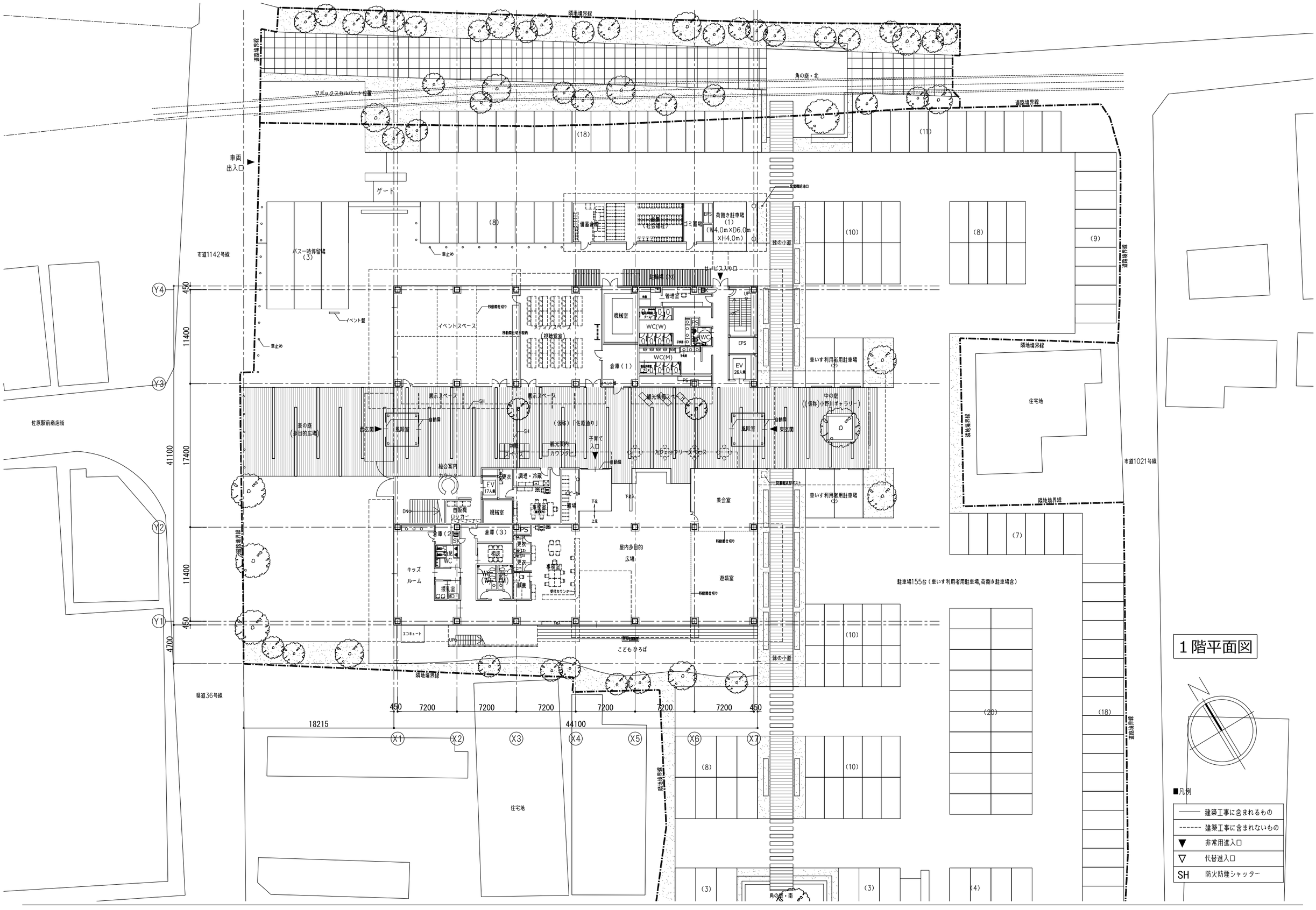
9．基本設計図

配置図兼屋根伏図

佐原駅周辺地区複合公共施設　基本設計説明書（案）

株式会社ＩＮＡ新建築研究所　Institute of New Architecture Inc.

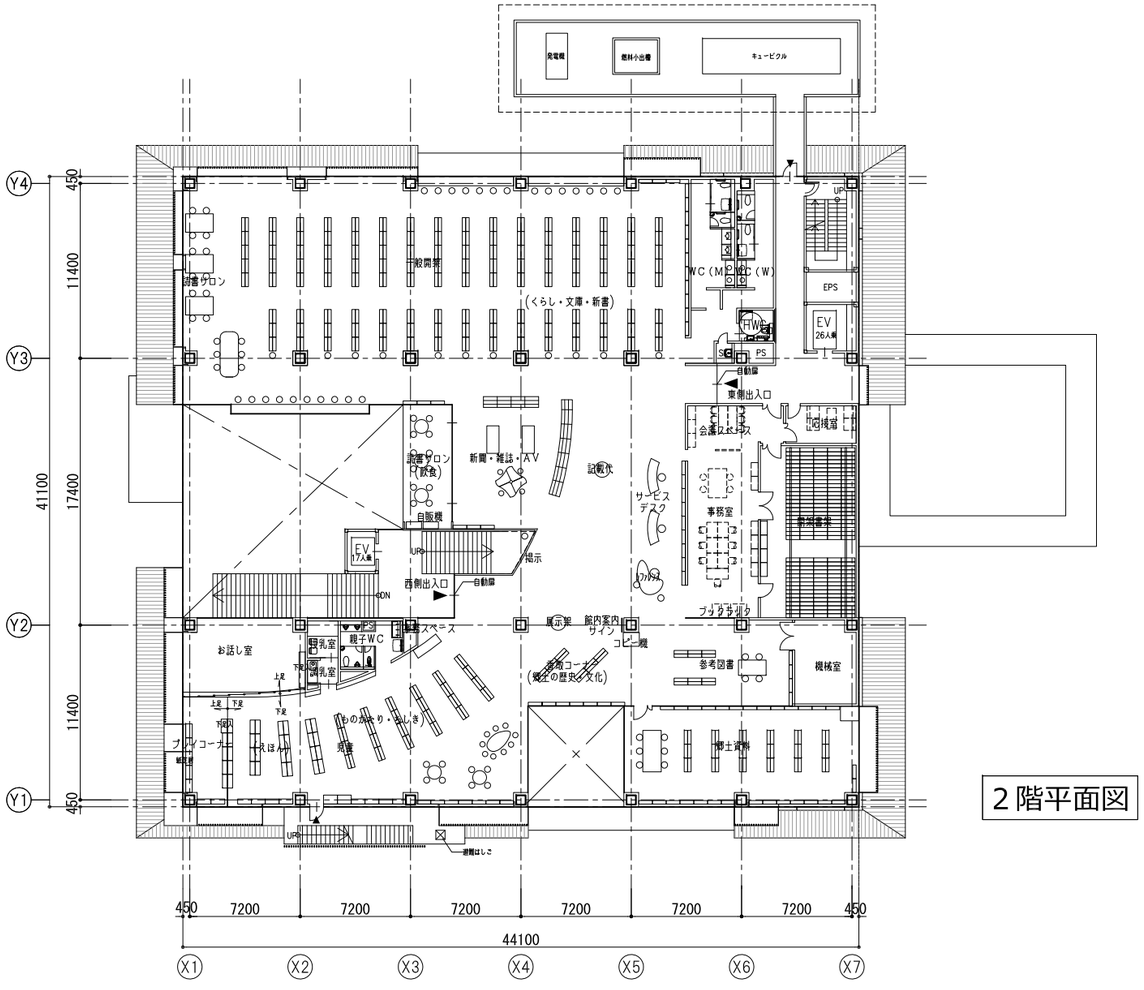
9-1．配置図兼屋根伏図　S=1:500　D-01



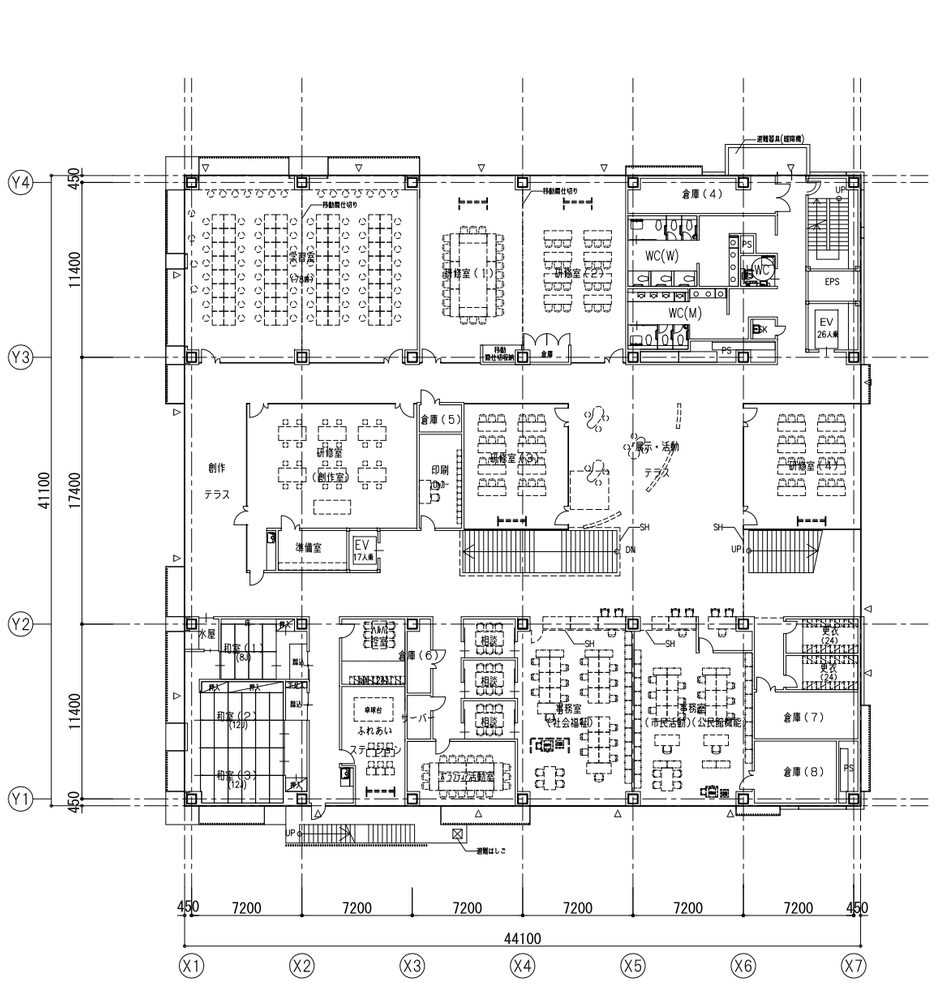
１階平面図

■凡例

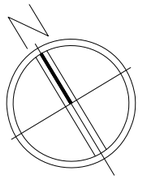
———	建築工事に含まれるもの
- - - - -	建築工事に含まれないもの
▼	非常用進入口
▽	代替進入口
SH	防火防煙シャッター



2階平面図

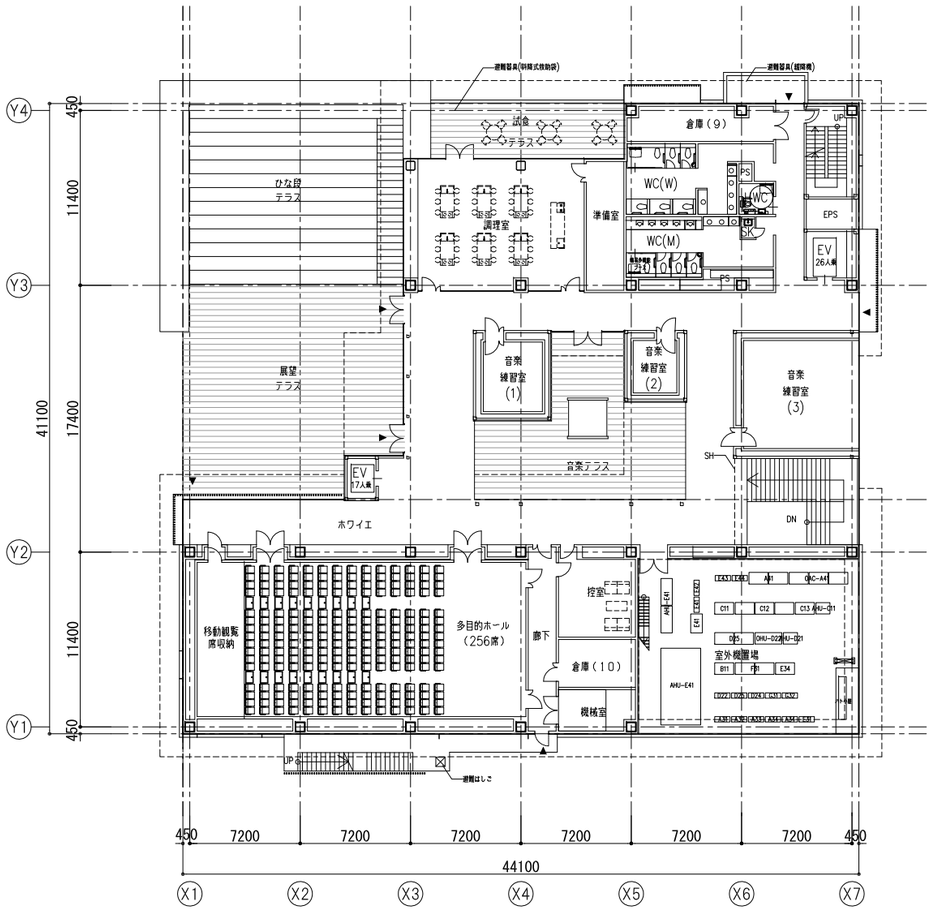


3階平面図

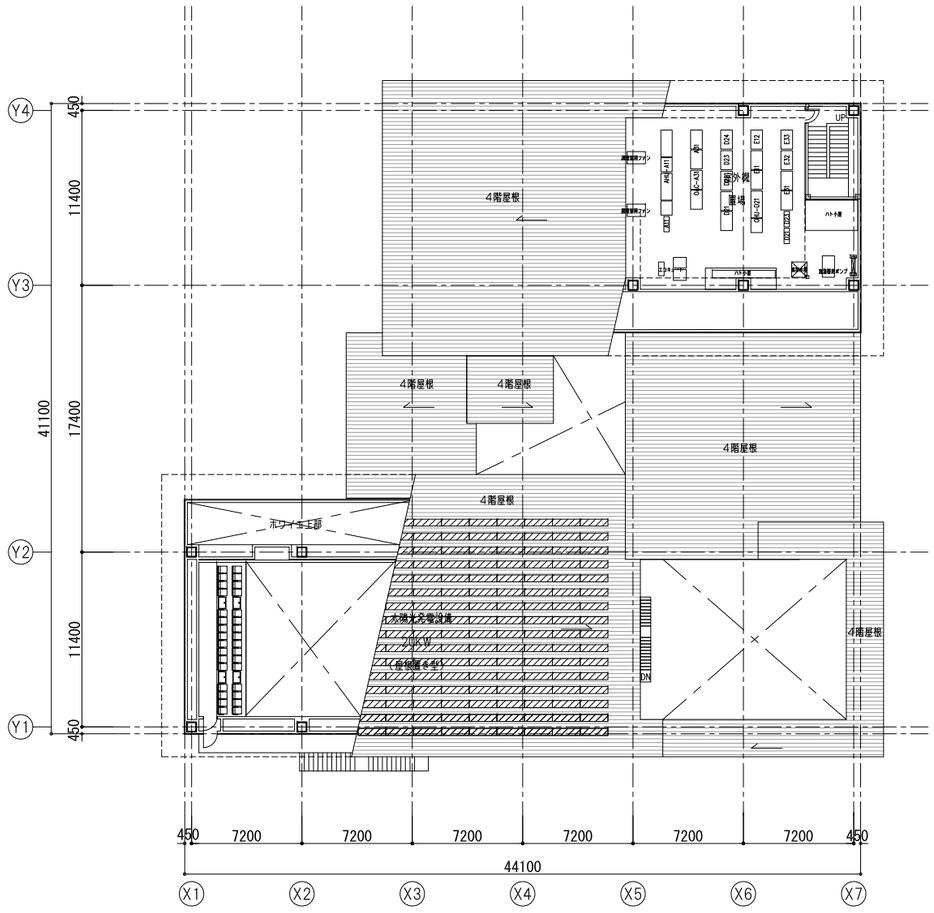


■凡例

——	建築工事に含まれるもの
- - - - - -	建築工事に含まれないもの
▼	非常用進入口
▽	代替進入口
SH	防火防煙シャッター



4階平面図

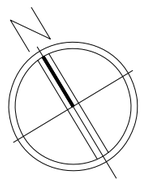


R階平面図

■凡例

――	建築工事に含まれるもの
- - - - -	建築工事に含まれないもの
▼	非常用進入口
▽	代替進入口
SH	防火防煙シャッター

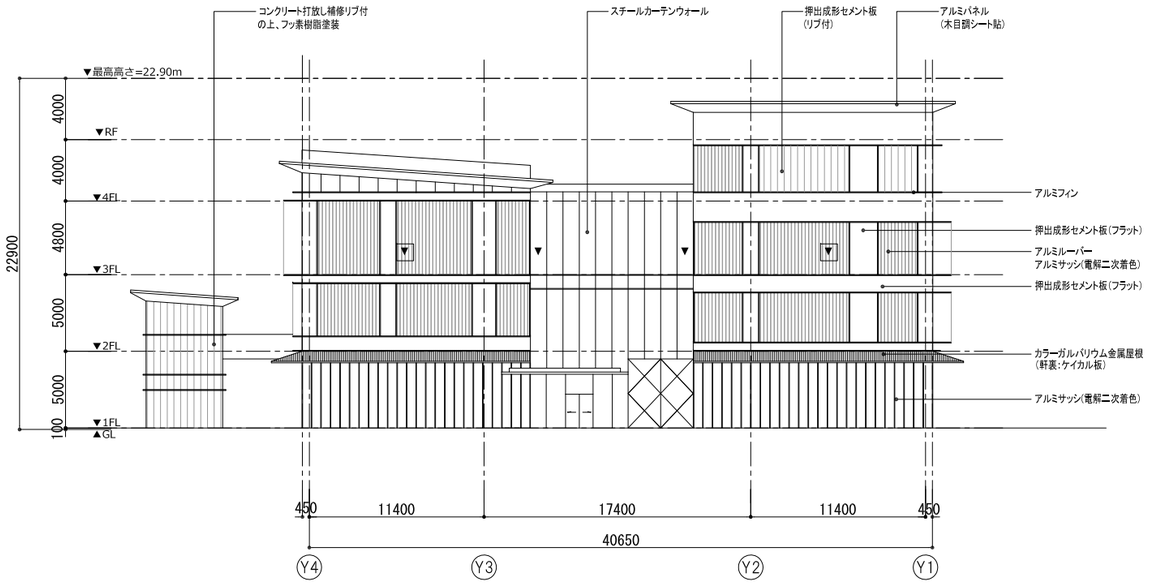
ピット階平面図



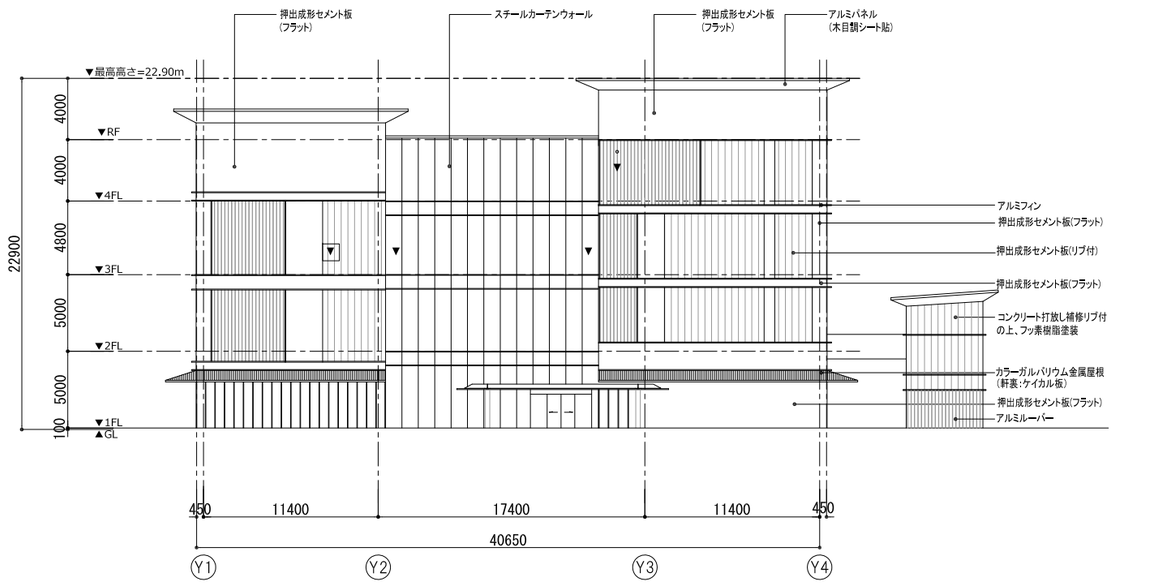
※特記なき限り、ピット深さは
1FL−2,000とする。

■凡例

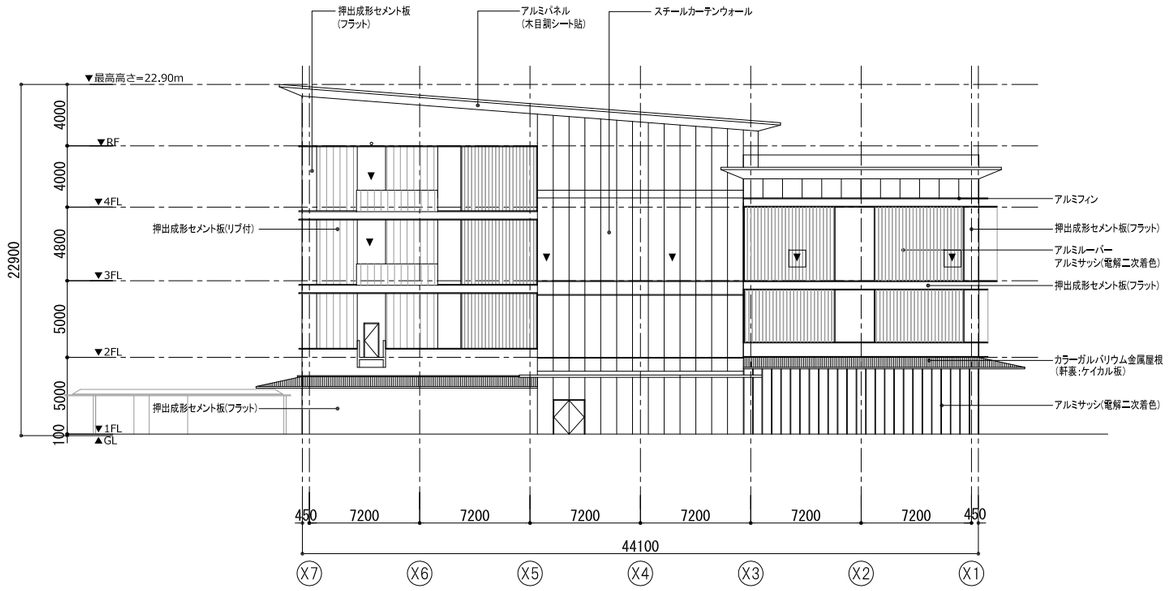
	埋め戻し
	配管ピット
	EVピット
	消火水槽
	人通孔：600Φ
釜	釜場



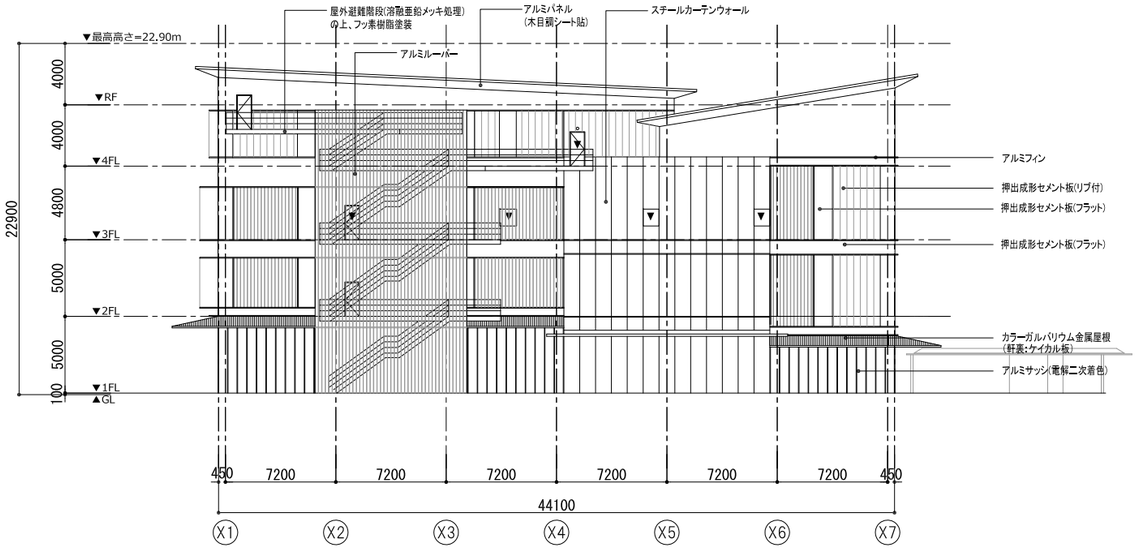
西側立面図



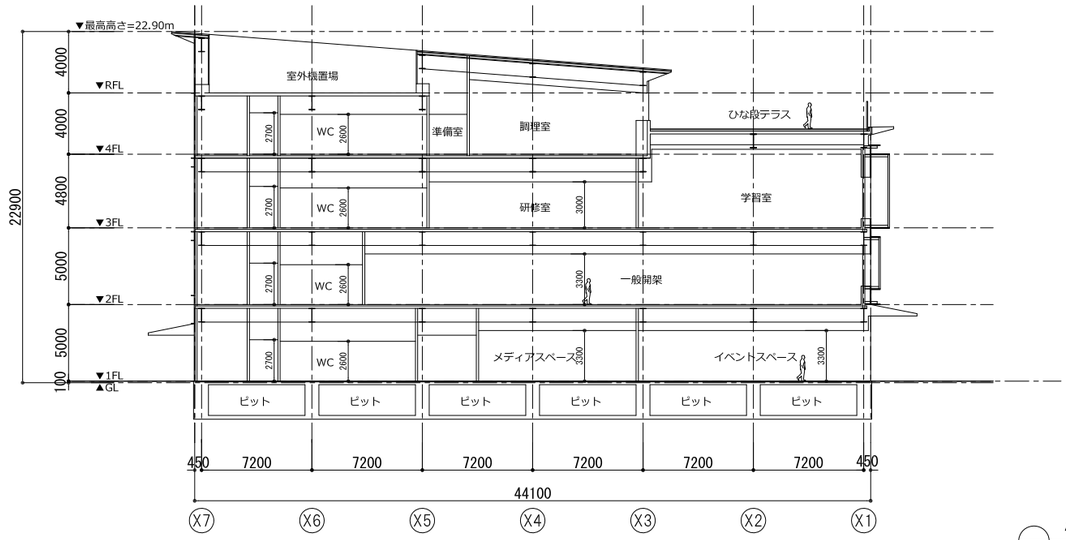
東側立面図



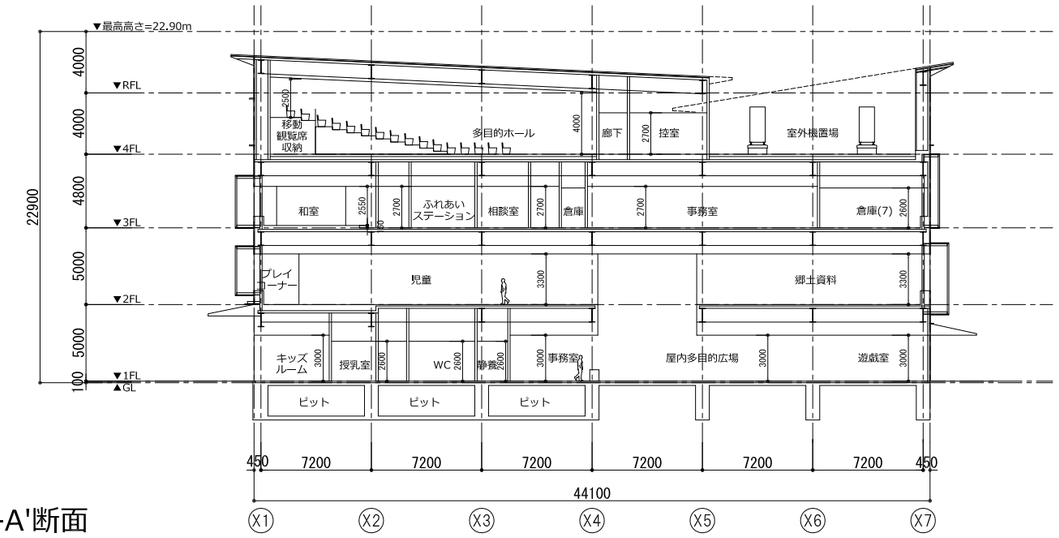
北側立面図



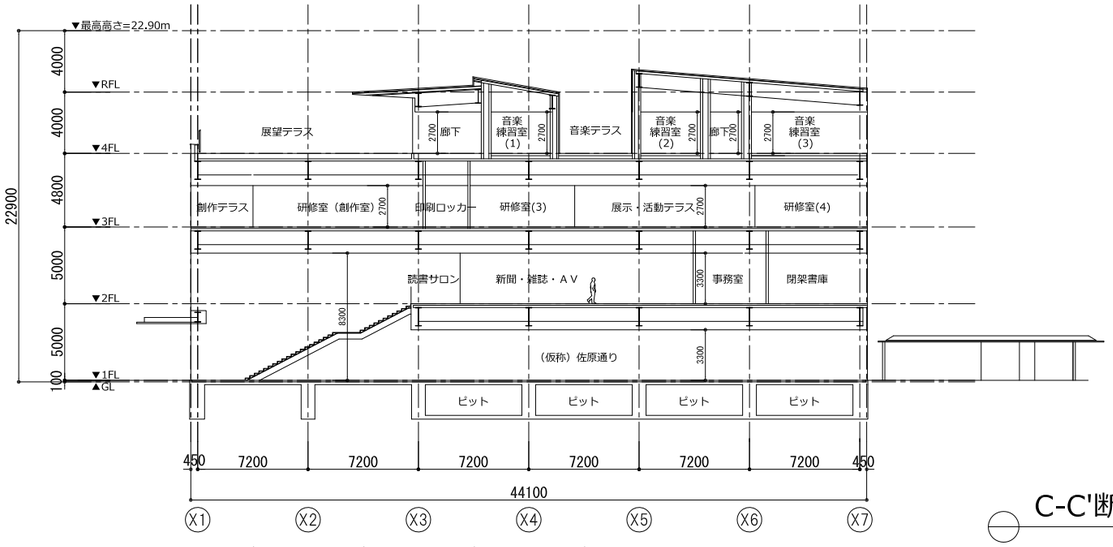
南側立面図



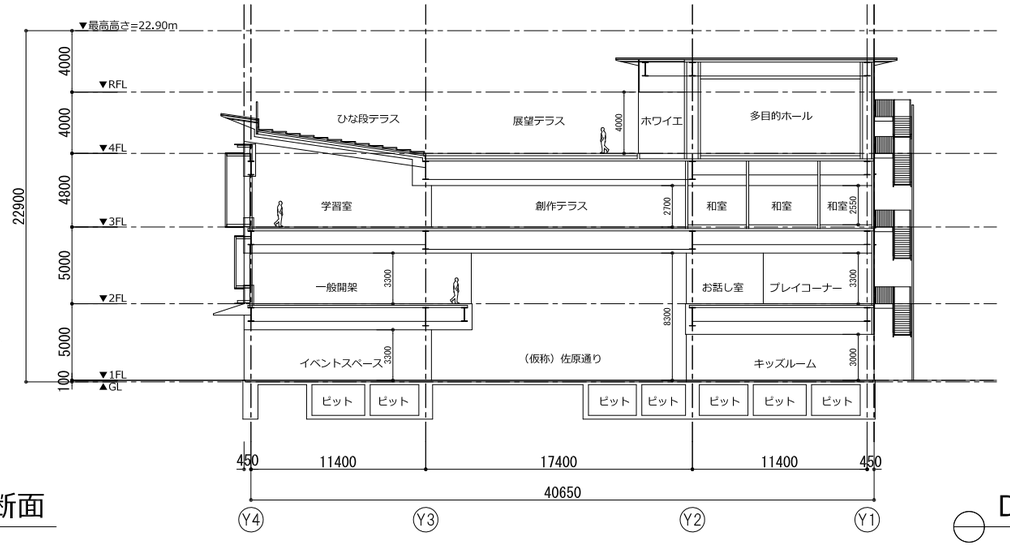
A-A'断面



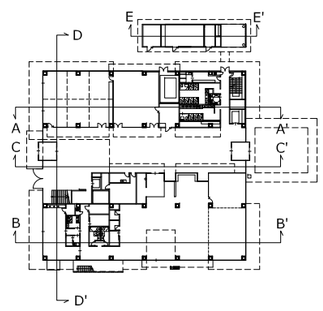
B-B'断面

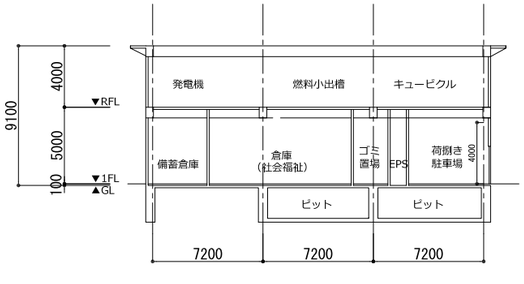


C-C'断面



D-D'断面





E-E'断面

HP 1200×1500
0.785　0.914

HP 1200×1500
0.902　0.892

HP 700φ
1.107　0.952

HP 1200φ
0.853　0.802

屋上発電機へ立ち上げ

屋上キュービクルへ立ち上げ

排水取付管150φ

マンホールトイレ

HP 1200×1500
0.871　0.851

ACP 100φ

HP 700φ
1.210　1.126

HP 250φ
1.682　1.490

PE(36)×3

電力・弱電引込

PE(104)×3

ピット内配管

ACP 100φ

HP 700φ
1.246　1.226

HP 1500φ
-2.474　-2.606

HP 350φ
1.560　1.555

土被り：1.06m

土被り：1.14m

水道メーター50φ

受水槽（ポンプ室一体型）

HP 350φ
1.576　1.564

ACP 100φ

HP 800φ
1.369　1.287

排水取付管150φ

HP 800φ
1.277　1.255

ACP 100φ

土被り：1.22m

HP 800φ
1.254　1.183

給水引込50φ

土被り：1.06m

ACP 100φ

凡例

機械設備

：給水
：汚水
：水道本管
：下水道本管（合流管）
：汚水桝
：マンホール

管種　管サイズ
上流側 管底高 (T.P.[m])
下流側 管底高 (T.P.[m])
地盤高 (T.P.[m])

電気設備

：電力
：弱電
：屋内埋設配管
：屋外埋設配管
：埋設配管（弱電）
：燃料配管
：1号柱
：ハンドホール
：端子盤内MDF
：給油口
：立上げ

9-5.　インフラルート図　　S=1:600　　D-08